

学生の確保の見通し等を記載した書類

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

①学生の確保の見通し

ア 定員充足の見込み

本学は、2015（平成 27）年に創始 145 年・学園創立 115 周年を迎える歴史と伝統を有しており、近代日本の代表的な国際人であり自由主義者でもあった西園寺公望が 1869（明治 2）年に開いた家塾「立命館」を前身としている。学園の創立は、1900（明治 33）年であり、中川小十郎は、西園寺公望の精神を受け継ぎ「自由にして清新」な学府、すなわち自由にして進取の気風に富んだ学園の創造を目指し、これが「自由と清新」という本学の建学の精神として受け継がれている。戦後、本学は「平和と民主主義」を教学理念として掲げ、常に社会と時代の要請に応えるために大学改革に積極的に取り組んできた。1948（昭和 23）年に学校教育法による「立命館大学」（新制）として法学部、経済学部、文学部の 3 学部から出発し、学部・学科や大学院研究科の設置・改組などを経て、現在は 13 学部（法学部、経済学部、経営学部、産業社会学部、文学部、理工学部、情報理工学部、国際関係学部、政策科学部、映像学部、生命科学部、薬学部、スポーツ健康科学部）、18 研究科（法学研究科、経済学研究科、経営学研究科、社会学研究科、文学研究科、理工学研究科、情報理工学研究科、国際関係研究科、政策科学研究科、応用人間科学研究科、先端総合学術研究科、言語教育情報研究科、テクノロジー・マネジメント研究科、公務研究科、スポーツ健康科学研究科、映像研究科、生命科学研究科、薬学研究科）、2 専門職大学院（法務研究科、経営管理研究科）で構成される。本学の在校生数は約 32,000 人、卒業生数は 300,000 人を超えている。

本学の 2014（平成 26）年度の入学試験結果では、全学部の入学定員 7,017 名に対し志願者が 90,298 名、志願倍率が 12.9 倍であった。過去 5 年間の全 13 学部の志願者・合格者・入学者数の推移（資料 1 立命館大学 13 学部の志願者・合格者・入学者数の推移）をみても、本学においては 18 歳人口が減少している中でも非常に安定して受験者および入学者を確保していることがわかる。

私立大学の志願者動向に関して、文系 4 系統（文・人文、社会・国際、法・政治、経済・経営・商）のうち心理学系統が含まれる文・人文系は最も志願者が多く、2014（平成 26）年度においては私立大学志願者数 3,044,253 名の約 20%にあたる 608,712 名が文・人文系を志願している。私立大学志願者数は、2009（平成 21）年度から 2014（平成 26）年度の 5 年間で約 16%増加している中、文・人文系は 14%の増加を示しており、近年、「文低理高」の傾向が続いている状況の中でも、入学者を順調に確保できる状況にあるといえる（資料 2 2014 年度入試結果 私立大学）。

入学定員は教学的な観点や教員数から、他の私立大学の入学定員を参考にしつつ（資料 3 他大学心理学部・学科 入学定員数）280 名とした。上記学外データに加え、後述するアン

ケート調査等を分析することにより、総合心理学部については学生確保の見通しは十分に立ち、かつ、社会的にも人材需要があることが判明しており、妥当な数字であると判断された。

イ 定員充足の根拠となる調査結果の概要

このたびの総合心理学部の新設に伴い、学生確保の見通しについて学外からデータを収集するとともに、以下２種のアンケート調査を実施して分析を行った（資料４ 立命館大学「総合心理学部」新設に係るニーズアセスメント調査（高校生アンケート調査）報告書）。

- 1) 立命館大学附属高等学校４校において、2016（平成 28）年度に大学へ進学する予定の高校２年生（2016（平成 28 年）年 3 月卒業予定）の生徒を対象としたアンケート（以下 附属高校向けアンケートという）

調査対象：立命館高等学校、立命館宇治高等学校、立命館慶祥高等学校、
立命館守山高等学校

実施人数：1,090 人（有効回答数）

調査方法：立命館大学の附属高校４校に高校生アンケート用紙を必要部数送付し、各校の教職員から調査対象者（高校２年生）にアンケート用紙を配布の上、10 分程度の回答時間を設け、その場で回収した。

調査期間：2014（平成 26）年 11 月～12 月

- 2) 立命館大学附属高等学校以外の高等学校において 2016（平成 28）年度の大学入試を受験する可能性が最も高い高校２年生（2016（平成 28）年 3 月卒業予定）の生徒を対象としたアンケート（以下 一般高校向けアンケートという）

調査対象：立命館大学への志願者が多い、全国の実績校（附属高等学校を除く）にアンケート調査の実施依頼を行い、最終的な実施期日（2014（平成 26）年 12 月 19 日）までに協力を得た 20 府県の 87 校

実施人数：10,544 人（有効回答数）

調査方法：アンケート実施の了承が得られた高校に高校生アンケート用紙を必要部数送付し、各校の教職員から調査対象者（高校２年生）にアンケート用紙を配布の上、10 分程度の回答時間を設け、郵送により回収した。

調査期間：2014（平成 26）年 11 月～12 月

定員充足の見込みを検討するにあたり実施した附属高校向けアンケートでは、附属高校卒業後の進路としては 1,075 人（98.6%）が「大学」と回答していた。興味のある学問分野として 294 人（全体の 27.0%）が「心理学」と回答しており、最も多かった「経済・経営・商学」297 人（同 27.2%）とは僅差であった。附属高校生の 4 人に 1 人が心理学に興味を持

っていることがわかる。

立命館大学が設置を予定する「総合心理学部」の概要を示したうえで、進学意欲について回答を求めたところ、191人（全体の17.5%）が「進学したい」と回答した。「進学したくない」と回答した865人にその理由について回答を求めたところ、「心理学に興味があるが、海外の大学への進学を強く希望しているから（62人）」、「心理学に興味があるが、国公立大学への進学を強く希望しているから（62人）」「心理学に興味があるが、他の私立大学への進学を強く希望しているから（46人）」、「心理学に興味があるが、新たに設置される学部への進学は不安だから（10人）」という回答が示された（いずれも複数回答の結果）。これらの附属高校生は心理学に興味は示していることから、今後の広報活動を通じて立命館大学総合心理学部への進学希望者になりえる層と推察される。

一般高校向けアンケートでは、高校卒業後の進路としては10,008人（94.9%）が「大学」と回答していた。興味のある学問分野として2,415人（全体の22.9%）が「心理学」と回答しており、最も多かった「経済・経営・商学」2,645人（同25.1%）に次いで多かった。高校生の5人に1人が心理学に興味を持っていることがわかる。

立命館大学が設置を予定する「総合心理学部」の概要を示したうえで、受験意欲・進学意欲について回答を求めたところ、1,083人（全体の10.3%）が「受験したい」と回答した。さらに、「受験したい」と回答した1,083人に合格した場合の入学意欲について回答を求めたところ、「入学したい」と回答した高校生は485人、「併願大学の結果によっては入学したい」と回答した高校生は592人いた。「入学したい」と回答した高校生のみでも立命館大学総合心理学部が予定する定員280名の1.7倍、「入学したい」「併願大学の結果によっては入学したい」の合計では1,077人で入学定員の3.8倍であった。総合心理学部を「受験しない」と回答した8,950人に、その理由について回答を求めたところ、「心理学に興味があるが、国公立大学への進学を強く希望しているから（1,179人）」「心理学に興味があるが、他の私立大学への進学を強く希望しているから（647人）」、「心理学に興味があるが、新たに設置される学部への進学は不安だから（282人）」という回答が示された（いずれも複数回答の結果）。これらの高校生は心理学に興味は示していることから、今後の広報・募集活動を通じて立命館大学総合心理学部の志願者になりえる層と推察される。

今回実施した各アンケートの結果、他大学の受験結果等と関係なく、総合心理学部への入学・進学意欲を示すものは合計676人いた。これらの回答者のみで立命館大学の総合心理学部が予定する入学定員280名の2.4倍、「併願大学の結果によっては入学したい」の回答との合計では1,268人で入学定員の4.5倍であった。以上のアンケート調査より、立命館大学総合心理学部を目指す受験生の需要は十分にあることが確認され、設定した入学定員280名は妥当であると判断した。

ウ 学生納付金の設定の考え方

新たに設置する学部・学科等の学生納付金を設定する際、本学では、学生納付金や補助金、

手数料等の収入で、当該部門における教育・研究活動に必要な人件費および経常的な経費を賄い、完成年度以降において消費収支が均衡の見通しが持てることを原則としている。

今次設置する総合心理学部は、既存の文学部心理学専攻の教員からの移籍および新規任用により 30 人（専任換算枠）の教員体制を整備し、また多くの実験実習科目を必修として 1 年次から 4 年次まで配置したカリキュラムを編成することとしている。他の私立大学心理系学部（資料 5 私立大学心理系学部等他大学学費）を参照しつつ、これらの教員体制整備に伴う人件費および実習費等の経常経費を織り込んだ収支見通しを勘案して、総合心理学部の初年度学生納付金は、入学金 300 千円および授業料 1,006 千円とする。

②学生確保に向けた具体的な取組状況

社会全般および高校生に対して、本学総合心理学部の認知度向上を図るべく、各種広報活動を展開し、学生確保に努めている。具体的な活動としては、総合心理学部の特色、教学内容、教員等について掲載した大学案内パンフレットを作成し、オープンキャンパスや高校訪問、模擬授業等の機会も利用しながら、約 20 万部を配布している。今後は学部パンフレット（資料 6 立命館大学総合心理学部パンフレット）を高等学校、塾・予備校へ送付するとともに、全国の高等学校の進路指導教員を訪問し総合心理学部の教育理念や人材育成目的等について説明する予定である。本学ホームページにも総合心理学部の情報を掲載しており、パンフレットはダウンロードも可能である。2015（平成 27）年度からの大阪いばらきキャンパス開設事業への参加も計画されており、高校生や社会、企業に対する広報活動の準備も整えつつある。

各附属高校との懇談会、高校内ガイダンスも積極的に実施し、大学情報誌や広告代理店等が企画する入試相談会にも多数参加して受験生へ直接説明する機会を設けている。2014（平成 26）年度は夏期休暇期間中に 2 日間実施されたオープンキャンパスにおいて総合心理学部のカリキュラムや人材育成像等について詳細な説明を行っており、引き続き 2015（平成 27）年度にも実施することで志願者の開拓を図る。

なお、各種広報活動に関しては、「2015（平成 27）年設置届出予定」である旨明示しており、内容は予定であり変更する可能性については周知徹底した広報を行っている。

（２）人材需要の動向等社会の要請

①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

今日、家庭、学校、企業、地域生活、国際交流など、人間が生きるさまざまな場面が相互に関連し、社会的課題が重層化するなかで、心と行動の科学的解明と人間の総合的かつ現実的な理解に基づいた対応が広く要請されつつあり、高等教育と研究機関がこうした要請に積極的に応えることが求められている。「人間」にかかわる諸科学の中でも特に心理学は、人間の心と行動を探究することによって、人類の知的課題に貢献するとともに、人間の総合的・現実的探究にかかわる隣接諸科学と連携して、教育・研究、福祉・医療、行政、一般企業、国際活動などの分野において、現代の複雑な社会的課題の実践的解決に貢献することができる。

社会と個人とのつながりの複雑さに対応して、必要とされる人材像も変化しており、「心と行動」を軸とした人間についての総合的・科学的知見を有した人材の育成がますます重要視されている。教育、福祉、行政などの分野で専門職人材にとどまらず、一般企業や国際活動においても、創造的な組織構築に向けて人事マネジメントや組織行動の改善などを企画・実行できるような人間の心と行動の分析に精通した人材が求められている。また、心理学の知見を、職場などでの人間関係の改善や、商品とサービスの開発・販売に応用できる人材も広く求められている。

本学における総合心理学部の設置は、心理学を軸とした人間の総合的な理解を有する人材への社会的要請に応えることによって、本学の高等教育機関としての新たな発展を図ることを目的としている。本学部の教育は、人間の心と行動の過程を探究し、人間の総合的・現実的探究にかかわる諸隣接科学と連携して、現代の複雑な社会的課題の解決に貢献することを使命としている。

総合心理学部では、教育・研究、福祉・医療、行政、企業、国際活動などの分野において、複雑な課題の解決に貢献できる能動的な構成員に求められる次の基礎力を備えている人材を養成する。

- 1) 心理学の諸分野の基礎知識にもとづいて、人間の心と行動を科学的に探究し思考することができる人。
- 2) 幅広い教養にもとづいて、心理学的知見を他の分野の知見と関係づけて、人間を総合的・多面的に理解し関わることができる人。
- 3) 人間と人間関係について多面的な関心もち、個性と多様性を尊重しつつ他者と協働し、問題解決に貢献することができる人。
- 4) 日本語と外国語の基本的なコミュニケーション能力をもち、情報やデータを加工し分析する基礎的能力を身につけ、自らの見解を論理的に主張することができる人。
- 5) 大学で修得した成果に基づいて、職業人や市民として社会に貢献しようとする倫理観と、学び続けようとする意欲を身につけている人。

②上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

総合心理学部の新設に伴い、人材需要の動向など社会的、地域的なニーズを明らかにするために、外部機関による以下のアンケート調査を実施して中立的、客観的なデータを収集し、分析を行った（資料 7 新設学部に関するアンケート調査 定量アンケート調査結果 案件名：総合心理学部確保の見通し等に関する調査業務（人材需要の見通し））。

調査対象：

- 1) 文学部心理学専攻卒業生の就職実績がある企業：28 社（28 社のうち、2) の条件にあてはまる企業が 21 社
- 2) 従業員数 2 名以上の売上高上位企業（全国）2,372 社

3)一般病院（大阪府、京都府、滋賀県大津市・草津市、兵庫県）：600 施設
有効回答数：357 件 （発送件数 3,000 件、回収率：11.9%）
調査方法：企業・機関人事部宛に、学部概要、教学理念等をまとめたパンフレットを同梱した調査票を郵送。パンフレットに回答者が目を通した後に回答し、同封の返信用封筒にて返信。（回答謝礼および督促ハガキの実施はなし）
調査期間：2014（平成 26）年 11 月 20 日～2014（平成 26）年 12 月 15 日
調査結果：採用意向度に関して、「総合心理学部で学んだ学生を採用したいと思うか」という設問に対し、有効回答 357 件中 324 件が、「積極的に採用したい」または「採用を検討はしたい」という採用意向がある旨の回答をした。よって、採用意向度は無回答 21 件を除く回答企業数の 96.4%と非常に高い。また、医療・福祉に属する企業・機関からの回答 29 件中 21 件、72.4%が採用意向を示した。製造業や流通業、金融業といった業種の民間企業に留まらず、全国で 8,600 施設を超える病院（厚生労働省平成 24 年度「病院機能別 制度別 医療費等の状況」より）、さらに大小様々な規模の医療機関などでの採用が期待できる。

学部名称が『総合』心理学部であることについての説明（学部の特色）について、その魅力度（「魅力を感じる」+「やや魅力を感じる」の計）は、89.6%と高かった。総合心理学部が押しだしている 6 つの特色について、「理解度」「魅力度」「重要度」をそれぞれ尋ねたところ、「魅力度」「重要度」の 2 項目において【B. 問題解決型学習（PBL 方式）など多様なアクティブラーニング】と【C. グローバルに活躍するための「プロジェクト発信型英語プログラム」】が上位となった。さらに総合心理学部が養成する 5 つの人材像のうち、「魅力度」が最も高かった項目は【C. 個性と多様性を尊重しつつ他者と協働し、問題解決に貢献ができる】となり、魅力度（「魅力を感じる」+「やや魅力を感じる」の得票率の計）は 96.9%と非常に高かった。「魅力を感じる」だけに限定しても、66.4%と 3 人に 2 人という高い割合で評価された。これは先の学部特色設問における「問題解決能力」に対する「魅力度」「重要度」の高さと一致している。また、【C】は「このような人材の採用に関し、『採用意向を促進させるか』」との設問でも 63.3%が「促進させる」と回答し、項目内で 1 番高い得票率を得ている。次いで、【E. 社会に貢献しようとする倫理観や学び続ける意欲がある】、【D. 自らの見解を論理的に主張することができる】が僅差で続いた。立命館大学総合心理学部が独自に打ち出している特色が多く、多くの企業にとって魅力的であり、本学部が育成する人材像は社会のニーズに応えるものであると判断できる。

卒業受験資格に関して、「認定心理士」「産業カウンセラー」（受験資格）の取得、「公認心理師（仮称）」への対応の検討は、採用意向を促進させるかという質問に対し、「促進させる」は、7.0%、「促進度」（「促進させる」+「やや促進させる」の計）は 37.0%である一方、回答者を医療および福祉企業・機関 29 社に限定すると、「促進度」は 55.1%まで上昇する。資格取得に対する魅力度、採用意向促進度は、医療、福祉企業・機関にとってより魅力度が高

いといえるだろう。

さらに、本学文学部心理学専攻（2011（平成 23）年度～2014（平成 26）年度）における学生の卒業後の進路について概観すると、総計 864 名中、民間企業への就職 394 名、公務員 24 名、教員 14 名、進学 102 名、その他 154 名であった（無回答 176 名を除く）。民間企業の内訳は、卸売業、製造業、サービス業、マスコミ等多岐にわたる（資料 8 文学部心理学専攻（2011 年度～2014 年度）進路就職先）。このことは、心理学を学ぶ中で培われる知識、人間に関する総合的・多面的な理解、実証的態度や分析的視点、またコミュニケーション能力が、さまざまな業種・職種において生かされることを示している。大学院への進学によってさらに専門性を高めたり、心理関係の職業資格を取得することによって社会・地域貢献を目指す学生もいる。

以上、企業アンケートおよび卒業生の進路調査の結果から、新設される総合心理学部のカリキュラムとそれに基づく人材育成目的は、一般企業や医療、福祉企業・機関から高い支持を得ており、心理学を専攻した学生の進路は専門職にとどまらず、メーカー、金融、サービス業等、多岐にわたる業種からの期待を受け採用されていることが明らかとなった。

したがって、近畿地方の中心部に位置する大阪いばらきキャンパスに総合心理学部を設置し、関西一円の各業界で活躍できる人材を多く輩出することは、地域的、社会的にも大きく貢献する結果となると予想できる。

以上

<資料1 立命館大学13学部の志願者・合格者・入学者数の推移>

学部名		2010(平成22)年度	2011(平成23)年度	2012(平成24)年度	2013(平成25)年度	2014(平成26)年度
法学部	志願者	7,496	6,607	6,800	7,058	6,927
	合格者	2,893	2,789	3,065	3,160	3,625
	入学者(A)	873	836	842	815	1,014
	入学定員(B)	790	790	790	790	790
	A/B	1.11	1.06	1.07	1.03	1.28
経済学部	志願者	9,612	8,168	8,785	7,732	7,827
	合格者	3,610	3,698	3,920	3,572	3,850
	入学者(A)	762	789	763	752	855
	入学定員(B)	735	735	735	735	735
	A/B	1.04	1.07	1.04	1.02	1.16
経営学部	志願者	7,702	6,076	8,131	7,103	8,666
	合格者	2,125	2,162	2,415	2,569	3,007
	入学者(A)	825	808	789	815	873
	入学定員(B)	760	760	760	760	760
	A/B	1.09	1.06	1.04	1.07	1.15
産業社会学部	志願者	9,873	8,296	10,163	9,818	10,646
	合格者	2,598	2,690	2,700	2,708	2,857
	入学者(A)	939	992	977	972	969
	入学定員(B)	900	900	900	900	900
	A/B	1.04	1.10	1.09	1.08	1.08
文学部	志願者	11,652	10,353	11,914	11,253	11,836
	合格者	3,727	3,515	3,744	3,737	4,393
	入学者(A)	1,268	1,202	1,198	1,156	1,172
	入学定員(B)	1,102	1,102	1,105	1,105	1,105
	A/B	1.15	1.09	1.08	1.05	1.06
理工学部	志願者	14,979	16,005	17,230	17,758	19,160
	合格者	6,733	7,002	6,720	6,292	7,037
	入学者(A)	959	1,063	957	880	936
	入学定員(B)	892	892	872	872	872
	A/B	1.08	1.19	1.10	1.01	1.07
国際関係学部	志願者	3,191	3,479	3,585	2,615	2,867
	合格者	958	968	891	918	945
	入学者(A)	328	359	309	349	295
	入学定員(B)	302	282	302	305	305
	A/B	1.09	1.27	1.02	1.14	0.97 *
政策科学部	志願者	2,813	3,635	3,686	3,611	3,600
	合格者	1,072	1,225	1,217	1,306	1,296
	入学者(A)	390	386	376	398	377
	入学定員(B)	360	360	360	360	360
	A/B	1.08	1.07	1.04	1.11	1.05 *
情報理工学部	志願者	4,285	4,219	5,252	5,359	5,308
	合格者	1,738	1,915	1,917	1,916	1,951
	入学者(A)	450	510	472	446	458
	入学定員(B)	440	440	440	440	440
	A/B	1.02	1.16	1.07	1.01	1.04
映像学部	志願者	1,653	1,350	1,584	1,309	1,459
	合格者	327	368	380	380	419
	入学者(A)	150	152	167	166	164
	入学定員(B)	150	150	150	150	150
	A/B	1.00	1.01	1.11	1.11	1.09
薬学部	志願者	1,509	2,117	2,235	2,430	2,191
	合格者	714	689	644	581	653
	入学者(A)	142	111	101	108	99
	入学定員(B)	100	100	100	100	100
	A/B	1.42	1.11	1.01	1.08	0.99
生命科学部	志願者	6,606	6,783	7,375	7,669	7,243
	合格者	2,432	2,485	2,510	2,272	2,497
	入学者(A)	298	315	313	299	311
	入学定員(B)	280	280	280	280	280
	A/B	1.06	1.13	1.12	1.07	1.11
スポーツ健康科学部	志願者	2,027	2,645	2,203	2,607	2,568
	合格者	454	564	607	663	710
	入学者(A)	229	247	218	224	236
	入学定員(B)	220	220	220	220	220
	A/B	1.04	1.12	0.99	1.02	1.07
大学合計	志願者	83,398	79,733	88,943	86,322	90,298
	合格者	29,381	30,070	30,730	30,074	33,240
	入学者(A)	7,613	7,770	7,482	7,380	7,759
	入学定員(B)	7,031	7,031	7,014	7,017	7,017
	A/B	1.08	1.11	1.07	1.05	1.11 *

* 5月1日を基準日とするため、以下の入学者数比率には「2014年9月入学者」数は含まれていない。

(1)国際関係学部合計

(2)政策科学部合計

(3)大学合計

2014年度入試 私立大入試結果(全体)(7/3現在)

※数値は7/3現在、私立544大学の集計

※2012～14年度の志願者数・合格者数公表大学を集計(合格者数の未判明やいずれかの年度データが非公表の学部・学科等については集計対象から除く)

※集計には公立大学法人へ移行した次の大学の数値を含む(2012年度:鳥取環境大)

①全体概況

		志願者数(A)					合格者数(B)					倍率(A/B)		
		12年度	13年度	14年度	13/12	14/13	12年度	13年度	14年度	13/12	14/13	12年度	13年度	14年度
全体		2,796,984	2,977,722	3,044,253	106%	102%	832,216	856,235	912,678	103%	107%	3.4	3.5	3.3
方式別	一般	1,867,803	2,022,526	2,042,681	108%	101%	511,032	542,999	560,452	106%	103%	3.7	3.7	3.6
	センター	929,181	955,196	1,001,572	103%	105%	321,184	313,236	352,226	98%	112%	2.9	3.0	2.8
期別	一期	2,606,881	2,761,424	2,830,979	106%	103%	772,143	797,163	847,458	103%	106%	3.4	3.5	3.3
	二期	190,103	216,298	213,274	114%	99%	60,073	59,072	65,220	98%	110%	3.2	3.7	3.3

私立大入試結果(地区別)(7/3現在)

※数値は7/3現在、私立544大学の集計

※2011～13年度の志願者数・合格者数公表大学を集計(合格者数の未判明やいずれかの年度データが非公表の学部・学科等については集計対象から除く)

※集計には公立大学法人へ移行した次の大学の数値を含む(2012年度:鳥取環境大)

①全体(一般+センター)

地区	志願者数(A)					合格者数(B)					倍率(A/B)		
	12年度	13年度	14年度	13/12	14/13	12年度	13年度	14年度	13/12	14/13	12年度	13年度	14年度
北海道	27,536	31,381	37,909	114%	121%	15,021	16,016	19,540	107%	122%	1.8	2.0	1.9
東北	29,531	31,782	33,790	108%	106%	14,930	14,729	15,382	99%	104%	2.0	2.2	2.2
関東・甲信越(首都圏除く)	33,869	36,364	38,231	107%	105%	13,432	14,626	15,513	109%	106%	2.5	2.5	2.5
首都圏	1,702,522	1,759,909	1,768,354	103%	100%	440,652	449,901	479,635	102%	107%	3.9	3.9	3.7
北陸	14,069	18,183	20,732	129%	114%	7,222	8,656	9,008	120%	104%	1.9	2.1	2.3
東海	206,417	244,555	261,481	118%	107%	81,505	90,622	99,344	111%	110%	2.5	2.7	2.6
近畿	619,901	673,319	702,587	109%	104%	185,825	183,546	195,545	99%	107%	3.3	3.7	3.6
中国	44,008	45,512	45,734	103%	100%	21,807	23,530	23,553	108%	100%	2.0	1.9	1.9
四国	9,912	12,047	10,748	122%	89%	6,067	6,379	5,881	105%	92%	1.6	1.9	1.8
九州	109,219	124,670	124,687	114%	100%	45,755	48,230	49,277	105%	102%	2.4	2.6	2.5
全体	2,796,984	2,977,722	3,044,253	106%	102%	832,216	856,235	912,678	103%	107%	3.4	3.5	3.3

②一般方式

地区	志願者数(A)					合格者数(B)					倍率(A/B)		
	12年度	13年度	14年度	13/12	14/13	12年度	13年度	14年度	13/12	14/13	12年度	13年度	14年度
北海道	16,725	19,912	22,656	119%	114%	8,080	9,042	10,913	112%	121%	2.1	2.2	2.1
東北	19,689	20,758	21,881	105%	105%	9,308	9,044	9,282	97%	103%	2.1	2.3	2.4
関東・甲信越(首都圏除く)	21,705	23,345	23,671	108%	101%	7,461	8,434	8,561	113%	102%	2.9	2.8	2.8
首都圏	1,118,782	1,178,746	1,176,069	105%	100%	269,399	283,976	291,745	105%	103%	4.2	4.2	4.0
北陸	8,671	10,263	11,694	118%	114%	4,338	4,398	4,560	101%	104%	2.0	2.3	2.6
東海	132,535	156,500	161,682	118%	103%	43,451	51,609	54,225	119%	105%	3.1	3.0	3.0
近畿	440,164	488,483	506,694	111%	104%	121,702	124,955	131,761	103%	105%	3.6	3.9	3.8
中国	32,395	32,858	32,310	101%	98%	15,279	16,555	15,833	108%	96%	2.1	2.0	2.0
四国	7,742	9,360	7,505	121%	80%	4,585	4,852	3,834	106%	79%	1.7	1.9	2.0
九州	69,395	82,301	78,519	119%	95%	27,429	30,134	29,738	110%	99%	2.5	2.7	2.6
全体	1,867,803	2,022,526	2,042,681	108%	101%	511,032	542,999	560,452	106%	103%	3.7	3.7	3.6

③センター方式

地区	志願者数(A)					合格者数(B)					倍率(A/B)		
	12年度	13年度	14年度	13/12	14/13	12年度	13年度	14年度	13/12	14/13	12年度	13年度	14年度
北海道	10,811	11,469	15,253	106%	133%	6,941	6,974	8,627	100%	124%	1.6	1.6	1.8
東北	9,842	11,024	11,909	112%	108%	5,622	5,685	6,100	101%	107%	1.8	1.9	2.0
関東・甲信越(首都圏除く)	12,164	13,019	14,560	107%	112%	5,971	6,192	6,952	104%	112%	2.0	2.1	2.1
首都圏	583,740	581,163	592,285	100%	102%	171,253	165,925	187,890	97%	113%	3.4	3.5	3.2
北陸	5,398	7,920	9,038	147%	114%	2,884	4,258	4,448	148%	104%	1.9	1.9	2.0
東海	73,882	88,055	99,799	119%	113%	38,054	39,013	45,119	103%	116%	1.9	2.3	2.2
近畿	179,737	184,836	195,893	103%	106%	64,123	58,591	63,784	91%	109%	2.8	3.2	3.1
中国	11,613	12,654	13,424	109%	106%	6,528	6,975	7,720	107%	111%	1.8	1.8	1.7
四国	2,170	2,687	3,243	124%	121%	1,482	1,527	2,047	103%	134%	1.5	1.8	1.6
九州	39,824	42,369	46,168	106%	109%	18,326	18,096	19,539	99%	108%	2.2	2.3	2.4
全体	929,181	955,196	1,001,572	103%	105%	321,184	313,236	352,226	98%	112%	2.9	3.0	2.8

2014年度入試 私立大入試結果(系統別)(7/3現在)

※数値は7/3現在、私立544大学の集計

※2012～14年度の志願者数・合格者数公表大学を集計(合格者数の未判明やいずれかの年度データが非公表の学部・学科等については集計対象から除く)

※集計には公立大学法人へ移行した次の大学の数値を含む(2012年度:鳥取環境大)

①全体(一般+センター)

学部系統	志願者数(A)					合格者数(B)					倍率(A/B)		
	12年度	13年度	14年度	13/12	14/13	12年度	13年度	14年度	13/12	14/13	12年度	13年度	14年度
文・人文	588,924	612,693	608,712	104%	99%	177,073	185,033	196,766	104%	106%	3.3	3.3	3.1
社会・国際	259,755	257,694	257,397	99%	100%	75,376	76,670	81,172	102%	106%	3.4	3.4	3.2
法・政治	212,501	226,813	218,176	107%	96%	73,329	73,781	77,179	101%	105%	2.9	3.1	2.8
経済・経営・商	542,616	553,151	547,856	102%	99%	157,535	161,140	170,953	102%	106%	3.4	3.4	3.2
理	118,042	127,829	131,122	108%	103%	34,927	36,045	38,578	103%	107%	3.4	3.5	3.4
工	435,755	483,142	522,593	111%	108%	142,775	146,884	157,817	103%	107%	3.1	3.3	3.3
農	89,232	96,428	103,754	108%	108%	22,626	22,319	24,752	99%	111%	3.9	4.3	4.2
医・歯・薬・保健	274,602	326,402	361,370	119%	111%	62,042	65,765	71,886	106%	109%	4.4	5.0	5.0
医	80,128	91,701	104,140	114%	114%	5,294	5,106	5,334	96%	104%	15.1	18.0	19.5
歯	4,527	5,320	6,779	118%	127%	2,265	2,433	2,570	107%	106%	2.0	2.2	2.6
薬	70,856	89,848	104,330	127%	116%	21,966	22,596	23,065	103%	102%	3.2	4.0	4.5
看護	62,994	72,381	72,365	115%	100%	15,563	16,949	19,752	109%	117%	4.0	4.3	3.7
医療技術・他	56,097	67,152	73,756	120%	110%	16,954	18,681	21,165	110%	113%	3.3	3.6	3.5
生活科学	76,085	87,615	85,223	115%	97%	23,779	25,610	27,871	108%	109%	3.2	3.4	3.1
芸術・スポーツ科学	87,539	92,648	92,855	106%	100%	26,940	26,702	27,857	99%	104%	3.2	3.5	3.3
総合・環境・情報・人間	111,473	112,941	114,742	101%	102%	35,464	36,012	37,547	102%	104%	3.1	3.1	3.1
全体	2,796,524	2,977,356	3,043,800	106%	102%	831,866	855,961	912,378	103%	107%	3.4	3.5	3.3

※「全体」の数値が他の集計と一致しないのは、入試方式により大学計しか公表しない大学があるため

②一般方式

学部系統	志願者数(A)					合格者数(B)					倍率(A/B)		
	12年度	13年度	14年度	13/12	14/13	12年度	13年度	14年度	13/12	14/13	12年度	13年度	14年度
文・人文	394,558	415,571	408,216	105%	98%	109,168	117,900	121,513	108%	103%	3.6	3.5	3.4
社会・国際	171,817	172,539	170,148	100%	99%	44,939	46,975	48,619	105%	103%	3.8	3.7	3.5
法・政治	141,672	154,171	145,856	109%	95%	44,071	46,223	46,436	105%	100%	3.2	3.3	3.1
経済・経営・商	371,076	387,465	378,726	104%	98%	98,073	105,376	108,184	107%	103%	3.8	3.7	3.5
理	72,709	82,251	83,039	113%	101%	21,519	22,610	23,600	105%	104%	3.4	3.6	3.5
工	267,003	301,887	325,517	113%	108%	81,887	86,332	89,530	105%	104%	3.3	3.5	3.6
農	57,153	64,108	68,008	112%	106%	13,079	13,418	14,556	103%	108%	4.4	4.8	4.7
医・歯・薬・保健	206,168	245,421	268,922	119%	110%	44,171	47,855	50,431	108%	105%	4.7	5.1	5.3
医	67,735	75,992	86,656	112%	114%	4,657	4,493	4,598	96%	102%	14.5	16.9	18.8
歯	3,024	3,683	4,795	122%	130%	1,577	1,734	1,718	110%	99%	1.9	2.1	2.8
薬	47,380	62,146	71,421	131%	115%	14,594	15,489	14,957	106%	97%	3.2	4.0	4.8
看護	47,655	54,503	53,741	114%	99%	11,691	12,844	14,732	110%	115%	4.1	4.2	3.6
医療技術・他	40,374	49,097	52,309	122%	107%	11,652	13,295	14,426	114%	109%	3.5	3.7	3.6
生活科学	51,895	61,630	58,334	119%	95%	14,911	16,917	17,464	113%	103%	3.5	3.6	3.3
芸術・スポーツ科学	58,884	61,653	59,735	105%	97%	18,252	17,803	17,657	98%	99%	3.2	3.5	3.4
総合・環境・情報・人間	74,408	75,464	75,727	101%	100%	20,612	21,316	22,162	103%	104%	3.6	3.5	3.4
全体	1,867,343	2,022,160	2,042,228	108%	101%	510,682	542,725	560,152	106%	103%	3.7	3.7	3.6

※「全体」の数値が他の集計と一致しないのは、入試方式により大学計しか公表しない大学があるため

③センター方式

学部系統	志願者数(A)					合格者数(B)					倍率(A/B)		
	12年度	13年度	14年度	13/12	14/13	12年度	13年度	14年度	13/12	14/13	12年度	13年度	14年度
文・人文	194,366	197,122	200,496	101%	102%	67,905	67,133	75,253	99%	112%	2.9	2.9	2.7
社会・国際	87,938	85,155	87,249	97%	102%	30,437	29,695	32,553	98%	110%	2.9	2.9	2.7
法・政治	70,829	72,642	72,320	103%	100%	29,258	27,558	30,743	94%	112%	2.4	2.6	2.4
経済・経営・商	171,540	165,686	169,130	97%	102%	59,462	55,764	62,769	94%	113%	2.9	3.0	2.7
理	45,333	45,578	48,083	101%	105%	13,408	13,435	14,978	100%	111%	3.4	3.4	3.2
工	168,752	181,255	197,076	107%	109%	60,888	60,552	68,287	99%	113%	2.8	3.0	2.9
農	32,079	32,320	35,746	101%	111%	9,547	8,901	10,196	93%	115%	3.4	3.6	3.5
医・歯・薬・保健	68,434	80,981	92,448	118%	114%	17,871	17,910	21,455	100%	120%	3.8	4.5	4.3
医	12,393	15,709	17,484	127%	111%	637	613	736	96%	120%	19.5	25.6	23.8
歯	1,503	1,637	1,984	109%	121%	688	699	852	102%	122%	2.2	2.3	2.3
薬	23,476	27,702	32,909	118%	119%	7,372	7,107	8,108	96%	114%	3.2	3.9	4.1
看護	15,339	17,878	18,624	117%	104%	3,872	4,105	5,020	106%	122%	4.0	4.4	3.7
医療技術・他	15,723	18,055	21,447	115%	119%	5,302	5,386	6,739	102%	125%	3.0	3.4	3.2
生活科学	24,190	25,985	26,889	107%	103%	8,868	8,693	10,407	98%	120%	2.7	3.0	2.6
芸術・スポーツ科学	28,655	30,995	33,120	108%	107%	8,688	8,899	10,200	102%	115%	3.3	3.5	3.2
総合・環境・情報・人間	37,065	37,477	39,015	101%	104%	14,852	14,696	15,385	99%	105%	2.5	2.6	2.5
全体	929,181	955,196	1,001,572	103%	105%	321,184	313,236	352,226	98%	112%	2.9	3.0	2.8

2014年度入試 私立大入試結果(主要大学グループ別)(7/3現在)

※数値は7/3現在、私立544大学の集計

※2012～14年度の志願者数・合格者数公表大学を集計(合格者数の未判明やいずれかの年度データが非公表の学部・学科等については集計対象から除く)

※集計には公立大学法人へ移行した次の大学の数値を含む(2012年度:鳥取環境大)

※大学グループ

早慶上理:早稲田・慶應義塾・上智・東京理科 MARCH:明治・青山学院・立教・中央・法政 日東駒専:日本・東洋・駒澤・専修
 成成明國武:成蹊・成城・明治学院・國學院・武蔵 首都圏理系9大学:千葉工業・北里・工学院・芝浦工業・東京工科・東京電機・東京農業・麻布・神奈川工科
 首都圏女子12大学:大妻女子・学習院女子・共立女子・白百合女子・実践女子・昭和女子・清泉女子・津田塾・東京女子・日本女子・東洋英和女学院・フェリス女学院
 関関同立:関西・関西学院・同志社・立命館 産近甲龍:京都産業・近畿・甲南・龍谷

①全体(一般+センター)

大学グループ		志願者数(A)					合格者数(B)					倍率(A／B)		
		12年度	13年度	14年度	13/12	14/13	12年度	13年度	14年度	13/12	14/13	12年度	13年度	14年度
544大学 計		2,796,984	2,977,722	3,044,253	106%	102%	832,216	856,235	912,678	103%	107%	3.4	3.5	3.3
主な大学グループ	早慶上理	229,733	228,942	229,869	100%	100%	50,292	49,762	50,474	99%	101%	4.6	4.6	4.6
	MARCH	408,533	408,859	392,872	100%	96%	77,761	79,480	82,092	102%	103%	5.3	5.1	4.8
	日東駒専	223,309	229,818	226,268	103%	98%	60,170	63,055	65,616	105%	104%	3.7	3.6	3.4
	成成明國武	101,537	93,613	96,259	92%	103%	23,356	23,277	25,643	100%	110%	4.3	4.0	3.8
	首都圏理系9大学	166,514	180,035	193,452	108%	107%	41,978	41,554	46,400	99%	112%	4.0	4.3	4.2
	首都圏女子12大学	57,792	62,154	62,643	108%	101%	21,946	23,637	24,804	108%	105%	2.6	2.6	2.5
	関関同立	260,498	266,249	267,233	102%	100%	74,964	73,188	78,241	98%	107%	3.5	3.6	3.4
	産近甲龍	160,241	186,009	201,171	116%	108%	40,301	39,528	42,567	98%	108%	4.0	4.7	4.7
	北星学園・北海学園	8,924	9,337	9,222	105%	99%	4,469	4,613	6,014	103%	130%	2.0	2.0	1.5
	東北学院	9,275	9,282	9,259	100%	100%	5,136	4,583	4,313	89%	94%	1.8	2.0	2.1
	南山・愛知・中京・名城	90,869	100,852	102,976	111%	102%	34,576	34,966	37,049	101%	106%	2.6	2.9	2.8
西南学院・福岡	59,828	67,407	66,914	113%	99%	18,164	18,550	18,987	102%	102%	3.3	3.6	3.5	

②一般方式

大学グループ		志願者数(A)					合格者数(B)					倍率(A／B)		
		12年度	13年度	14年度	13/12	14/13	12年度	13年度	14年度	13/12	14/13	12年度	13年度	14年度
544大学 計		1,867,803	2,022,526	2,042,681	108%	101%	511,032	542,999	560,452	106%	103%	3.7	3.7	3.6
主な大学グループ	早慶上理	197,867	196,287	195,697	99%	100%	40,470	40,852	40,988	101%	100%	4.9	4.8	4.8
	MARCH	260,916	265,421	259,758	102%	98%	46,954	48,919	50,239	104%	103%	5.6	5.4	5.2
	日東駒専	138,531	146,528	143,406	106%	98%	35,721	38,631	39,216	108%	102%	3.9	3.8	3.7
	成成明國武	62,712	59,635	58,709	95%	98%	13,162	13,579	14,094	103%	104%	4.8	4.4	4.2
	首都圏理系9大学	99,257	113,430	120,201	114%	106%	22,550	23,209	23,940	103%	103%	4.4	4.9	5.0
	首都圏女子12大学	33,817	36,384	35,523	108%	98%	12,627	13,997	14,427	111%	103%	2.7	2.6	2.5
	関関同立	176,178	184,239	182,987	105%	99%	46,867	47,500	50,050	101%	105%	3.8	3.9	3.7
	産近甲龍	120,101	140,939	150,217	117%	107%	27,357	27,186	28,742	99%	106%	4.4	5.2	5.2
	北星学園・北海学園	6,393	6,594	5,823	103%	88%	3,060	3,059	3,922	100%	128%	2.1	2.2	1.5
	東北学院	6,043	5,848	5,710	97%	98%	3,189	2,740	2,620	86%	96%	1.9	2.1	2.2
	南山・愛知・中京・名城	57,404	62,651	61,542	109%	98%	16,157	17,445	17,835	108%	102%	3.6	3.6	3.5
	西南学院・福岡	40,464	47,415	45,120	117%	95%	11,748	12,168	12,451	104%	102%	3.4	3.9	3.6

③センター方式

大学グループ		志願者数(A)					合格者数(B)					倍率(A／B)		
		12年度	13年度	14年度	13/12	14/13	12年度	13年度	14年度	13/12	14/13	12年度	13年度	14年度
544大学 計		929,181	955,196	1,001,572	103%	105%	321,184	313,236	352,226	98%	112%	2,9	3,0	2,8
主な大学グループ	早慶上理	31,866	32,655	34,172	102%	105%	9,822	8,910	9,486	91%	106%	3,2	3,7	3,6
	MARCH	147,617	143,438	133,114	97%	93%	30,807	30,561	31,853	99%	104%	4,8	4,7	4,2
	日東駒専	84,778	83,290	82,862	98%	99%	24,449	24,424	26,400	100%	108%	3,5	3,4	3,1
	成成明國武	38,825	33,978	37,550	88%	111%	10,194	9,698	11,549	95%	119%	3,8	3,5	3,3
	首都圏理系9大学	67,257	66,605	73,251	99%	110%	19,428	18,345	22,460	94%	122%	3,5	3,6	3,3
	首都圏女子12大学	23,975	25,770	27,120	107%	105%	9,319	9,640	10,377	103%	108%	2,6	2,7	2,6
	関関同立	84,320	82,010	84,246	97%	103%	28,097	25,688	28,191	91%	110%	3,0	3,2	3,0
	産近甲龍	40,140	45,070	50,954	112%	113%	12,944	12,342	13,825	95%	112%	3,1	3,7	3,7
	北星学園・北海学園	2,531	2,743	3,399	108%	124%	1,409	1,554	2,092	110%	135%	1,8	1,8	1,6
	東北学院	3,232	3,434	3,549	106%	103%	1,947	1,843	1,693	95%	92%	1,7	1,9	2,1
南山・愛知・中京・名城		33,465	38,201	41,434	114%	108%	18,419	17,521	19,214	95%	110%	1,8	2,2	2,2
西南学院・福岡		19,364	19,992	21,794	103%	109%	6,416	6,382	6,536	99%	102%	3,0	3,1	3,3

<資料3 他大学心理学部・学科 入学定員数>

大学名	学部・学科	入学定員
京都文教大学	臨床心理学部臨床心理学科	120
	臨床心理学部教育福祉心理学科こども教育心理専攻	45
	臨床心理学部教育福祉心理学科保育福祉心理専攻	28
同志社大学	心理学部心理学科	150
	文学部心理学科	65
佛教大学	教育学部臨床心理学科	60
龍谷大学	文学部臨床心理学科	69
追手門学院大学	心理学部心理学科	200
関西大学	社会学部心理学専攻	198
近畿大学	総合社会学部心理系専攻	120
関西学院大学	文学部総合心理科学科	175
甲南女子大学	人間科学部心理学科	78
神戸女学院大学	人間科学部心理・行動科学科	69
愛知大学	文学部人文社会学科心理学コース	100
中京大学	心理学部心理学科	165
南山大学	人文学部心理人間学科	110

I. 1. 書類等の題名

「学生の確保の見通し等を記載した書類」 9-11 ページ

資料2 2014年度入試結果 私立大学

2. 引用元

Kei-Net/河合塾の大学入試情報サイト

2014 年度入試 私立大入試結果（全体、地区別、系統別、主要大学グループ別）

http://www.keinet.ne.jp/dnj/result/14s_zentai.pdf

II. 1. 書類等の題名

「学生の確保の見通し等を記載した書類」 12 ページ

資料3 他大学心理学部・学科 入学定員数

2. 引用元

各大学ホームページ

3. 説明

各大学のホームページを元に、他大学心理学部・学科の入学定員数の表を本学において作成した。

立命館大学「総合心理学部」
新設に係るニーズアセスメント調査
(高校生アンケート調査)
報告書

株式会社 紀伊國屋書店
株式会社 高等教育総合研究所

目 次

1章 学生確保の見通し調査①（【一般高校向け】高校生アンケート調査）結果	3
1.【一般高校向け】高校生アンケート調査 概要	4
2.【一般高校向け】高校生アンケート調査 全質問項目の集計結果	6
3.【一般高校向け】高校生アンケート調査 結果のまとめ	11
2章 学生確保の見通し調査②（【附属高校向け】高校生アンケート調査）結果	15
1.【附属高校向け】高校生アンケート調査 概要	16
2.【附属高校向け】高校生アンケート調査 全質問項目の集計結果	17
3.【附属高校向け】高校生アンケート調査 結果のまとめ	21
3章 学生確保の見通し調査 まとめ（2つの高校生アンケート調査のまとめ）	25
学生確保の見通し調査 結果のまとめ（2つの高校生アンケート調査のまとめ）	26
別添資料	
資料①【一般高校向け】「設置構想についての高校生アンケート調査」	31
資料②【附属高校向け】「設置構想についての高校生アンケート調査」	37

1章

学生確保の見通し調査①

（【一般高校向け】高校生アンケート調査）

結 果

1.【一般高校向け】高校生アンケート調査 概要

- ◆ **調査内容：** 立命館大学が平成 28 年度に設置を予定する「総合心理学部」における学生確保の見通しを測定するために、附属高校以外の一般高校に「設置構想についての高校生アンケート」を実施した。

アンケート項目は全 10 問で、全て選択肢式とした。

主な質問内容は、以下である。

＜回答者本人について＞

- 問 1 居住地
- 問 2 性別
- 問 3 興味のある学問分野
- 問 4 高校卒業後の希望進路
- 問 5 将来の希望進路（就職先）

＜立命館大学の「総合心理学部」への受験・入学意欲について＞

- 問 6 受験意欲の有無
- 問 7（受験したい場合）入学意欲の有無
（併願希望の場合）併願先
- 問 8（受験したい場合）入学した場合、選択したいコース
- 問 9（受験しない場合）理由
- 問 10（受験しない場合）立命館大学において現時点で受験したい他学部

→ 配布アンケート用紙は 31 ページ・資料①【一般高校向け】「設置構想についての高校生アンケート調査」参照。

- ◆ **調査時期：** 平成 26 年 11 月～12 月
- ◆ **調査対象：** 平成 28 年度の大学入試を受験する可能性が最も高い高校 2 年生（平成 28 年 3 月卒業予定者）をアンケートの対象とした。
- ◆ **調査方法：** アンケート実施の了承が得られた高校に高校生アンケート用紙（必要部数）を送付。各校の教職員から調査対象者（高校 2 年生）にアンケート用紙を配布の上、10 分程度の回答時間を設け、その場で回収頂いた。
- ◆ **実施高校：** 立命館大学への志願者が多い、近畿地方を中心とした西日本の実績校（附属高校を除く）に高校生アンケート調査の実施依頼を行い、最終的な実施期日と定めた平成 26 年 12 月 19 日までに 20 府県の 87 校より協力頂いた。
→ 「府県別の実施高校数」は 5 ページ表を参照。
- ◆ **実施人数：** 10,544 人（有効回答数）
→ 「在学高校所在地別の実施人数」は 5 ページ表を参照。
→ 回答者の居住地別の実施人数一覧は 6 ページ表（「問 1」結果）を参照。

府県別の実施高校数

	公立	私立	合計	構成比
石川県	0	1	1	1.1%
福井県	0	1	1	1.1%
岐阜県	2	0	2	2.3%
静岡県	3	0	3	3.4%
愛知県	3	3	6	6.9%
三重県	1	2	3	3.4%
滋賀県	8	2	10	11.5%
京都府	3	3	6	6.9%
大阪府	11	14	25	28.7%
兵庫県	6	5	11	12.6%
奈良県	2	1	3	3.4%
和歌山県	0	1	1	1.1%
岡山県	1	0	1	1.1%
広島県	3	2	5	5.7%
徳島県	1	0	1	1.1%
香川県	2	0	2	2.3%
愛媛県	0	1	1	1.1%
高知県	0	1	1	1.1%
福岡県	1	2	3	3.4%
熊本県	1	0	1	1.1%
合計	48	39	87	100.0%
構成比	55.2%	44.8%	100.0%	

在学高校所在地別の実施人数

	公立	私立	合計	構成比
石川県	0	130	130	1.2%
福井県	0	107	107	1.0%
岐阜県	384	0	384	3.6%
静岡県	676	0	676	6.4%
愛知県	234	396	630	6.0%
三重県	67	436	503	4.8%
滋賀県	1,125	385	1,510	14.3%
京都府	260	256	516	4.9%
大阪府	1,470	1,672	3,142	29.8%
兵庫県	647	801	1,448	13.7%
奈良県	243	46	289	2.7%
和歌山県	0	43	43	0.4%
岡山県	75	0	75	0.7%
広島県	146	101	247	2.3%
徳島県	82	0	82	0.8%
香川県	158	0	158	1.5%
愛媛県	0	49	49	0.5%
高知県	0	204	204	1.9%
福岡県	33	239	272	2.6%
熊本県	79	0	79	0.7%
合計	5,679	4,865	10,544	100.0%
構成比	53.9%	46.1%	100.0%	

※回答者の居住地別の実施人数一覧は6ページ表
（「問1」結果）を参照。

2.【一般高校向け】高校生アンケート調査 全質問項目の集計結果

※「構成比」(%)はいずれも、小数点第二位を四捨五入した。

問1 あなたが現在お住まいの都道府県をお答えください。

※ 回答のあった選択項目のみ記載。

※ アンケートを実施しなかった一部の都道府県（例：北海道、沖縄県等）は出身地等を回答したと推察される。

選択項目	回答数	構成比
1. 北海道	6	0.1%
2. 青森県	1	0.0%
12. 千葉県	1	0.0%
13. 東京都	1	0.0%
14. 神奈川県	2	0.0%
15. 新潟県	1	0.0%
16. 富山県	1	0.0%
17. 石川県	130	1.2%
18. 福井県	106	1.0%
21. 岐阜県	394	3.7%
22. 静岡県	670	6.4%
23. 愛知県	613	5.8%
24. 三重県	503	4.8%
25. 滋賀県	1,530	14.5%
26. 京都府	458	4.3%
27. 大阪府	3,076	29.2%
28. 兵庫県	1,442	13.7%
29. 奈良県	373	3.5%
30. 和歌山県	27	0.3%
31. 鳥取県	1	0.0%
33. 岡山県	75	0.7%
34. 広島県	246	2.3%
36. 徳島県	82	0.8%
37. 香川県	158	1.5%
38. 愛媛県	51	0.5%
39. 高知県	202	1.9%
40. 福岡県	269	2.6%
41. 佐賀県	2	0.0%
43. 熊本県	80	0.8%
44. 大分県	1	0.0%
46. 鹿児島県	1	0.0%
47. 沖縄県	4	0.0%
（無回答）	37	0.4%
計	10,544	100.0%

問2 あなたの性別をお答えください。

選択項目	回答数	構成比
1. 男性	5,010	47.5%
2. 女性	5,441	51.6%
(無回答)	93	0.9%
計	10,544	100.0%

問3 あなたの興味のある学問分野をお答えください。

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は全回答者 10,544 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

選択項目	回答数	構成比
1. 文学・史学・地理学	2,017	19.1%
2. 哲学	664	6.3%
3. 心理学	2,415	22.9%
4. 語学	1,657	15.7%
5. 人文・教養・人間科学	1,054	10.0%
6. 教育・教員養成	2,110	20.0%
7. 法学・政治学	1,330	12.6%
8. 経済・経営・商学	2,645	25.1%
9. 社会・社会福祉	846	8.0%
10. 国際関係学	1,590	15.1%
11. 理学	775	7.4%
12. 工学	1,070	10.1%
13. 農・獣医畜産・水産	629	6.0%
14. 医学	385	3.7%
15. 歯学	120	1.1%
16. 薬学	518	4.9%
17. 看護学	736	7.0%
18. 医療・保健学（看護以外）	412	3.9%
19. 栄養学	580	5.5%
20. 家政・生活科学	363	3.4%
21. 体育・健康科学	796	7.5%
22. 芸術	932	8.8%
23. その他	245	2.3%

問4 あなたの高校卒業後の希望進路についてお答えください。

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は全回答者 10,544 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

選択項目	回答数	人数合計
1. 大学	10,008	94.9%
2. 短期大学	324	3.1%
3. 専門学校	620	5.9%
4. 就職	251	2.4%
5. その他	74	0.7%

問5 あなたが将来、希望する進路をお答えください。

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は全回答者 10,544 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

選択項目	回答数	構成比
1. 一般企業	4,276	40.6%
2. 公務員	2,709	25.7%
3. 教員	1,707	16.2%
4. 研究・技術職	757	7.2%
5. 資格を活かす職業	2,606	24.7%
6. 起業・会社経営	689	6.5%
7. 大学院進学	547	5.2%
8. まだ決めていない	2,336	22.2%
9. その他	289	2.7%

問6 あなたは立命館大学が設置構想中の「総合心理学部」を受験したいと思いますか。

選択項目	回答数	構成比
1. 受験したい	1,083	10.3%
2. 受験しない	8,950	84.9%
(無回答)	511	4.8%
計	10,544	100.0%

以下の「問7」「問8」は、「問6」で「1. 受験したい」を選択した 1,083 人が回答対象である。

問7 あなたは立命館大学が設置構想中の「総合心理学部」に合格した場合、入学したいと思いますか。

選択項目	回答数	構成比
1. 合格した場合、入学したい	485	44.8%
2. 合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい	592	54.7%
(無回答)	6	0.6%
計	1,083	100.0%

（問7で）2の方は、併願先として検討中の大学・学部をお答えください。

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は回答対象者 592 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

選択項目	回答数	構成比
1. 国公立大学の心理系学部・学科	207	35.0%
2. その他の私立大学の心理系学部・学科	162	27.4%
3. 立命館大学の他学部・学科	48	8.1%
4. その他	111	18.8%

問8 あなたは立命館大学が設置構想中の「総合心理学部」に進学した場合、選択したいコースをお答えください。

選択項目	回答数	構成比
1. 認知・行動コース	535	49.4%
2. 発達・支援コース	88	8.1%
3. 社会・共生コース	275	25.4%
4. 未定	163	15.1%
（無回答）	22	2.0%
計	1,083	100.0%

以下の「問9」「問10」は、「問6」で「2. 受験しない」を選択した 8,950 人が回答対象である。

問9 あなたが立命館大学が設置構想中の「総合心理学部」を「受験しない」と回答された理由をお答えください。

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は回答対象者 8,950 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

選択項目	回答数	構成比
1. 興味・関心のある学問分野ではないから	6,339	70.8%
2. 心理学に興味があるが、国公立大学への進学を強く希望しているから	1,179	13.2%
3. 心理学に興味があるが、他の私立大学への進学を強く希望しているから	647	7.2%
4. 心理学に興味があるが、新たに設置される学部への進学は不安だから	282	3.2%
5. 通学が不便そうだから	652	7.3%
6. 学費が高いから	1,156	12.9%
7. 大学進学はしない（短期大学・専門学校に進学、就職を希望）	195	2.2%
8. その他	296	3.3%

（問10結果は次ページ）

問10 立命館大学において、あなたが現時点で受験したい学部をお答えください。

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は回答対象者 8,950 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

選択項目		回答数	構成比
衣笠キャンパス (京都市北区)	1. 法学部	771	8.6%
	2. 産業社会学部	267	3.0%
	3. 国際関係学部	1,079	12.1%
	4. 文学部	1,049	11.7%
	5. 映像学部	354	4.0%
びさこ・くさつキャンパス (滋賀県草津市)	6. 経済学部	1,106	12.4%
	7. 理工学部	768	8.6%
	8. 情報理工学部	308	3.4%
	9. 生命科学部	373	4.2%
	10. 薬学部	318	3.6%
大阪いばらきキャンパス (大阪府茨木市)	11. スポーツ健康科学部	562	6.3%
	12. 経営学部	1,108	12.4%
	13. 政策科学部	202	2.3%

3.【一般高校向け】高校生アンケート調査 結果のまとめ

※「構成比」(%)はいずれも、小数点第二位を四捨五入した。

◆ 回答を得た高校生の基本情報（「問 1」～「問 5」結果より）

今回、87の高校（附属高校4校を除く）を対象に実施した「設置構想についての高校生アンケート調査」において、「問 1」結果として以下の1-1（グラフ）で示す通り、高校生が居住する都道府県として最も回答数が多かったのは「大阪府」で全回答者10,544人のうち3,076人（全体の29.2%）であった。他に「滋賀県」1,530人（同14.5%）、「兵庫県」1,442人（同13.7%）、「近畿その他」858人（同8.1%）で、近畿地方の居住者の合計は6,906人（同65.5%）であった。その他、居住地として回答数が多かった主な地方は、「東海」が2,180人（20.7%）、「中国・四国」が815人（同7.7%）であった。

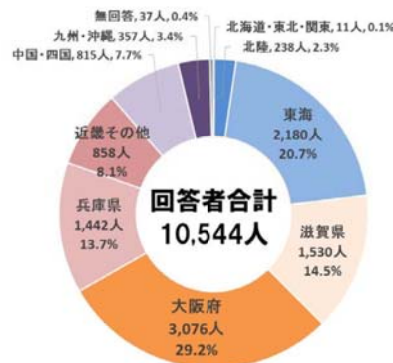
回答者の男女別については、「問 2」結果として12ページの1-2（グラフ）で示す通り、「男性」5,010人（同47.5%）、「女性」5,441人（同51.6%）であった。

高校生が興味のある学問分野については、「問 3」結果として12ページの1-3（表）で示す通り、最も回答数が多かったのは「経済・経営・商学」2,645人（同25.1%）であった。次いで多かったのが、「心理学」2,415人（同22.9%）であった（いずれも複数回答の結果）。高校生の5人に1人が「心理」に興味を持っていることが分かった。

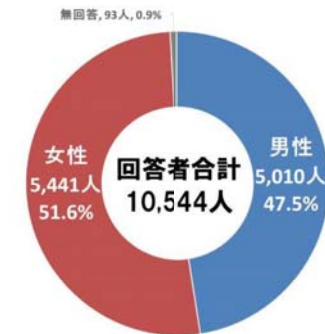
高校卒業後の希望進路としては、「問 4」結果として12ページの1-4（表）で示す通り、最も回答数が多かったのは「大学」10,008人（同94.9%）であった（複数回答の結果）。

また、将来の希望進路（就職先）については、「問 5」結果として13ページの1-5（表）で示す通り、回答数が多い順に「一般企業」4,276人（同40.6%）、「公務員」2,709人（同25.7%）、「資格を活かす職業」2,606人（同24.7%）であった（いずれも複数回答の結果）。

1-1 回答を得た高校生の居住地（「問 1」結果より）



1-2 回答を得た高校生の性別（「問 2」結果より）



1-3 回答を得た高校生の興味のある学問分野（「問 3」結果より／回答数の多い順で、上位5項目）

選択項目	回答数	構成比
経済・経営・商学	2,645人	25.1%
心理学	2,415人	22.9%
教育・教員養成	2,110人	20.0%
文学・史学・地理学	2,017人	19.1%
語学	1,657人	15.7%

※ 回答数は複数回答の結果。

※ 構成比は、全回答者10,544人のうち、各項目を挙げた者の割合。

1-4 回答を得た高校生の高校卒業後の希望進路（「問 4」結果より／回答数の多い順）

選択項目	回答数	構成比
大学	10,008人	94.9%
専門学校	620人	5.9%
短期大学	324人	3.1%
就職	251人	2.4%
その他	74人	0.7%

※ 回答数は複数回答の結果。

※ 構成比は、全回答者10,544人のうち、各項目を挙げた者の割合。

1-5 回答を得た高校生の将来の希望進路（「問5」結果より／回答数の多い順で、上位5項目）

選択項目	回答数	構成比
一般企業	4,276人	40.6%
公務員	2,709人	25.7%
資格を活かす職業	2,606人	24.7%
まだ決めていない	2,336人	22.2%
教員	1,707人	16.2%

※ 回答数は複数回答の結果。

※ 構成比は、全回答者 10,544 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

◆「総合心理学部」の受験・入学意欲（「問6」～「問8」結果より）

今回実施した「設置構想についての高校生アンケート調査」では、立命館大学が設置を予定する「総合心理学部」の概要を示した上で、「問6」で受験意欲について、「問7」で入学意欲について回答を求めた。その結果、「問6」「問7」結果として以下の2-1（グラフ）で示す通り、**1,083人（※全体の10.3%）が「受験したい」と回答した**。さらに、「受験したい」と回答した1,083人に対し、合格した場合の入学意欲について回答を求めたところ、「入学したい」と回答した高校生は485人、「併願大学の結果によっては入学したい」と回答した高校生は592人いた。なお、「**入学したい」とした高校生のみでも立命館大学の「総合心理学部」が予定する入学定員280人の1.7倍、「入学したい」「併願大学の結果によっては入学したい」の合計では1,077人で入学定員の3.8倍であった。**

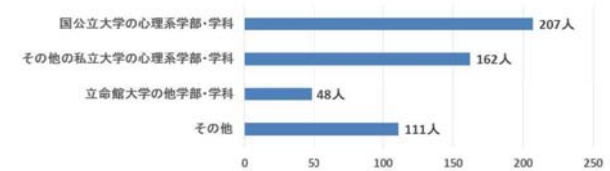
なお、「併願大学の結果によっては入学したい」と回答した592人が示した併願先は、「問7」結果として14ページの2-2（グラフ）で示す通り、「国公立大学の心理系学部・学科」207人、「その他の私立大学の心理系学部・学科」162人、「立命館大学の他学部・学科」48人などであった。

一方、「問6」で「総合心理学部」を「受験したい」とした1,083人が入学した場合に選択したいコースは、「問8」結果として14ページの2-3（グラフ）で示す通り、「認知・行動コース」535人（回答対象者の49.4%）、「発達・支援コース」88人（同8.1%）、「社会・共生コース」275人（同25.4%）、「未定」163人（同15.1%）であった。

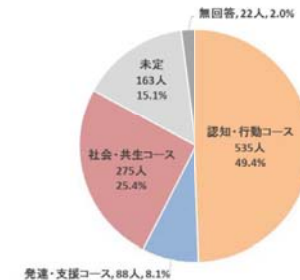
2-1 立命館大学「総合心理学部」に受験意欲、入学意欲を示す高校生の人数（「問6」「問7」結果より）



2-2 立命館大学「総合心理学部」の併願先（「問7」結果より）



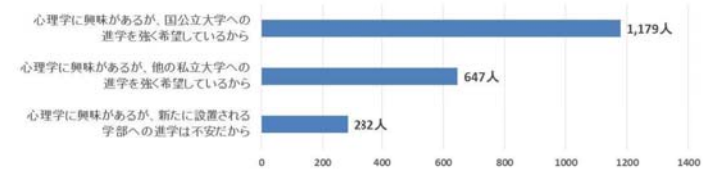
2-3 立命館大学「総合心理学部」に入学した場合、選択したいコース（「問8」結果より）



◆「総合心理学部」を受験しない理由（「問9」結果より）

立命館大学が設置を予定する「総合心理学部」を「受験しない」とした8,950人に、その理由について回答を求めた。その結果、「問9」結果として以下の3-1（グラフ）で示す通り、「心理学に興味があるが、国公立大学への進学を強く希望しているから」とした回答が1,179人、「心理学に興味があるが、他の私立大学への進学を強く希望しているから」とした回答が647人、「心理学に興味があるが、新たに設置される学部への進学は不安だから」とした回答が292人から示された（いずれも複数回答の結果）。これらの高校生は心理学には興味を示していることから、**今後の広報・募集活動を通じて立命館大学の「総合心理学部」の志願者になりえる層と推察される。**

3-1 立命館大学「総合心理学部」を受験しない理由（「問9」結果より／一部項目を抜粋で、回答数の多い順）



※ 回答数は複数回答の結果。

2章

学生確保の見通し調査②

（【附属高校向け】高校生アンケート調査）

結 果

1.【附属高校向け】高校生アンケート調査 概要

- ◆ **調査内容：** 立命館大学が平成 28 年度に設置を予定する「総合心理学部」における学生確保の見通しを測定するために、立命館大学の附属高校 4 校（立命館高等学校、立命館宇治高等学校、立命館慶祥高等学校、立命館守山高等学校）に「設置構想についての高校生アンケート」を実施した。

アンケート項目は全 9 問で、全て選択肢式とした。

主な質問内容は、以下である。

<回答者本人について>

- 問 1 居住地
- 問 2 性別
- 問 3 興味のある学問分野
- 問 4 高校卒業後の希望進路
- 問 5 将来の希望進路（就職先）

<立命館大学の「総合心理学部」への進学意欲について>

- 問 6 進学意欲の有無
- 問 7 進学した場合、選択したいコース
- 問 8（進学したくない場合）理由
- 問 9（進学したくない場合）立命館大学において現時点で進学したい他学部

→ 配布アンケート用紙は 37 ページ・資料②【附属高校向け】「設置構想についての高校生アンケート調査」参照。

- ◆ **調査時期：** 平成 26 年 11 月～12 月
- ◆ **調査対象：** 平成 28 年度の大学入試を受験する可能性が最も高い**高校 2 年生**（平成 28 年 3 月卒業予定者）をアンケートの対象とした。
- ◆ **調査方法：** 立命館大学の附属高校 4 校に高校生アンケート用紙（必要部数）を送付。各校の教職員から調査対象者（高校 2 年生）にアンケート用紙を配布の上、10 分程度の回答時間を設け、その場で回収頂いた。
- ◆ **実施高校：** 立命館高等学校（京都府）、立命館宇治高等学校（京都府）、立命館慶祥高等学校（北海道）、立命館守山高等学校（滋賀県）
- ◆ **実施人数：** **1,090 人**（有効回答数）

2.【附属高校向け】高校生アンケート調査 全質問項目の集計結果

※「構成比」(%)はいずれも、小数点第二位を四捨五入した。

問1 あなたが現在お住まいの都道府県をお答えください。

※ 回答のあった選択項目のみ記載。

※ アンケートを実施しなかった一部の都道府県（例：青森県、新潟県、沖縄県等）は出身地等を回答したと推察される。

選択項目	回答数	構成比
1. 北海道	290	26.6%
2. 青森県	1	0.1%
15. 新潟県	1	0.1%
21. 岐阜県	3	0.3%
24. 三重県	1	0.1%
25. 滋賀県	202	18.5%
26. 京都府	427	39.2%
27. 大阪府	100	9.2%
28. 兵庫県	8	0.7%
29. 奈良県	45	4.1%
30. 和歌山県	1	0.1%
41. 佐賀県	1	0.1%
47. 沖縄県	1	0.1%
(無回答)	9	0.8%
計	1,090	100.0%

問2 あなたの性別をお答えください。

選択項目	回答数	構成比
1. 男性	578	53.0%
2. 女性	497	45.6%
(無回答)	15	1.4%
計	1,090	100.0%

問3 あなたの興味のある学問分野をお答えください。

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は全回答者 1,000 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

選択項目	回答数	構成比
1. 文学・史学・地理学	153	14.0%
2. 哲学	88	8.1%
3. 心理学	294	27.0%
4. 語学	145	13.3%
5. 人文・教養・人間科学	90	8.3%
6. 教育・教員養成	148	13.6%
7. 法学・政治学	165	15.1%
8. 経済・経営・商学	297	27.2%
9. 社会・社会福祉	68	6.2%
10. 国際関係学	223	20.5%
11. 理学	198	18.2%
12. 工学	154	14.1%
13. 農・獣医畜産・水産	70	6.4%
14. 医学	101	9.3%
15. 歯学	23	2.1%
16. 薬学	91	8.3%
17. 看護学	46	4.2%
18. 医療・保健学（看護以外）	47	4.3%
19. 栄養学	96	8.8%
20. 家政・生活科学	31	2.8%
21. 体育・健康科学	148	13.6%
22. 芸術	119	10.9%
23. その他	30	2.8%

問4 あなたの高校卒業後の希望進路についてお答えください。

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は全回答者 1,000 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

選択項目	回答数	人数合計
1. 大学	1,075	98.6%
2. 短期大学	6	0.6%
3. 専門学校	22	2.0%
4. 就職	11	1.0%
5. その他	12	1.1%

問5 あなたが将来、希望する進路をお答えください。

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は全回答者 1,000 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

選択項目	回答数	構成比
1. 一般企業	468	42.9%
2. 公務員	193	17.7%
3. 教員	132	12.1%
4. 研究・技術職	111	10.2%
5. 資格を活かす職業	245	22.5%
6. 起業・会社経営	110	10.1%
7. 大学院進学	97	8.9%
8. まだ決めていない	292	26.8%
9. その他	47	4.3%

問6 あなたは立命館大学が設置構想中の「総合心理学部」へ進学したいと思いますか。

選択項目	回答数	構成比
1. 進学したい	191	17.5%
2. 進学したくない	865	79.4%
(無回答)	34	3.1%
計	1,090	100.0%

以下の「問7」は、「問6」で「1. 進学したい」を選択した 191 人が回答対象である。**問7** あなたは立命館大学が設置構想中の「総合心理学部」に進学した場合、選択したいコースをお答えください。

選択項目	回答数	構成比
1. 認知・行動コース	92	48.2%
2. 発達・支援コース	21	11.0%
3. 社会・共生コース	38	19.9%
4. 未定	37	19.4%
(無回答)	3	1.6%
計	191	100.0%

以下の「問8」「問9」は、「問6」で「2. 進学したくない」を選択した 865 人が回答対象である。**問8** あなたが立命館大学が設置構想中の「総合心理学部」へ「進学したくない」と回答された理由をお答えください。

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は回答対象者 865 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

選択項目	回答数	構成比
1. 興味・関心のある学問分野ではないから	614	71.0%
2. 心理学に興味があるが、国公立大学への進学を強く希望しているから	62	7.2%
3. 心理学に興味があるが、他の私立大学への進学を強く希望しているから	46	5.3%
4. 心理学に興味があるが、新たに設置される学部への進学は不安だから	10	1.2%
5. 心理学に興味があるが、海外の大学への進学を強く希望しているから	65	7.5%
6. 通学が不便そうだから	28	3.2%
7. 学費が高いから	59	6.8%
8. 大学進学はしない（短期大学・専門学校に進学、就職を希望）	7	0.8%
9. その他	61	7.1%

問9 立命館大学において、あなたが現時点で進学したい学部をお答えください。

※ 複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 構成比は回答対象者 865 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

	選択項目	回答数	構成比
衣笠キャンパス (京都市北区)	1. 法学部	107	12.4%
	2. 産業社会学部	103	11.9%
	3. 国際関係学部	136	15.7%
	4. 文学部	100	11.6%
	5. 映像学部	39	4.5%
びさこ・くさつキャンパス (滋賀県草津市)	6. 経済学部	99	11.4%
	7. 理工学部	156	18.0%
	8. 情報理工学部	85	9.8%
	9. 生命科学部	97	11.2%
	10. 薬学部	74	8.6%
	11. スポーツ健康科学部	84	9.7%
大阪いばらきキャンパス (大阪府茨木市)	12. 経営学部	211	24.4%
	13. 政策科学部	69	8.0%

3.【附属高校向け】高校生アンケート調査 結果のまとめ

※「構成比」(%)はいずれも、小数点第二位を四捨五入した。

◆ 回答を得た高校生の基本情報（「問1」～「問5」結果より）

今回、立命館大学の附属高校4校を対象に実施した「設置構想についての高校生アンケート調査」において、「問1」結果として以下の1-1（グラフ）で示す通り、**附属高校生が居住する都道府県として最も回答数が多かったのは「京都府」で全回答者1,090人のうち427人（全体の39.2%）**であった。他に「滋賀県」202人（同18.5%）、「大阪府」100人（同9.2%）、「近畿その他」54人（同5.0%）で、**近畿地方の居住者の合計は783人（同71.8%）**であった。その他、居住地として回答が多かったのは、「北海道」290人（26.6%）であった。

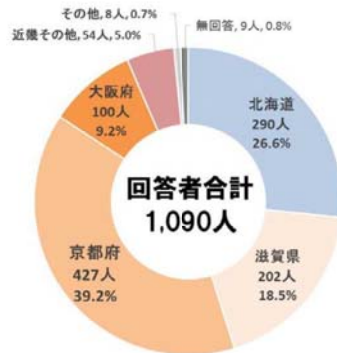
回答者の男女別については、「問2」結果として22ページの1-2（グラフ）で示す通り、**「男性」578人（同53.0%）、「女性」497人（同45.6%）**であった。

附属高校生が興味のある学問分野については、「問3」結果として22ページの1-3（表）で示す通り、最も回答数が多かったのは「経済・経営・商学」297人（同27.2%）であった。次いで多かったのが、**「心理学」294人（同27.0%）**で最も多かった「経済・経営・商学」とは僅差であった（いずれも複数回答の結果）。**附属高校生の4人に1人が「心理学」に興味を持っていることが分かった。**

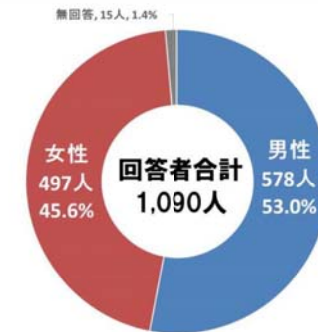
附属高校卒業後の希望進路としては、「問4」結果として22ページの1-4（表）で示す通り、**最も回答数が多かったのは「大学」1,075人（同98.6%）**であった（複数回答の結果）。

また、将来の希望進路（就職先）については、「問5」結果として23ページの1-5（表）で示す通り、回答数が多い順に「一般企業」468人（同42.9%）、「まだ決めていない」292人（同26.8%）、「資格を活かす職業」245人（同22.5%）であった（いずれも複数回答の結果）。

1-1 回答を得た高校生の居住地（「問1」結果より）



1-2 回答を得た高校生の性別（「問2」結果より）



1-3 回答を得た高校生の興味のある学問分野（「問3」結果より／回答数の多い順で、上位5項目）

選択項目	回答数	構成比
経済・経営・商学	297人	27.2%
心理学	294人	27.0%
国際関係学	223人	20.5%
理学	198人	18.2%
法学・政治学	165人	15.1%

※ 回答数は複数回答の結果。

※ 構成比は、全回答者1,090人のうち、各項目を挙げた者の割合。

1-4 回答を得た高校生の高校卒業後の希望進路（「問4」結果より／回答数の多い順）

選択項目	回答数	構成比
大学	1,075人	98.6%
専門学校	22人	2.0%
その他	12人	1.1%
就職	11人	1.0%
短期大学	6人	0.6%

※ 回答数は複数回答の結果。

※ 構成比は、全回答者1,090人のうち、各項目を挙げた者の割合。

1-5 回答を得た高校生の将来の希望進路（「問5」結果より／回答数の多い順で、上位5項目）

選択項目	回答数	構成比
一般企業	468人	42.9%
まだ決めていない	292人	26.8%
資格を活かす職業	245人	22.5%
公務員	193人	17.7%
教員	132人	12.1%

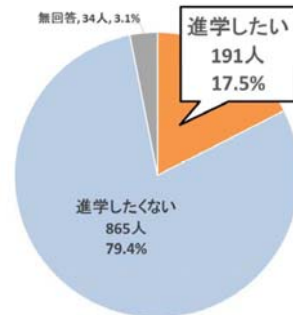
※ 回答数は複数回答の結果。

※ 構成比は、全回答者 1,090 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

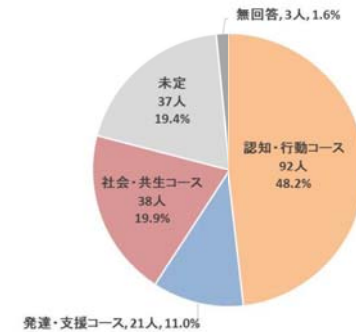
◆「総合心理学部」への進学意欲（「問6」～「問7」結果より）

今回、附属高校生向けに実施した「設置構想についての高校生アンケート調査」では、立命館大学が設置を予定する「総合心理学部」の概要を示した上で、「問6」で進学意欲について回答を求めた。その結果、「問6」結果として以下の**2-1**（グラフ）で示す通り、**191人（※全体の17.5%）が「進学したい」と回答**した。さらに、「進学したい」と回答した191人に対し、進学した場合に選択したいコースは、「問7」結果として24ページの**2-2**（グラフ）で示す通り、「認知・行動コース」92人（回答対象者の48.2%）、「発達・支援コース」21人（同11.0%）、「社会・共生コース」38人（同19.9%）、「未定」37人（同19.4%）であった。

2-1 立命館大学「総合心理学部」に進学意欲を示す附属高校生の人数（「問6」結果より）



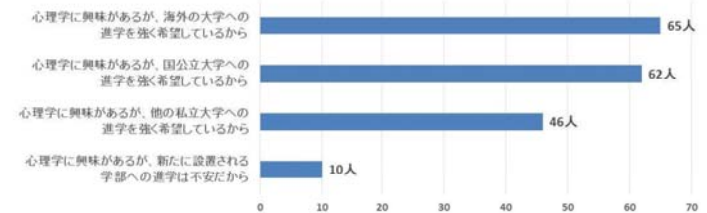
2-2 立命館大学「総合心理学部」に進学した場合、選択したいコース（「問7」結果より）



◆「総合心理学部」に進学したくない理由（「問8」結果より）

立命館大学が設置を予定する「総合心理学部」に「進学したくない」とした865人に、その理由について回答を求めた。その結果、「問8」結果として以下の**3-1**（グラフ）で示す通り、「心理学に興味があるが、海外の大学への進学を強く希望しているから」とした回答が65人、「心理学に興味があるが、国公立大学への進学を強く希望しているから」とした回答が62人、「心理学に興味があるが、他の私立大学への進学を強く希望しているから」とした回答が46人、「心理学に興味があるが、新たに設置される学部への進学は不安だから」とした回答が10人から示された（いずれも複数回答の結果）。これらの附属高校生は心理学には興味を示していることから、**今後の広報活動を通じて立命館大学の「総合心理学部」の志願者になりえる層と推察される。**

3-1 立命館大学「総合心理学部」に進学したくない理由（「問8」結果より／一部項目を抜粋）



※ 回答数は複数回答の結果。

3章

学生確保の見直し調査 結果のまとめ

（2つの高校生アンケート調査のまとめ）

学生確保の見直し調査 結果のまとめ（2つの高校生アンケート調査のまとめ）

※ 2つの高校生アンケート調査で共通する質問項目について、合算して集計を行いポイントをまとめた。

※ 各アンケートの出発元として、①は一般高校向けのアンケート、②は附属高校向けのアンケートを表す。

※ 「構成比（%）」は、小数点第二位を四捨五入した。

◆ 回答を得た高校生の基本情報（①②の「問 1」～「問 5」結果より）

①（一般高校生向けアンケート）、②（附属高校生向けアンケート）それぞれの「問 1」を合算集計した結果として以下の 1-1（グラフ）で示す通り、アンケートに回答した全高校生（一般高校生、附属高校生）が居住する都道府県として最も回答数が多かったのは「大阪府」で全回答者 11,634 人のうち 3,176 人（全体の 27.3%）であった。他に「滋賀県」1,732 人（同 14.9%）、「京都府」885 人（同 7.6%）、「兵庫県」1,450 人（同 12.5%）、「近畿その他」（奈良県、和歌山県の合計）446 人（同 3.8%）で、近畿地方の居住者の合計は 7,689 人（同 66.1%）であった。その他の地方は、「北海道」296 人（同 2.5%）、「北陸」239 人（同 2.1%）、「東海」2,184 人（同 18.8%）、「中国・四国」815 人（同 7.0%）、「九州・沖縄」359 人（同 3.1%）であった。

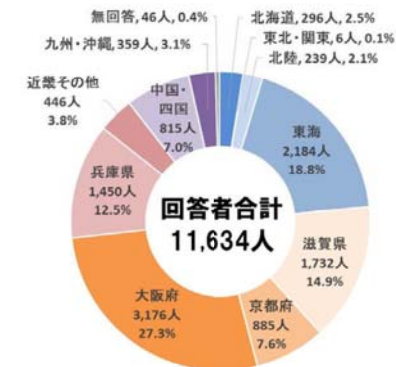
回答者の男女別については、①②の「問 2」を合算集計した結果として 27 ページの 1-2（グラフ）で示す通り、「男性」5,588 人（同 48.0%）、「女性」5,988 人（同 51.0%）であった。

興味のある学問分野については、①②の「問 3」を合算集計した結果として 27 ページの 1-3（表）で示す通り、最も回答数が多かったのは「経済・経営・商学」2,942 人（同 25.3%）であった。次いで多かったのが、「心理学」2,709 人（同 23.3%）であった（いずれも複数回答の結果）。全高校生の概ね 4 人に 1 人が「心理学」に興味を持っていることが分かった。

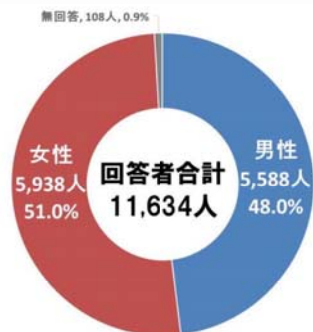
卒業後の希望進路としては、①②の「問 4」を合算集計した結果として 27 ページの 1-4（表）で示す通り、最も回答数が多かったのは「大学」11,083 人（同 95.3%）であった（複数回答の結果）。

また、将来の希望進路（就職先）については、①②の「問 5」を合算集計した結果として 28 ページの 1-5（表）で示す通り、回答数が多い順に「一般企業」4,744 人（同 40.8%）、「公務員」2,902 人（同 24.9%）、「資格を活かす職業」2,851 人（同 24.5%）であった（いずれも複数回答の結果）。

1-1 回答を得た全高校生の居住地（①②「問 1」結果より）



1-2 回答を得た全高校生の性別（①②「問2」結果より）



1-3 回答を得た全高校生の興味のある学問分野（①②「問3」結果より／回答数の多い順で、上位5項目）

選択項目	回答数	構成比
経済・経営・商学	2,942人	25.3%
心理学	2,709人	23.3%
教育・教員養成	2,258人	19.4%
文学・史学・地理学	2,170人	18.7%
国際関係学	1,813人	15.6%

※ 回答数は複数回答の結果。

※ 構成比は、全高校生 11,634 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

1-4 回答を得た全高校生の高校卒業後の希望進路（①②「問4」結果より／回答数の多い順）

選択項目	回答数	構成比
大学	11,083人	95.3%
専門学校	642人	5.5%
短期大学	330人	2.8%
就職	262人	2.3%
その他	86人	0.7%

※ 回答数は複数回答の結果。

※ 構成比は、全高校生 11,634 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

1-5 回答を得た高校生の将来の希望進路（①②「問5」結果より／回答数の多い順で、上位5項目）

選択項目	回答数	構成比
一般企業	4,744人	40.8%
公務員	2,902人	24.9%
資格を活かす職業	2,851人	24.5%
まだ決めていない	2,628人	22.6%
教員	1,839人	15.8%

※ 回答数は複数回答の結果。

※ 構成比は、全高校生 11,634 人のうち、各項目を挙げた者の割合。

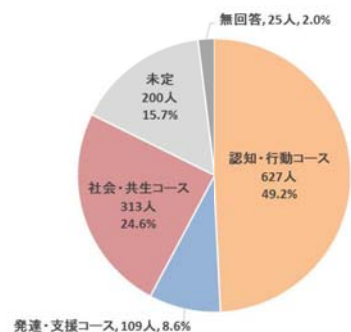
◆「総合心理学部」への入学・進学意欲（①「問7」、②「問6」結果より）

今回、実施した各アンケートでは、立命館大学が設置を予定する「総合心理学部」の概要を示した上で、①は「問6」で受験意欲について回答を求め、その上で「問7」で入学意欲について回答を求めた。②は「問6」で進学意欲について回答を求めた。その結果、①の「問7」・②「問6」を合算集計した結果として以下の 2-1（グラフ）で示す通り、他大学の受験結果等と関係なく、「総合心理学部」への入学・進学意欲を示す者は合計 676 人いた。これらの回答者のみで立命館大学の「総合心理学部」が予定する入学定員 280 人の 2.4 倍、「併願大学の結果によっては入学したい」の合計では 1,268 人で入学定員の 4.5 倍であった。さらに、「総合心理学部」へ入学または進学した場合に選択したいコースは、①「問8」・②「問7」を合算集計した結果として 29 ページの 2-2（グラフ）で示す通り、「認知・行動コース」627 人（回答対象者の 49.2%）、「発達・支援コース」109 人（同 8.6%）、「社会・共生コース」313 人（同 24.6%）、「未定」200 人（同 15.7%）であった。

2-1 立命館大学「総合心理学部」に入学または進学意欲を示す高校生の人数（①「問7」、②「問6」結果より）



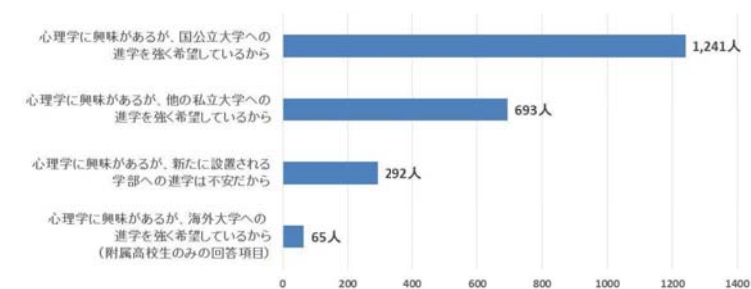
2-2 立命館大学「総合心理学部」に入学・進学した場合、選択したいコース（①「問8」、②「問7」結果より）



◆「総合心理学部」を受験しない、または進学しない理由（①「問9」、②「問8」結果より）

①のアンケートでは立命館大学が設置を予定する「総合心理学部」を「問6」で「受験しない」とした8,950人、②のアンケートでは「問6」で「進学したくない」とした865人に、その理由について回答を求めた。その結果、①の「問9」・②「問8」を合算集計した結果として以下の3-1（グラフ）で示す通り、「心理学に興味があるが、国公立大学への進学を強く希望しているから」とした回答が1,241人、「心理学に興味があるが、他の私立大学への進学を強く希望しているから」とした回答が693人、「心理学に興味があるが、新たに設置される学部への進学は不安だから」とした回答が292人、「心理学に興味があるが、海外の大学への進学を強く希望しているから」とした回答が65人から示された（いずれも複数回答の結果で、「～海外の大学への」は②のアンケートのみに置いた選択項目）。これらの高校生は心理学には興味を示していることから、今後の広報・募集活動を通じて立命館大学の「総合心理学部」の志願者になりえる層と推察される。

3-1 「総合心理学部」を受験しない、または進学したくない理由（①「問9」結果、②「問8」結果より／一部項目を抜粋）



※ 回答数は複数回答の結果。

資料①

【一般高校向け】

「設置構想についての高校生アンケート調査」

立命館大学 総合心理学部

大阪いばらきキャンパス

2016年4月開設に向け 設置構想中

設置構想についての高校生アンケート調査 (対象: 2014年度現在、高校2年生の皆さん)

立命館大学（本部：京都府京都市中京区西ノ京朱雀町1）は2016年4月、大阪いばらきキャンパス（2015年4月開設予定）に総合心理学部（入学定員280名）の設置を構想しています。このアンケート調査を通して、2016年に大学進学時期を迎える現・高校2年生の皆さんからさまざまなご意見をお聞きし、構想内容に少しでも反映したいと考えています。

なお、回答いただいた皆さんから得られた情報は立命館大学の総合心理学部の設置構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。

高校生の皆さんのアンケート調査へのご協力を、よろしくお願いいたします。

※このアンケート調査は立命館大学から委託された第三者機関（株式会社紀伊國屋書店、株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

問1 あなたが現在お住まいの都道府県をお答えください。（あてはまる番号を記入）

番号記入欄	【北海道・東北】	1. 北海道	2. 青森県	3. 岩手県	4. 宮城県	5. 秋田県	6. 山形県	7. 福島県
	【関東】	8. 茨城県	9. 栃木県	10. 群馬県	11. 埼玉県	12. 千葉県	13. 東京都	14. 神奈川県
	【北陸・甲信越】	15. 新潟県	16. 富山県	17. 石川県	18. 福井県	19. 山梨県	20. 長野県	
	【東海】	21. 岐阜県	22. 静岡県	23. 愛知県	24. 三重県			
	【近畿】	25. 滋賀県	26. 京都府	27. 大阪府	28. 兵庫県	29. 奈良県	30. 和歌山県	
	【中国】	31. 鳥取県	32. 島根県	33. 岡山県	34. 広島県	35. 山口県		
	【四国】	36. 徳島県	37. 香川県	38. 愛媛県	39. 高知県			
	【九州・沖縄】	40. 福岡県	41. 佐賀県	42. 長崎県	43. 熊本県	44. 大分県	45. 宮崎県	46. 鹿児島県
		47. 沖縄県						

問2 あなたの性別をお答えください。（あてはまるものに○）

1. 男性 2. 女性

問3 あなたの興味のある学問分野をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|---------------|---------------------------------|------------------|
| 1. 文学・史学・地理学 | 2. 哲学 | 3. 心理学 |
| 4. 語学 | 5. 人文・教養・人間科学 | 6. 教育・教員養成 |
| 7. 法学・政治学 | 8. 経済・経営・商学 | 9. 社会・社会福祉 |
| 10. 国際関係学 | 11. 理学 | 12. 工学 |
| 13. 農・獣医畜産・水産 | 14. 医学 | 15. 歯学 |
| 16. 薬学 | 17. 看護学 | 18. 医療・保健学（看護以外） |
| 19. 栄養学 | 20. 家政・生活科学 | 21. 体育・健康科学 |
| 22. 芸術 | 23. その他（ ） | |

問4 あなたの高校卒業後の希望進路についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|-------|--------------------------------|---------|
| 1. 大学 | 2. 短期大学 | 3. 専門学校 |
| 4. 就職 | 5. その他（ ） | |

問5 あなたが将来、希望する進路をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|-----------|-------------|--------------------------------|
| 1. 一般企業 | 2. 公務員 | 3. 教員 |
| 4. 研究・技術職 | 5. 資格を活かす職業 | 6. 企業・会社経営 |
| 7. 大学院進学 | 8. まだ決めていない | 9. その他（ ） |

問6以降に答える前に、以下の「立命館大学 総合心理学部の概要」をお読みください。

多角的な視点から人間をとらえ、「人間」そのものを総合的に理解する。
科学的な実証に基づく基礎心理学から、人に対峙する応用心理学まで多岐にわたる心理学を学ぶ。

立命館大学 総合心理学部 設置構想中

学部概要	開設時期: 2016年4月(予定) 開設場所: 立命館大学 大阪いばらきキャンパス(大阪いばらきキャンパスは大阪府茨木市に2015年4月に開設予定) 修業年限: 4年 入学定員: 280名 ※予定(収容定員:1,120名 ※予定) 取得学位: 学士(心理学)
------	---

養成する人材	立命館大学の総合心理学部は、次の資質を兼ねそなえた人材を養成します。 ① 心理学の諸分野の基礎知識にもとづいて、人間の心と行動を科学的に探求し思考することができること。 ② 幅広い教養にもとづいて、心理学的知見を他の分野の知見と関係づけて、人間を総合的・多面的に理解することができること。 ③ 人間と人間関係について多面的な関心もち、個性と多様性を尊重しつつ他者と協働し、問題解決に貢献することができること。 ④ 日本語と外国語の基本的なコミュニケーション能力をもち、情報やデータを加工し分析する基礎的能力を身につけ、自らの見解を論理的に主張することができること。 ⑤ 大学で修得した成果に基づいて、職業人や市民として社会に貢献しようとする倫理観と、学び続けようとする意欲を身につけていること。
--------	--

心理学の基礎・展開・専門と幅広い応用力を段階的・系統的に育成。

基礎心理学から応用心理学まで、多様な心理学分野をバランスよく学習し、さらに人文科学や社会科学などの領域も学び、人間を探求する4年間、1回年から段階的・系統的に専門性を身につけていきます。心理学の知識・スキルだけでなく、少人数で行う演習やプロジェクト型学習を通じて、問題解決能力やプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力など幅広い応用力を育成します。

3つのコース別の学びと学部横断的な学びで総合力を養成。

「認知・行動」「発達・支援」「社会・共生」の3つのコースに分かれ、心理学の専門分野を系統的に学びます。コース別に専門性を深めると同時に学部横断的な学びを重視。総合人間理解科目や、実験・実習、演習、外国語教育科目といった学部共通の科目はもちろん、他コースの専門科目もコースを越えて履修することができます。人間に対する総合的な理解、幅広い心理学分野の知識を蓄積しつつ、その上に専門性を磨いていきます。

認知・行動コース	発達・支援コース	社会・共生コース
心のはたらきと行動の仕組みを 実証科学で探究する。	乳児期から高齢期まで 各発達段階を捉える。	社会の現代的な対立や課題を 心理学から解決する。
総合人間理解科目 多角的な視点から人間を総合的に理解する力を育み、心理学の学びを深く幅広い教養に結びつけます。		
学部横断的な学び、アクティブな学びで、専門性の基盤となる総合力を育成します。 ●多様な心理学に通じる総合力を育てる学部共通専門科目 ●問題解決型学習(PBL方式)など多様なアクティブラーニング ●グローバルに活躍するための英語教育「プロジェクト・英語型英語プログラム」 ●海外で心理学を学ぶ学部独自の国際教育		
取得できる資格(予定) 中学校教諭一種免許状(社会)、高等学校教諭一種免許状(公民)、公認心理師(仮称)* 認定心理士(社団法人日本心理学会認定資格)、心理調査士(仮称)、産業カウンセラー受験資格		
*公認心理師(仮称)は2014年10月現在、国会において創設の審議中です。学部・大学院において必要な単位を取得した上で、主務大臣が実施する試験に合格する必要があります。		

卒業後の進路	立命館大学 総合心理学部の卒業生は、心理学の知識を活かし幅広い分野での活躍が期待されます。 ●製造・流通・サービス分野（人の消費や行動を分析しマーケティングや広報に活用） ●金融分野（行動科学的アプローチを用いた商品開発や営業） ●医療・福祉・教育分野（カウンセリングの知識や持続可能な学習を支援できる能力を活かした業務） ●上記以外のさまざまな業種、産業カウンセラー、スクールカウンセラー、心理関連の公務職など ●大学院進学（臨床心理士の資格取得や、心理学の専門性を追求）
--------	--

初年次学費(個別主要大学など)	(円)
大学名/学部名 (所在地)	初年次納付金 (入学金・授業料等の合計)
立命館大学/総合心理学部 (大阪府茨木市社会町2-150)	1,250,000~1,400,000 程度を予定
同志社大学/心理学部 (京都府京田辺市多々羅部1-4)	1,262,000
中京大学/心理学部 (愛知県名古屋市中区八事本町101-2)	1,305,000
立教大学/現代心理学部 (埼玉県新座市北野1-2-26)	1,330,000
※立命館大学 総合心理学部の学費は予定のものです。 ※他大学の学費は各大学ホームページ掲載情報です(平成26年10月時点)。 ※いずれの大学も諸会費を含みません。	



上記内容は構想中の内容であり、今後変更となる場合があります。

以下の問6は、2ページの「立命館大学 総合心理学部の概要」をご覧ください。

- 問6** あなたは立命館大学が設置構想中の「総合心理学部」を受験したいと思いますか。
(あてはまるもの1つに○)
1. 受験したい → 1の方は **問7** **問8** にお答えください。
2. 受験しない → 2の方は **問9** **問10** にお答えください。

以下の問7と問8は、問6で「1. 受験したい」を選択した方がお答えください。

- 問7** あなたは立命館大学が設置構想中の「総合心理学部」に合格した場合、入学したいと思いますか。
(あてはまるもの1つに○)
1. 合格した場合、入学したい
2. 合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい

2の方は、併願先として検討中の大学・学部をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 国公立大学の心理系学部・学科
2. その他の私立大学の心理系学部・学科
3. 立命館大学の他学部・学科 (学部・学科名:)
※学部の一覧を確認したい場合、問10をご覧ください。
4. その他 ()

- 問8** あなたは立命館大学が設置構想中の「総合心理学部」に入学した場合、選択したいコースをお答えください。(あてはまるもの1つに○)
1. 認知・行動コース (心のはたらきと行動の仕組みを実証科学で探究する)
2. 発達・支援コース (乳児期から高齢期まで各発達段階を捉える)
3. 社会・共生コース (社会の現代的な対立や課題を心理学から解決する)
4. 未定

以下の問9と4ページの問10は、問6で「2. 受験しない」を選択した方がお答えください。

- 問9** あなたが立命館大学が設置構想中の「総合心理学部」を「受験しない」と回答された理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)
1. 興味・関心のある分野ではないから
2. 心理学に興味があるが、国公立大学への進学を強く希望しているから
3. 心理学に興味があるが、他の私立大学への進学を強く希望しているから
4. 心理学に興味があるが、新たに設置される学部への進学は不安だから
5. 通学が不便そうだから
6. 学費が高いから
7. 大学進学はしない(短期大学・専門学校に進学、就職を希望)
8. その他、理由があればお書きください。
〔 〕

35

- 問10** 立命館大学において、あなたが現時点で受験したい学部があればお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

※下記は2015年4月以降の内容(予定)となります。

【衣笠キャンパス】(京都市北区)

1. 法学部
2. 産業社会学部
3. 国際関係学部
4. 文学部
5. 映像学部

【びわこ・くさつキャンパス】(滋賀県草津市)

6. 経済学部
7. 理工学部
8. 情報理工学部
9. 生命科学部
10. 薬学部
11. スポーツ健康科学部

【大阪いばらきキャンパス】(大阪府茨木市) ※2015年4月開設予定

12. 経営学部
13. 政策科学部

質問は以上となります。ご協力いただきありがとうございました。

36

資料②

【附属高校向け】

「設置構想についての高校生アンケート調査」

立命館大学 総合心理学部

大阪いばらきキャンパス

2016年4月開設に向け 設置構想中

設置構想についての高校生アンケート調査 (対象: 2014年度現在、高校2年生の皆さん)

立命館大学（本部：京都府京都市中京区西ノ京朱雀町1）は2016年4月、大阪いばらきキャンパス（2015年4月開設予定）に総合心理学部（入学定員280名）の設置を構想しています。このアンケート調査を通して、2016年に大学進学時期を迎える現・高校2年生の皆さんからさまざまなご意見をお聞きし、構想内容に少しでも反映したいと考えています。

なお、回答いただいた皆さんから得られた情報は立命館大学の総合心理学部の設置構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。

高校生の皆さんのアンケート調査へのご協力を、よろしく願いいたします。

※このアンケート調査は立命館大学から委託された第三者機関（株式会社紀伊國屋書店、株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。

問1 あなたが現在お住まいの都道府県をお答えください。（あてはまる番号を記入）

【北海道・東北】	1. 北海道	2. 青森県	3. 岩手県	4. 宮城県	5. 秋田県	6. 山形県	7. 福島県
【関東】	8. 茨城県	9. 栃木県	10. 群馬県	11. 埼玉県	12. 千葉県	13. 東京都	14. 神奈川県
【北陸・甲信越】	15. 新潟県	16. 富山県	17. 石川県	18. 福井県	19. 山梨県	20. 長野県	
【東海】	21. 岐阜県	22. 静岡県	23. 愛知県	24. 三重県			
【近畿】	25. 滋賀県	26. 京都府	27. 大阪府	28. 兵庫県	29. 奈良県	30. 和歌山県	
【中国】	31. 鳥取県	32. 島根県	33. 岡山県	34. 広島県	35. 山口県		
【四国】	36. 徳島県	37. 香川県	38. 愛媛県	39. 高知県			
【九州・沖縄】	40. 福岡県	41. 佐賀県	42. 長崎県	43. 熊本県	44. 大分県	45. 宮崎県	46. 鹿児島県
	47. 沖縄県						

問2 あなたの性別をお答えください。（あてはまるものに○）

1. 男性 2. 女性

問3 あなたの興味のある学問分野をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|---------------|---------------------------------|------------------|
| 1. 文学・史学・地理学 | 2. 哲学 | 3. 心理学 |
| 4. 語学 | 5. 人文・教養・人間科学 | 6. 教育・教員養成 |
| 7. 法学・政治学 | 8. 経済・経営・商学 | 9. 社会・社会福祉 |
| 10. 国際関係学 | 11. 理学 | 12. 工学 |
| 13. 農・獣医畜産・水産 | 14. 医学 | 15. 歯学 |
| 16. 薬学 | 17. 看護学 | 18. 医療・保健学（看護以外） |
| 19. 栄養学 | 20. 家政・生活科学 | 21. 体育・健康科学 |
| 22. 芸術 | 23. その他（ ） | |

問4 あなたの高校卒業後の希望進路についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|-------|--------------------------------|---------|
| 1. 大学 | 2. 短期大学 | 3. 専門学校 |
| 4. 就職 | 5. その他（ ） | |

問5 あなたが将来、希望する進路をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|-----------|-------------|--------------------------------|
| 1. 一般企業 | 2. 公務員 | 3. 教員 |
| 4. 研究・技術職 | 5. 資格を活かす職業 | 6. 企業・会社経営 |
| 7. 大学院進学 | 8. まだ決めていない | 9. その他（ ） |

問6以降に答える前に、以下の「立命館大学 総合心理学部の概要」をお読みください。

多角的な視点から人間をとらえ、「人間」そのものを総合的に理解する。
科学的な実証に基づく基礎心理学から、人に対峙する応用心理学まで多岐にわたる心理学を学ぶ。

立命館大学 総合心理学部 設置構想中

学部概要	開設時期: 2016年4月(予定) 開設場所: 立命館大学 大阪いばらきキャンパス(大阪いばらきキャンパスは大阪府茨木市に2015年4月に開設予定) 修業年限: 4年 入学定員: 280名 ※予定(収容定員:1,120名 ※予定) 取得学位: 学士(心理学)
------	--

養成する人材	立命館大学の総合心理学部は、次の資質を兼ねそなえた人材を養成します。 ① 心理学の諸分野の基礎知識にもとづいて、人間の心と行動を科学的に探求し思考することができること。 ② 幅広い教養にもとづいて、心理学的知見を他の分野の知見と関係づけて、人間を総合的・多面的に理解することができること。 ③ 人間と人間関係について多面的な関心もち、個性と多様性を尊重しつつ他者と協働し、問題解決に貢献することができること。 ④ 日本語と外国語の基本的なコミュニケーション能力をもち、情報やデータを加工し分析する基礎的能力を身につけ、自らの見解を論理的に主張することができること。 ⑤ 大学で修得した成果に基づいて、職業人や市民として社会に貢献しようとする倫理観と、学び続けようとする意欲を身につけていること。
--------	---

心理学の基礎・展開・専門と幅広い応用力を段階的・系統的に育成。

基礎心理学から応用心理学まで、多様な心理学分野をバランスよく学習し、さらに人文科学や社会科学などの領域も学び、人間を探求する4年間、1回年から段階的・系統的に専門性を身につけていきます。心理学の知識・スキルだけでなく、少人数で行う演習やプロジェクト型学習を通じて、問題解決能力やプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力など幅広い応用力を育成します。

3つのコース別の学びと学部横断的な学びで総合力を養成。

「認知・行動」「発達・支援」「社会・共生」の3つのコースに分かれ、心理学の専門分野を系統的に学びます。コース別に専門性を深めると同時に学部横断的な学びを重視。総合人間理解科目や、実験・実習、演習、外国語教育科目といった学部共通の科目はもちろん、他コースの専門科目もコースを越えて履修することができます。人間に対する総合的な理解、幅広い心理学分野の知識を蓄積しつつ、その上に専門性を磨いていきます。

認知・行動コース 心のはたらきと行動の仕組みを実証科学で探究する。	発達・支援コース 乳児期から高齢期まで各発達段階を捉える。	社会・共生コース 社会の現代的な対立や課題を心理学から解決する。
総合人間理解科目 多角的な視点から人間を総合的に理解する力を育み、心理学の学びを深く幅広い教養に結びつけます。		
学部横断的な学び、アクティブな学びで、専門性の基盤となる総合力を育成します。 ●多様な心理学に通じる総合力を育てる学部共通専門科目 ●問題解決型学習(PBL方式)など多様なアクティブラーニング ●グローバルに活躍するための英語教育「プロジェクト・英語型英語プログラム」 ●海外で心理学を学ぶ学部独自の国際教育		

取得できる資格(予定)	中学校教諭一種免許状(社会)、高等学校教諭一種免許状(公民)、公認心理師(仮称)* 認定心理士(社団法人日本心理学会認定資格)、心理調査士(仮称)、産業カウンセラー受験資格
*公認心理師(仮称)は2014年10月現在、国会において創設の審議中です。学部・大学院において必要な単位を取得した上で、主務大臣が実施する試験に合格する必要があります。	

立命館大学 総合心理学部の卒業生は、心理学の知識を活かし幅広い分野での活躍が期待されます。

- 製造・流通・サービス分野（人の消費や行動を分析しマーケティングや広報に活用）
- 金融分野（行動科学的アプローチを用いた商品開発や営業）
- 医療・福祉・教育分野（カウンセリングの知識や持続可能な学習を支援できる能力を活かした業務）
- 上記以外のさまざまな業種、産業カウンセラー、スクールカウンセラー、心理関連の公務職など
- 大学院進学（臨床心理士の資格取得や、心理学の専門性を追求）

初年次学費(個別主要大学など)	(円)
大学名/学部名(所在地)	初年次納付金(入学金・授業料等の合計)
立命館大学/総合心理学部(大阪府茨木市市街地2-150)	1,250,000~1,400,000 程度を予定
同志社大学/心理学部(京都府京都市多々羅郡1-4)	1,262,000
中京大学/心理学部(愛知県名古屋市中区八事本町101-2)	1,305,000
立教大学/現代心理学部(埼玉県新座市北野1-2-26)	1,330,000

※立命館大学 総合心理学部の学費は予定のものです。
※他大学の学費は各大学ホームページ掲載情報です(平成26年10月時点)。
※いずれの大学も諸会費を含みません。



上記内容は構想中の内容であり、今後変更となる場合があります。

以下の問6は、2ページの「立命館大学 総合心理学部の概要」をご覧ください。

問6 あなたは立命館大学が設置構想中の「総合心理学部」へ進学したいと思いますか。
(あてはまるもの1つに○)

1. 進学したい → 1の方は **問7** にお答えください。
2. 進学したくない → 2の方は **問8** **問9** にお答えください。

以下の問7は、問6で「1. 進学したい」を選択した方がお答えください。

問7 あなたは立命館大学が設置構想中の「総合心理学部」に進学した場合、選択したいコースを
お答えください。(あてはまるもの1つに○)

1. 認知・行動コース(心のはたらきと行動の仕組みを実証科学で探究する)
2. 発達・支援コース(乳児期から高齢期まで各発達段階を捉える)
3. 社会・共生コース(社会の現代的な対立や課題を心理学から解決する)
4. 未定

以下の問8と4ページの問9は、問6で「2. 進学したくない」を選択した方がお答えください。

問8 あなたが立命館大学が設置構想中の「総合心理学部」へ「進学したくない」と回答された理由を
お答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 興味・関心のある分野ではないから
2. 心理学に興味があるが、国公立大学への進学を強く希望しているから
3. 心理学に興味があるが、他の私立大学への進学を強く希望しているから
4. 心理学に興味があるが、海外の大学への進学を強く希望しているから
5. 心理学に興味があるが、新たに設置される学部への進学は不安だから
6. 通学が不便そうだから
7. 学費が高いから
8. 大学進学はしない(短期大学・専門学校に進学、就職を希望)
9. その他、理由があればお書きください。

{ }

問9 立命館大学において、あなたが現時点で進学したい学部をお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

※下記は2015年4月以降の内容(予定)となります。

【衣笠キャンパス】(京都市北区)

1. 法学部 2. 産業社会学部 3. 国際関係学部
4. 文学部 5. 映像学部

【びわこ・くさつキャンパス】(滋賀県草津市)

6. 経済学部 7. 理工学部 8. 情報理工学部
9. 生命科学部 10. 薬学部 11. スポーツ健康科学部

【大阪いばらきキャンパス】(大阪府茨木市)※2015年4月開設予定

12. 経営学部 13. 政策科学部

質問は以上となります。ご協力いただきありがとうございました。

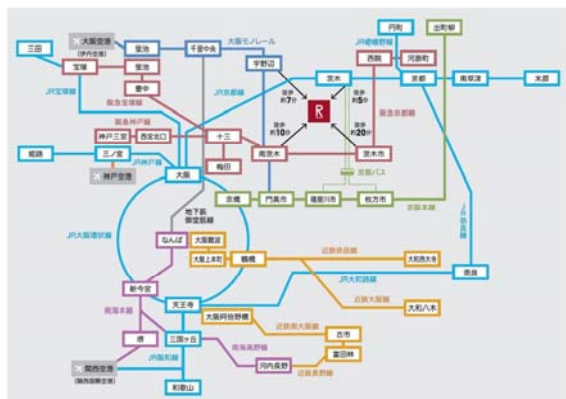
<資料5 私立大学心理系学部等他大学学費>

<主な私立大学>

(※は2015年度、それ以外は2014年度学費)

(円)

大学	学部	学科等	入学金	授業料等	初年度合計	
青山学院大学	教育人間科学部	心理学科	200,000	1,105,500	1,305,500	※
学習院大学	文学部	心理学科	200,000	1,113,800	1,313,800	
上智大学	総合人間科学部	心理学科	270,000	1,003,450	1,237,450	※
法政大学	現代福祉学部	臨床心理学科	180,000	1,078,000	1,258,000	
	文学部	心理学科	180,000	1,078,000	1,258,000	
明治大学	文学部	心理社会学科	200,000	1,047,900	1,247,900	※
立教大学	現代心理学部	心理学科	200,000	1,136,500	1,336,500	※
早稲田大学	文学部	文学科(心理学コース)	200,000	1,075,000	1,275,000	※
	教育学部	教育心理学専修	200,000	1,062,620	1,262,620	※
愛知大学	文学部	人文社会学科(心理学専攻)	200,000	931,800	1,131,800	※
中京大学	心理学部	心理学科	200,000	1,125,100	1,325,100	
南山大学	人文学部	心理人間学科	300,000	952,300	1,252,300	※
同志社大学	心理学部	心理学科	280,000	991,000	1,271,000	※
龍谷大学	文学部	臨床心理学科	200,000	814,000	1,014,000	※
関西大学	社会学部	心理学専攻	260,000	877,000	1,137,000	※
	文学部	総合人文学科(心理学専修)	260,000	877,000	1,137,000	※
関西学院大学	文学部	総合心理科学科	300,000	848,000	1,148,000	※
追手門学院大学	心理学部	心理学科	260,000	947,000	1,207,000	※
近畿大学	総合社会学部	心理系専攻	250,000	1,066,500	1,317,500	※
京都文教大学	臨床心理学部	臨床心理学科	180,000	1,230,660	1,410,660	
	臨床心理学部	教育福祉心理学科(こども教育心理専攻・保育福祉心理専攻)	180,000	1,231,300	1,411,300	
甲南女子大学	人間科学部	心理学科	300,000	1,060,000	1,360,000	※
神戸女学院大学	人間科学部	心理・行動科学科	200,000	1,327,800	1,527,800	※



※所要時間は目安であり実際は多少異なります。



R 立命館大学 総合心理学部
総合心理学部設置準備事務局
〒604-8520 京都市中京区西ノ京三条
<http://www.ritsumei.jp/>

Ritsumeikan University College of Comprehensive Psychology

立命館大学 総合心理学部

2016年4月設置構想中

(2015年4月設置構想中) ※内容は予定であり変更される場合があります。

人に、社会に、総合心理学の「知」が生きる。

多角的な視点から人間をとらえ
「人間」そのものを総合的に理解する。
科学的な実証に基づく基礎心理学から
人に対する応用心理学まで
多岐にわたる心理学を総合的に学ぶ。
総合心理学で獲得する「知」が
今、社会のあらゆる場所で求められています。





社会で、家庭で、企業で、人生で生きる 総合心理学部とは？

立命館大学総合心理学部で始まるのは、従来の心理学教育とは一線を画した新しい学び。人間を総合的に探究することをめざして、心理学と多様な隣接分野に出会います。魅力あふれる教員が、人間を深く知るおもしろさを教え、大きな成長を後押しします。

中村 正 教授
応用人間科学部 応用心理学専攻 応用心理学専攻委員長 助教授

矢野 優子 准教授
応用人間科学部 応用心理学専攻 応用心理学専攻准教授

谷 晋二 教授
応用人間科学部 応用心理学専攻 応用心理学専攻准教授

大石 衡徳 准教授
応用人間科学部 応用心理学専攻 応用心理学専攻准教授

安田 希子 准教授
応用人間科学部 応用心理学専攻 応用心理学専攻准教授

「心理学」というと、皆さんどのような学問をイメージするでしょうか？ 心の働き？ 心理テストで心を読む？ それは心理学のごく一面にしかすぎません。心理学とは、人間の心と行動を多角的な視点から探究する科学です。人間を総合的に理解することで、家庭、学校、企業、地域など社会のさまざまな場面で課題解決に役立ち、自分自身はもちろん、他の人も幸せにすることができ、いわば現実との関わりの中で生かせる、「社会で使える心理学」。そのような心理学を学ぶことができる立命館大学総合心理学部の魅力について、関係する先生方に話を聞いていただきました。

人間を総合的に理解することをめざして
総合心理学の学びは始まります

中村 総合心理学部では、人間そのものを総合的に探究することを重視します。哲学や倫理、文学、法律や経済など、幅広い科目を用意するのは、そのためです。しかも、単なる教養としてではなく、「心理学を学ぶ上でどう生かされるか」という観点から各学科と心理学との接点を学ぶことが特徴。例えば、経済における消費者心理、法と被害者心理など、人の営みのあらゆるところで心理学は役立ちます。他にはない開設科目が揃った「総合人間理解科目」を通じて、多角的に人間を見

つめる「目」を養う。それが、これから心理学の専門性を磨いていく上での根幹になります。

矢野 総合心理学部のもう一つの長所は、基礎心理学から応用心理学まで、多岐にわたる心理学の分野を総合的にバランスよく学ぶことです。4年間を通じて、実験や心理検査などを通じて人間の心の働きや心理、行動を解き明かす基礎心理学を基盤に、臨床心理学をはじめとした応用心理学分野へと学びを深めています。例えば人の目や脳の働きである「認知」、ハトの行動から明らかにする「学習」のメカニズム、総合心理学部では、実に多様な基礎心理学を学ぶことができます。その他にも、生まれたばかりの赤ちゃんから高齢者まで、人の一生を発達と捉え、その時間的な変化を縦で通っていく発達心理学も興味深い分野です。総合心理学部には、乳幼児から高齢者まで、あらゆる発達段階の発達心理学を専門とする教員が揃っており、充実した学びを得ることができます。

育てるのは、専門家だけでなく
心理の素養を備えたゼネラリスト

谷 総合心理学部では、基礎心理学と密着に関わる応用心理学についても幅広い分野を学ぶことができます。

臨床心理学は、対人援助の専門知識や技術のみならず、自分の人生を豊かにしたり、家族や子ども、あるいは職場の人と共に生きていくためのポジティブな素養を身につける学問です。総合心理学部では、臨床心理学の基礎知識を学ぶとともに、実習を通じて対人援助の実践について知っていきます。例えば3年生の実習では、裁判所や病院など臨床現場で働いている人から仕事内容、喜びや悩みなどを聞き、自分に適性や希望があるのかを考えます。その上で4年生ではカウンセリングを疑似体験するロールプレイにも挑戦。専門的な仕事にさらに一歩近づきます。こうした学びを繰り返すことで、対人援助や心理の専門家になる道が開けます。さらに専門性の高い臨床心理士や、新たな国家資格として前設が見込まれている「公認心理師（仮称）」をめざす人には、大学院への進学も持っています。

安田 心理学の素養が生かせるのは、心理の専門領域だけではなく、とりわけ現代では、対人関係を円滑にしたり、論理的に物事を解決するなど心理学の素養は、社会のさまざまな場面で求められています。資格を取得し、「心理学のスペシャリスト」になるだけでなく、「心理学の専門性を備えたゼネラリスト」として、活躍のフィールドは、企業や行政、その他にも多岐に広がっています。

「プロジェクト発信型学習」を通じて
国際社会で活躍できる力を養います

大石 総合心理学部での学びは、受け身の姿勢で講義を聴くだけに留まりません。重視するのは、アクティブに学ぶ、プロジェクト的に学ぶこと。実験や心理検査以外にも、数々の実習や演習を用意。学生自身が課題を発見し、自分で調べ、考えることを通じて解決策を導き出す「問題解決型の学び」がたくさんあります。中でも特筆すべきは「プロジェクト発信型英語」。心理学のテーマを中心に、学生自身が興味・関心を持ったテーマについてリサーチをし、仮説を立てて実験を行い、その成果を英語で発信します。さらに英語でのディベートも体験します。「プロジェクト発信型英語」を通じて、国際社会で活躍するための英語力が鍛えられることはもちろん、論理的思考力やコミュニケーション能力など、社会で必要とされる力が着実に養われます。

谷 心理学の素養は、社会で、家庭で、企業で、そして人生を多くで心強い糧になってくれるもの。何より自分自身や人を深く知れば知るほど、そのおもしろさに引き込まれていくはずです。高校になかった新しい学問との出会い、知的刺激に満ちたワクワクする学びが、皆さんを待っています。

4年間の学び

心理学の
基礎・展開・専門と幅広い
応用力を段階的・系統的に
育成します。

基礎心理学から応用心理学まで、多様な心理学分野をバランスよく学習し、さらに人文科学や社会科学などの領域も学び、人間を探究する4年間。1年生から段階的・系統的に専門性身につけていきます。心理学の知識・スキルだけでなく、少数で行う演習やプロジェクト型学習を通じて、問題解決能力やプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力など幅広い応用力を育成します。



コース別の学びと 学部横断的な学びで 総合力を養成。

「認知・行動」「発達・支援」「社会・共生」の3つのコースに分かれ、心理学の専門分野を系統的に学びます。コース別に専門性を深めると同時に学部横断的な学びを重視。総合人間理解科目や、実験・実習、演習、外国語教育科目といった学部共通の科目をもちろ、他コースの専門科目もコースを超えて履修することができます。人間に対する総合的な理解、幅広い心理学分野の知識を蓄積しつつ、その上に専門性を磨いていきます。

認知・行動 コース

心のはたらきと行動の仕組みを
実証科学で探求する

人の心のはたらきと行動の仕組みを実証的方法を用いて科学的に探求し、人間理解を深めます。「知覚心理学」「学習心理学」「認知科学」などの科目を通して、人間はどのように環境を認識し、情報を記憶し、判断や思考するのかを学習します。また「学習・記憶心理学」「行動分析学」「認知情報論」などでは、生物学的な背景を踏まえて、動機・形成や学習の過程を考えます。「応用行動分析学」「色彩論」「認知行動療法論」では、心理的諸問題に対処するための知識を適切にデザインし、実践的に活用する方法についても学びます。

発達・支援 コース

乳児期から高齢期まで
各発達段階を捉える

発達・支援コースでは、乳児期から高齢期まで人間の発達について生物学的次元から社会・文化的次元までさまざまな知識を獲得し、発達のプロセスを学習します。「乳幼児心理学」「児童心理学」「青年心理学」「中高生心理学」などでは、各発達段階における人間の特徴について深く学習します。その他、「教育心理学」「学校カウンセリング論」「発達臨床心理学」など、学校や家庭、地域での臨床的発達支援についての知識・技術も習得します。

社会・共生 コース

社会の現代的な対立や問題を
心理学から解決する

自己と他者の関係といった身近な対人関係から、地域やグローバル社会で発生する紛争問題までさまざまな人間関係における問題とその解決について、心のはたらきと行動の仕組みをひも解きながら学習します。「実験社会心理学」「パーソナリティ心理学」などで、社会の中での人間の行動を分析。その他、「メディア心理学」「法心理学」「コミュニティ心理学」「文化心理学」など社会で起こる現代的な問題を心理学の立場から解明し、対立や問題を解決する方法を学びます。

総合人間理解科目

多角的な視点から人間を総合的に理解する力を育み、心理学の学びを深め幅広い教養に結びつけます。「現代人間論」や「人間の探求」といった科目で、社会思想、哲学、政治に関わる分野を学び、人間についての総合的理解の基礎を築きます。また「家族と人間」「行動経済学」「組織と人間」「組織行動論」などを通じて、家族や組織、経済を心理学の視点から理解する他、社会科学や人文科学の幅広い教養・知識を習得。一般社会でキャリアを重ねる上で必要な力も育みます。

学部横断的な学び、アクティブな学びで、専門性の基盤となる総合力を育成します。

多様な心理学に通じる総合力を育てる
学部共通専門教育

「人間を総合的に理解」し、また「心理学の幅広い分野を学習」した上で専門分野の深まりを積み重ねていくことが総合人間理解の基盤の一つ。心理学分野の基礎となる科目や、心理学の各分野を横断して学習すべき内容、また心理学分野全体に通じる研究方法や技能を習得するための科目は、「学部共通専門科目」として、全学部生が履修します。学部共通専門科目に位置づけられているのは、「共通専門科目」「総合人間理解科目」「実習科目」「実験・実習科目」「専門外国語科目」。「共通専門科目」では、心理学の諸分野について広く学ぶ「心理学概論」や、「心理学研究法」、「心理学統計学」などの心理学を研究するために必要な手法について学びます。また少人数制でゼミ形式で研究・発展に取り組む演習、さらに応用や実践につながる実験やフィールドワーク、心理学を通じた外国語学習にも学部生が取り組みます。

グローバルに活躍するための
英語教育「プロジェクト発信型英語プログラム」

本プログラムは、学生自身が興味・関心を持つテーマについて、世界中から情報を集め、リサーチし、その成果を英語で発信するという新しい学習スタイルです。卒業後も、一生、心理の専門家として、また、一般社会でも国際的に活躍できる英語運用能力を養成します。

海外で心理学を学ぶ
学部独自の国際教育

心理学を海外で学ぶ「海外フィールドスタディ」を実施。事前の英語学習および心理学の基礎学習を経て、海外の大学で英語で心理学を学びます。海外の先進的な心理学教育に触れるとともに、国際社会で求められる異文化理解能力も育みます。

問題解決型学習(PBL方式)など
多様なアクティブラーニング

学生自ら課題を発見し、調査・研究を通じて解決し、論文作成や発表・議論につながるプロジェクト型の学びを実施。また実験・実習、地域や臨床現場と連携したフィールドワークなど、アクティブに学ぶことを通じて、深い納得を得る実践力を育てます。

臨床の専門家につながる
臨床実践教育

公認心理師(資格)や臨床心理士などの専門家を目指す上で必要な臨床実践プログラムが充実。対人援助の場で活躍する人に学ぶフィールドワークで臨床実践のあり方を学び、感性を研ぎとらえ、ロールプレイなどの実践演習を通して具体的な技法や知識を学びます。

教員紹介

安田 節子 准教授
専・応用行動分析学
心理学研究・実験・実習
(総合心理学専攻)

セトウ タツヤ 教授
専・文学部人文学科心理学
(総合心理学専攻)

星野 拓司 教授
専・文学部人文学科心理学
(総合心理学専攻)

矢野 優子 准教授
専・文学部人文学科心理学
(総合心理学専攻)

北岡 明佳 教授
専・文学部人文学科心理学
(総合心理学専攻)

吉林 宏輔 准教授
専・文学部人文学科心理学
(総合心理学専攻)

矢野 優子 准教授
専・文学部人文学科心理学
(総合心理学専攻)

佐藤 聖史 教授
専・文学部人文学科心理学
(総合心理学専攻)

人が幸せに
生きることを考える。
臨床心理学は、
とてもポジティブな
学問です。

授業のたびに
新しい自分を
発見します！

個性豊かな “知” が集結。 ますます充実 していきます。

興味のある心理学のテーマを
調べ、まとめ、発表する。
伝えたいことを伝えるから
楽しいです。

宇都宮 博 准教授
専・文学部人文学科心理学
(総合心理学専攻)

谷 晋二 教授
専・文学部人文学科心理学
(総合心理学専攻)

山本 博樹 教授
専・文学部人文学科心理学
(総合心理学専攻)

林 勇吉 准教授
専・文学部人文学科心理学
(総合心理学専攻)

岡本 直子 准教授
専・文学部人文学科心理学
(総合心理学専攻)

土田 宣明 教授
専・文学部人文学科心理学
(総合心理学専攻)

中庭 直樹 准教授
専・文学部人文学科心理学
(総合心理学専攻)

総合心理学部での学びは、
人の営みの
あらゆるところで
「使える心理学」です。

新教員とともに
学ぶ専門分野も続々増加！

〔着任予定教員の専門分野〕

- 認知心理学・生理心理学
- 行動分析学・認知行動療法
- 知覚心理学
- 認知心理学・発達心理学・法と心理学
- キャリア形成論・ジェンダー心理学
- 臨床心理学・文化心理学・カウンセリング
- メディア心理学
- コミュニティ心理学
- 哲学・思想
- 文化人類学
- 行動経済学
- 経営学・産業心理学
- 医療・発達障害支援



Voice
立命館の
心理学を学んだ
卒業生の声
01

基礎から応用まで多様な心理学領域を学ぶことができるのが、立命館大学の魅力です。その中で自分は何の分野に関心があるのか、興味しながら1、2年生を過ごしました。3年生の時に出会ったのが「行動分析学」です。それまで疑問に思っていたことが腑に落ちるようになり、学ぶことが一気に面白くなりました。大学院を経て臨床心理士の資格を取得、自分の関心や疑問をトコトン追求することで、得意ににつながる専門性を身につけることができました。大学院で臨床心理学を学ぶ中で、一人ひとりと向き合う対人援助だけでなく、より広く社会の課題解決に役立ちたいという思いが強く、公務員を目指しました。現在は、行政の立場で自殺防止対策を担当しています。相談窓口を設置したり、社会・福祉専門職と連携したサポートの仕組みをつくるなど、制度や環境を整えるのが仕事です。人と環境との関わりを変えることで、より多くの人の「心の健康」に寄与することができるのが、やりがいです。

多くの人の「心の健康」に役立つのがやりがいです。

福岡 仁志 8A / 2008年 文学部心理学科心理学専攻卒業、2011年 応用人間科学研究科修士課程修了、臨床心理士
【勤務先】京都府 福祉・健康課



Voice
立命館の
心理学を学んだ
卒業生の声
02

「記憶」とは何だろう？ 高校時代、そんな疑問を抱いたことが、心理学に関心を持つきっかけでした。大学での学びでとりわけ印象に残っているのは、「実験実習」です。2年生、3年生を通して、ハトを使った記憶の実験や、発汗量や皮膚感覚を測定する生理心理学実験など、さまざまな心理学実験に取り組みました。仮説を立て、実験を通じて検証し、結果を考察してレポートにまとめる。その繰り返しの中で、論理的な道筋を立てて考えたり、自分で確かめて結論を導き出す力が鍛えられました。卒業後は、子どもの頃から続けてきた大好きな音楽に携わりたという思いから、現金業に就職。現在は店舗での販売を担当しています。大学で心理学を学ぶ中で培った力は、今、お客様が求めていることを推し量ったり、論理的に考え、業務を円滑に進める上で欠かせない確かな糧になっていると感じています。お客様が「人生の相棒」となる楽器と出会うお手伝いをするのが私の役割。これからの道を通じてたくさんの人の音楽生活を豊かにできれば、嬉しいです。

心理学実験で鍛えた力が営業で生きています。

林 明日香 8A / 2014年 文学部人文科学心理学専攻卒業
【勤務先】森村楽器株式会社 店舗営業部

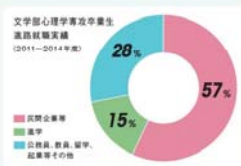


進路就職状況

進路就職先

株式会社三井物産UFJ銀行
株式会社電通
株式会社日立製作所
株式会社JTB西日本
森村楽器株式会社
全日本空輸株式会社
花王株式会社
日本郵便株式会社

西日本旅客鉄道株式会社
株式会社高層屋
日本放送協会
医療法人協栄会 小松病院
社会福祉法人清瀬福祉会
大阪府教育委員会
京都府人事委員会



進路取得可能な資格

臨床心理士^{※1} 公認心理師(仮称)^{※2} 認定心理士(社団法人日本心理学会認定資格)
心理調査士(仮称) 中学校教諭一種(社会) 高等学校教諭一種(公民)
産業カウンセラー受験資格

※1: 立命館大学では応用人間科学研究科が対応しています。
※2: 現在、国会において設置の議論がされています(2014年10月時点)。学部・大学院において必要単位を修得した上で、主要大臣が実施する試験に合格する必要があります。

よくある質問

Q 心理学は
何を学ぶ学部ですか？

A 心理学とは、人間や動物の心と行動、理論や実験、調査、観察などの科学的なアプローチによって分析、説明する学問です。
例えば、学習・記憶・思考といった心の働きを研究する「認知心理学」や、発達プロセスを通して人間の心と行動の働きとその起源を探る「発達心理学」、人間関係や社会的文化的現象を分析する「社会心理学」、心理学の理論と技法を基にした心のケアなどの実践と研究を行う「臨床心理学」などがあります。

Q 総合心理学部は、
心理学部とどう違いますか？

A 心理学の中には、基礎心理、応用心理、臨床心理といった幅広い分野がありますが、総合心理学部では、心理学の基本的な分野を総合的に学ぶことができます。さらに、心理学と隣接する、例えば経済、経済学や経営学といった領域も学べ、総合的で実践的な人間の理解を目指す点が特徴的です。

Q 総合心理学部で学ぶことで、
どのような能力が身に付きますか？

A 総合心理学部では、心理学の専門的な学習やプロジェクト型の演習科目、実験・実習科目などの学びを通して、課題発見力やコミュニケーションスキルといった社会で求められる能力も獲得することができます。例えば、人の消費行動を分析しマーケティングや広報に活用したり、行動科学的アプローチを用いて商品開発や営業に役立てたりする力が身につきます。教育や福祉などの対人援助の現場で必要とされる知識や技術を習得することも可能です。

Q 実験や統計などに興味があるのですが、
総合心理学部で実践できるのでしょうか？

A 心理学では、実証的な手法による研究が重要となりますので、卒業論文執筆に向けて、実験や調査法、統計法など幅広く学ぶことが求められます。

Q 公認心理師(仮称)とは
どのような資格ですか？

A 公認心理師(仮称)とは、保健医療、福祉、教育といった分野で、他の専門職と連携をとりながら、心理学に関連する専門知識や技術を応用し、相談や指導などを行い、心理的な苦悩や支援する専門職です。現在、国家試験として試験の準備が進められていますが、資格を取得するには、学部・大学院において必要な単位を修得した上で、試験に合格する必要があります。総合心理学部では、公認心理師(仮称)の資格が認定されたことを想定して、カリキュラムを定めています。

Q 将来カウンセラーを目指しています。
臨床分野の学びは可能でしょうか？

A 公認心理師(仮称)を目指すことでカウンセラーといった臨床分野の進路とつながります。臨床心理士を目指す場合は、総合心理学部卒業後、本学の応用人間科学研究科(臨床心理学専攻)に進学することをお勧めします。また、総合心理学部のカリキュラムでは、資格取得を目指す場合でも、臨床教育の科目を履修することも可能です。

Q 英語が得意なのですが、
英語の力を伸ばすことはできますか？

A 総合心理学部の英語教育「プロジェクト型英語プログラム」では、人間の心と行動の理解をテーマに、情報を集め、英語で自らの考えを発信できる能力を養成します。将来的には、関連分野で国際的に活躍できることを目標としています。

大阪いばらきキャンパス Osaka Ibaraki Campus

総合心理学部が誕生するのは、2016年4月。学び舎は、2015年4月に大阪府茨木市に開設する「大阪いばらきキャンパス」に設置されます。大阪いばらきキャンパスは、衣笠キャンパス、びわこ・くさつキャンパス、南河内キャンパスに続く立命館大学の第4キャンパスです。総合心理学部は、経営学部・経営研究科、政策科学部・政策科学研究科、テクノロジー・マネジメント研究科、経営管理研究科が揃った、都市に立地するキャンパスの特性や、キャンパスを構成する学部・研究科の特色を活かし、「アジアのゲートウェイ」「都市計画」「地域・社会連携」をテーマとして位置付け、立命館大学と社会の連携・交流のフロントラインとしての役割も担うキャンパスで、産業界や行政機関と連携した教育・研究を展開します。充実の学習環境を備え、社会に大きく開かれた第4キャンパスが、総合心理学部での豊かな学びと大きな成長を後押しします。



※1: 本キャンパスは2014年3月現在の設計図面でのものです。建築公開図面は、建設地の実情を踏まえて設計が変更される場合があります。



I. 1. 書類等の題名

「学生の確保の見通し等を記載した書類」 55 ページ

資料5 私立大学心理系学部等他大学学費

2. 引用元

各大学ホームページ

3. 説明

各大学のホームページを元に、主な私立大学の心理系学部の 2015 年度もしくは 2014 年度の学費の表を本学において作成した。

学校法人立命館 御中

新設学部に関するアンケート調査 定量アンケート 調査結果

案件名：総合心理学部確保の見通し等に関する調査業務（人材需要の見通し）

2015年1月29日

日経BPコンサルティング
Nikkei BP Consulting, Inc.

調査概要

3

調査概要

4

回答者属性

5

調査結果

6

総括

7

1. 立命館大学 認知状況

8

2. 「総合心理学部」特色の理解度

9

3. 「総合心理学部」特色の魅力度

10

4. 「総合心理学部」特色の重要度

11

5. 「総合心理学部」特色 スコア一覧

12

6. 「総合心理学部」人材像の魅力度

13

7. 「総合心理学部」人材像の採用意向促進度

14

8. 「総合心理学部」卒業生に求める資質

15

9. 「『総合』心理学部」特色（『総合』の説明後）の魅力度

16

10. 採用意向度

17

11. 採用意向度別 TOPBOXスコア一覧（学部の特徴について）

18

12. 採用意向度別 TOPBOXスコア一覧（人材像・資格取得・教学理念について）

19

調査概要

■調査目的

2016（平成28）年4月に、大阪いばらきキャンパス（2015年4月開設予定）において、新たに設置を予定している総合心理学部の文部科学省への申請にあたり、人材需要の動向など社会からのニーズを明らかにするために、中立的、客観的な数値データを収集する。

■調査方法

企業、機関人事部宛に、学部パンフレットを同梱した調査票を郵送。回答後は同封の返信用封筒にて返信。
（回答謝礼および督促ハガキの実施はなし）

■有効回答数

357件（発送総数：3000件 回収率：11.9%）

■調査期間

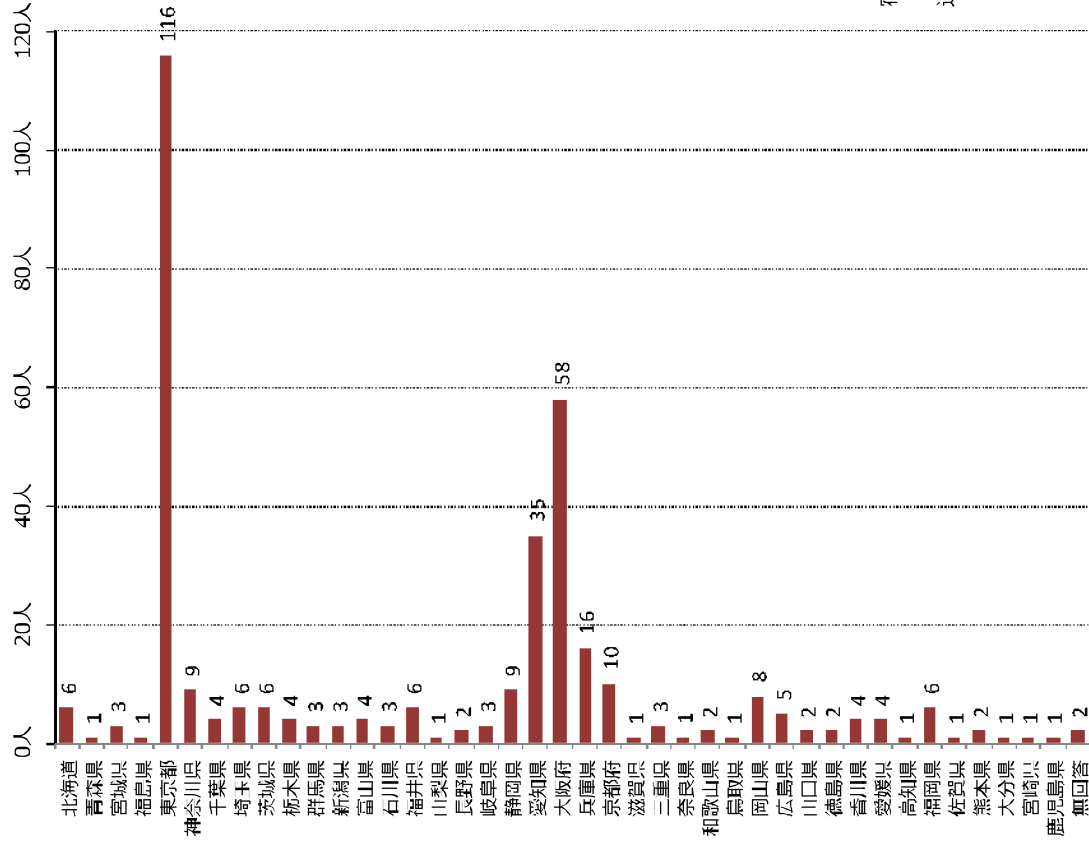
発送：2014年11月20日（木）～2014年12月15日（月） ※文面上の締切は12月10日（水）まで

■調査対象（3000件の内訳）

- ①文学部心理学専攻卒業生の就職実績がある企業：28社（28社のうち、②の条件にあてはまる企業が21社）
 - ②従業員人数2名以上の売上高上位企業（全国）：2372社
 - ③一般病院（大阪府、京都府、滋賀県大津市・草津市、兵庫県）：600施設
- ※リスト提供元： ①貴校キャリアセンター／ ②③株式会社帝国データバンク

※全n=357

【都道府県】

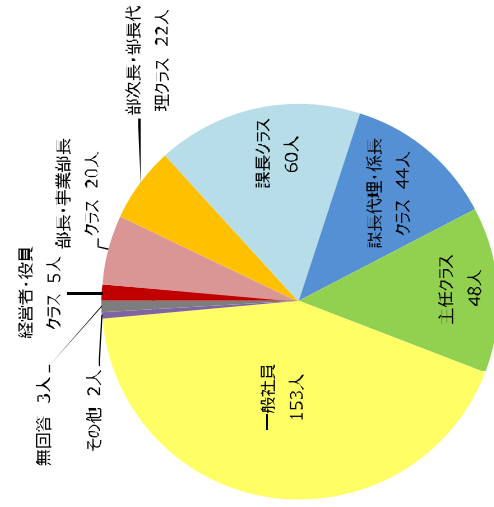


※東京都、愛知県、大阪府で209件 (58.5%)

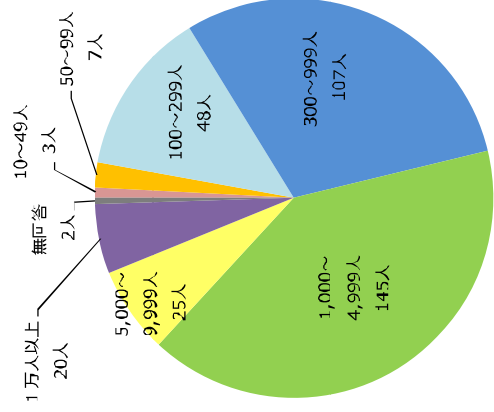
※以下の県は0件のため、掲載対象外

岩手県／秋田県／山形県／島根県／長崎県／沖縄県

【役職】

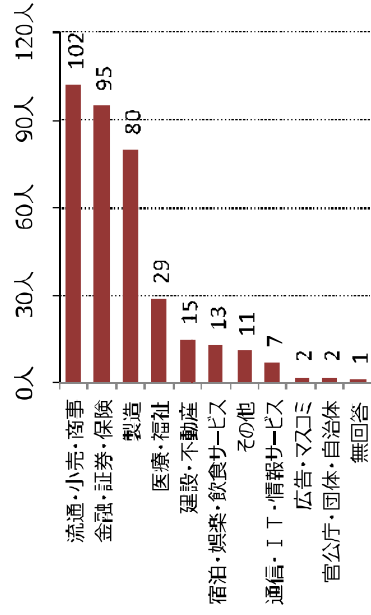


【従業員人数】



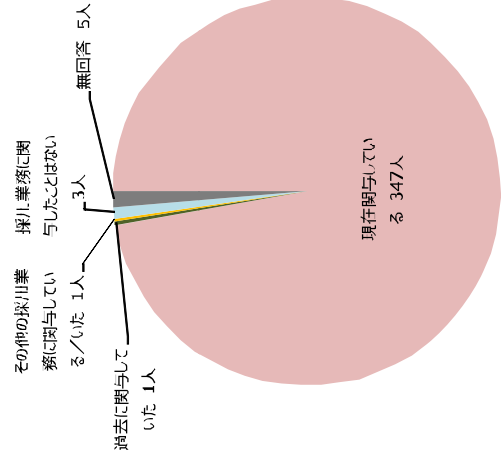
※9人以下の企業・施設は0件のため、掲載対象外

【業種】



※以下の業種は0件のため、掲載対象外
学術研究、専門・技術サービス／教育・学習支援

【新卒・第二新卒の採用関与度】



調査結果

▶新学部卒業者に關して、人材需要の動向など社会の要請があるかどうか、その見通しを検証するために、外部機関である株式会社日経BPコンサルティング(所在地：東京都港区)が調査を実施。貴校卒業生の就職先企業を含む、全国の企業や医療機関の人事部に調査票を送付する郵送調査を実施した。なお、同調査は、同封した学部の概要・教学理念をまとめた総合心理学部のパンフレットに、回答者が目を通した後に回答する方式。データを分析すると、新設される**総合心理学部が企業などの採用担当者から高い支持を得た**という結果が得られた。調査期間は、平成26年11月20日～12月15日。有効回答者数は、357件(発送総数3,000件、回収率11.9%)である。

【採用意向度】総合心理学部で学んだ学生を採用したいと思うかという設問に対し、有効回答357件中324件が、採用意向があると回答した。よって、採用意向度は、無回答21件を除く回答企業数の96.4%と非常に高い。また、医療・福祉に属する企業・機関からの回答29件中21件、72.4%が採用意向を示した。製造業や流通業、金融業といった業種の民間企業に留まらず、全国で8,600施設を超える病院(厚生労働省平成24年度「病院機能別 制度別 医療費等の状況」より)、さらに大小様々な規模の医療機関などでの採用が期待できる。

【学部特色6要素】学部が押し込んでいる6つの特色について、「理解度」「魅力度」「重要度」をそれぞれ尋ねたところ、「魅力度」「重要度」の2項目において【B.問題解決型学習(PBL方式)】など多様なアクティブラーニングと【C.グローバルに活躍するためのプロジェクト発信型英語プログラム】が上位となった。しかし、「理解度」においては、双方とも下位グループに属している。「課題解決能力」「グローバル」という単語に対するポジティブ反応率は高かったものの、具体的にどのような教育がおこなわれるのかを、「アクティブラーニング」「発信型」という言葉からはイメージできなかったようだ。

逆に「魅力度」「重要度」において下位グループに属しているのは、【D.1年次から4年次までの各年次での演習と4年間の集大成となる卒業論文】と【F.海外で心理学を学ぶ学部独自の国際教育】。【D】はその特徴を示す文章そのものに対しては理解が進んだが、大学教育で掲げるテーマとしては、弱かったようだ。【F】は「理解度」も最下位であり、特色設定として再考の余地がある。

【育成人材像5要素】学部が養成する5つの人材像のうち、「魅力度」が最も高かった項目は【C.個性と多様性を尊重しつつ他者と協働し、問題解決に貢献ができる】となり、魅力度(「魅力を感じる」+「やや魅力を感じる」)の得票率の計)は96.9%と非常に高かった。「魅力を感じる」だけに限定しても、66.4%と3人に2人という高い割合で評価された。先の学部特色設問における「問題解決能力」に対する「魅力度」「重要度」の高さと一致する。また、【C】は「このような人材の採用に關し、採用意向を促進させるか」との設問でも63.3%が「促進させる」と回答。項目内で1番高い得票率を得ている。次いで、【E.社会に貢献しようとする倫理観や学び続ける意欲がある】、【D.自らの見解を論理的に主張することができる】が僅差で続く。

逆に【A.人間の心と行動を科学的に探求し思考することができる】について、「魅力を感じる」と評価した人は28.6%と低かった。文章に対する理解が難しい表現ではないか。

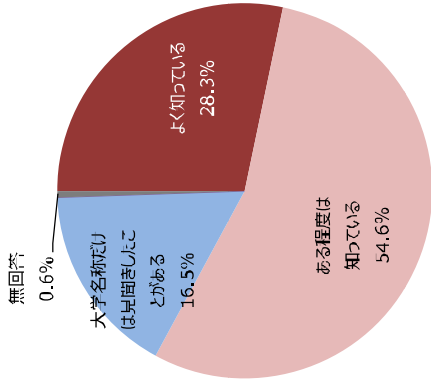
【受験資格取得】「認定心理士」「産業カウンセラー」(受験資格)の取得、「公認心理師(仮称)」への対応の検討は、採用意向を促進させるかという質問に対し、「促進させる」は、7.0%、「促進度」(「促進させる」+「やや促進させる」の計)も37.0%に留まった。回答者を医療・福祉企業、機関29社に限定すると、「促進度」は55.1%まで上昇する。企業の業種・業態により、魅力度は異なるようである。

【卒業生に期待する資質】卒業生に求める資質として最も高かったのは、「コミュニケーションスキル」で85.2%。既出の学部、人材像の特色には、使われなかった言葉であるが、期待度が高かったことが興味深い。

【『総合』説明・教学理念】学部名称が『総合』心理学部であることについての説明(学部の特色)について、その魅力度(「魅力を感じる」+「やや魅力を感じる」の計)は、89.6%と高かった。ただし、「魅力を感じる」は26.9%に留まった。『総合』が示す意味合いの理解度、また本説明に対し、言葉を受け取った側は、どのような人物像を具体的に描くのか、今一度ヒアリングをしてみようのではと思われる。

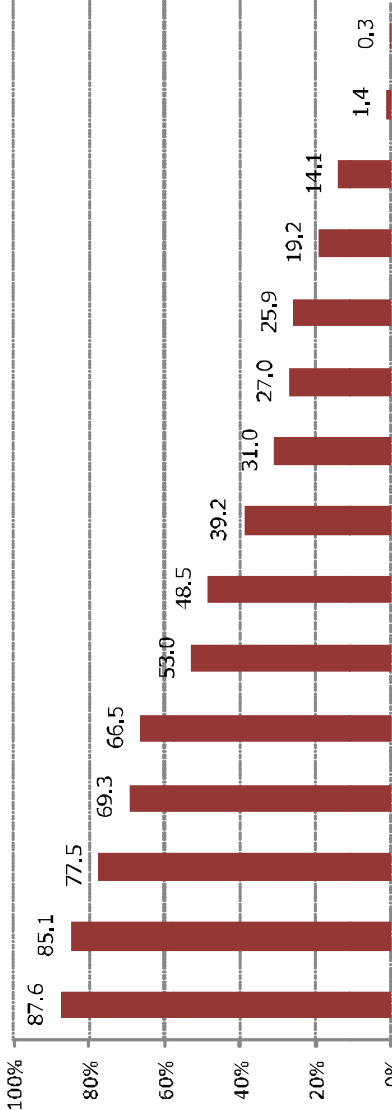
- 「立命館大学」の認知度は、「よく知っている」が28.3%、「ある程度知っている」は54.6%となり、その小計は8割を超えた。
- 「立命館大学」の設置学部の中で最も認知度が高かったのは「法学部」(87.6%) となり、次いで「経済学部」(85.1%)、「経営学部」(77.5%)が続く。認知度が低かったのは「映像学部」(14.1%)、「生命科学部」(19.2%)となる。

【大学認知状況】



【設置学部 認知状況】

※問1で「よく知っている」「ある程度は知っている」「大学名称だけは聞き知っている」がある



サンプル数										
357	n	101	195	59	0	2				
	%	28.3	54.6	16.5	0.0	0.6				

サンプル数	355	n																	
		311	302	275	246	236	188	172	139	110	96	92	68	50	5	1			
		87.6	85.1	77.5	69.3	66.5	53.0	48.5	39.2	31.0	27.0	25.9	19.2	14.1	1.4	0.3			
										</									

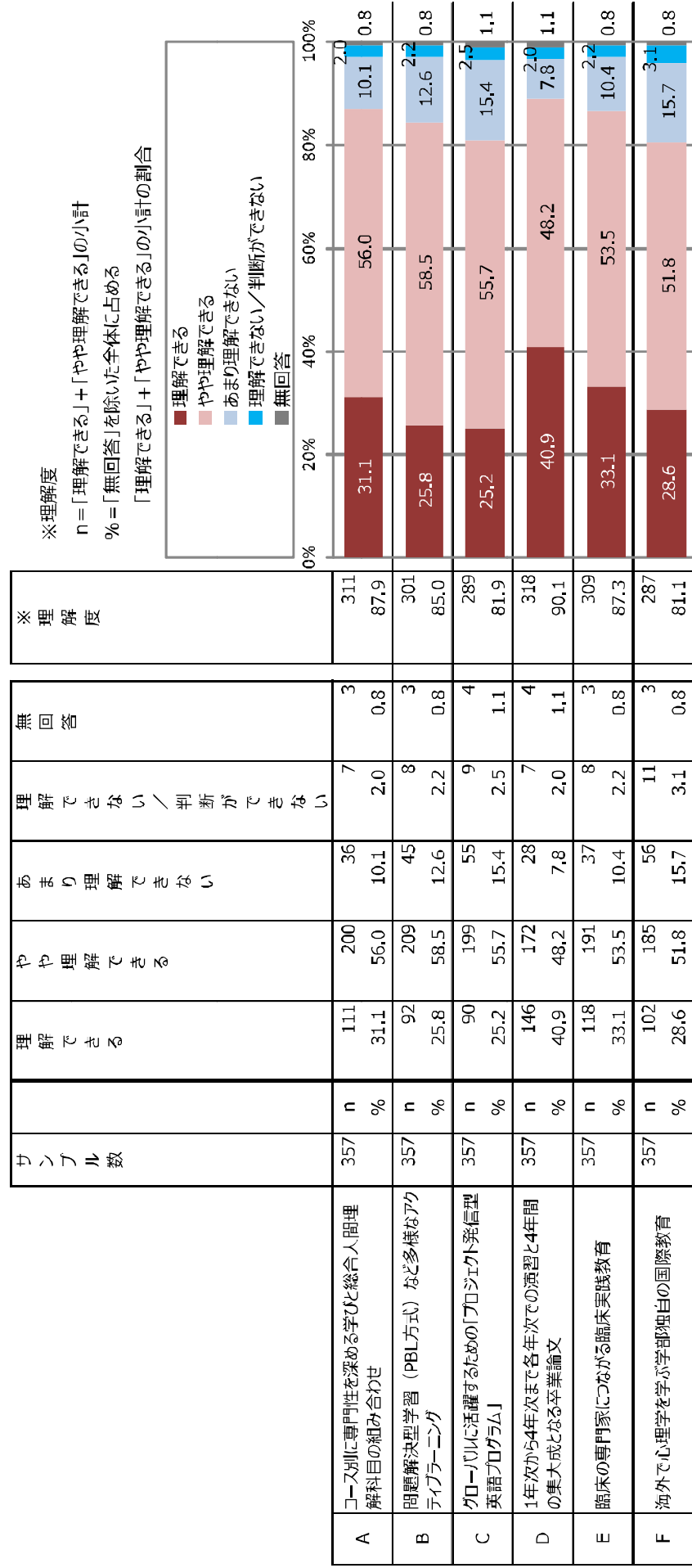
※スコア順に降順ソート

問1.あなたは、「立命館大学」をどの程度ご存じですか。(○は1つだけ)

問2.次の「立命館大学」の設置学部の中で、これまでに見聞きしたことがある、ご存じのものをお選びください。(○はいくつでも)

- A～Fの6つの特色のうち、書いてある内容をイメージできる・理解できると最も評価された特色は【D.1年次から4年次まで各年次での演習と4年間の集大成となる卒業論文】となり、理解度は9割を超えた。
- 理解度が低かった特色は【F.海外で心理学を学ぶ学部独自の国際教育】（理解度：81.1%）と、【C.グローバルに活躍するための「プロジェクト発信型英語プログラム」】（理解度：81.9%）であった。

【特色の理解度】



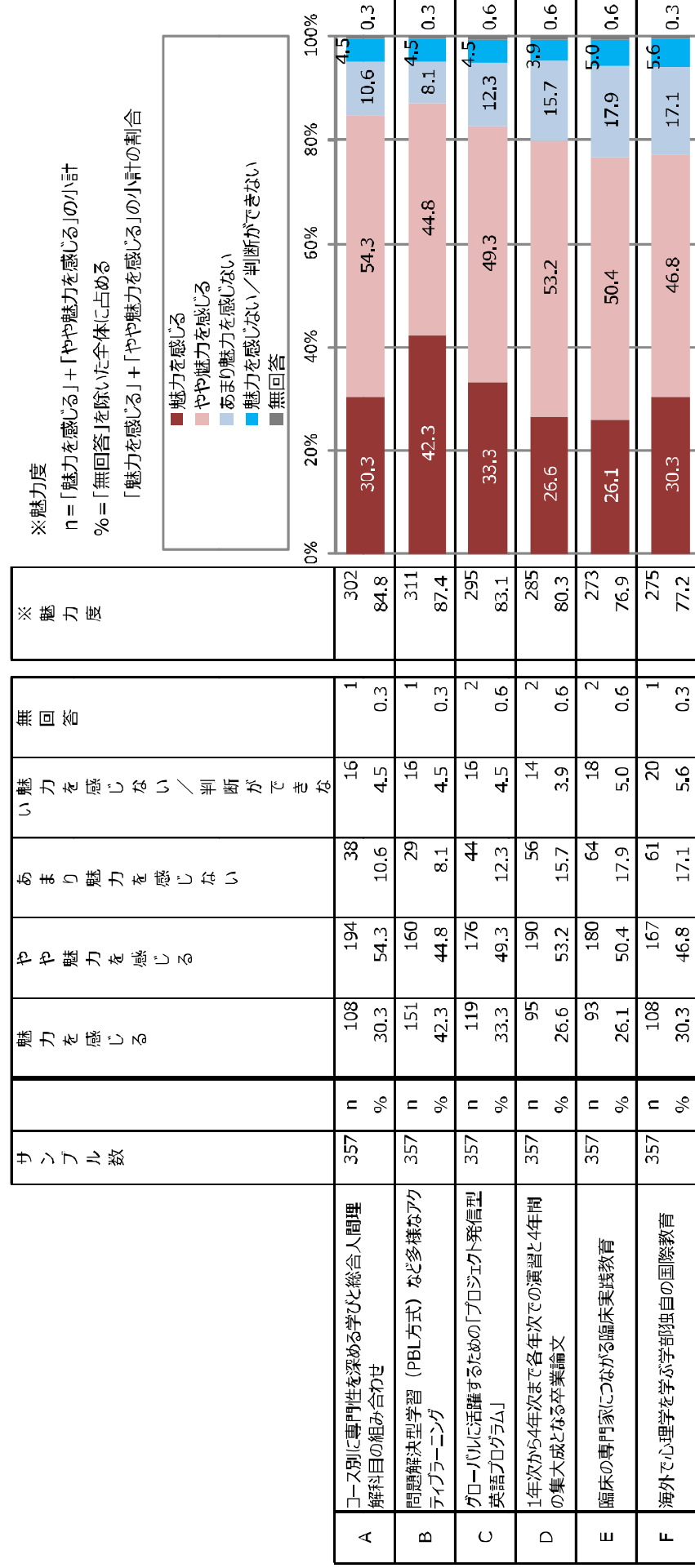
問3.現在、設置構想中の立命館大学「総合心理学部」は、次のような特色（A～F）があります。これら特色に関する文章をお読みになり、どの程度「書いてある内容をイメージできるか、理解できるか」について、お答えください。（○はそれぞれ1つだけ）

3.「総合心理学部」特色の魅力度

10

- A～Fの6つの特色のうち、魅力度が最も高かった特色は【B.問題解決型学習（PBL方式）など多様なアクティブラーニング】（魅力度：87.4%）となり、「魅力を感じる」と評価した人が42.3%と他5項目に比べても特に高かった。
- 魅力度が低かった特色は【E.臨床の専門家につながる臨床実践教育】（魅力度：76.9%）と、【F.海外で心理学を学ぶ学部独自の国際教育】（魅力度：77.2%）であった。

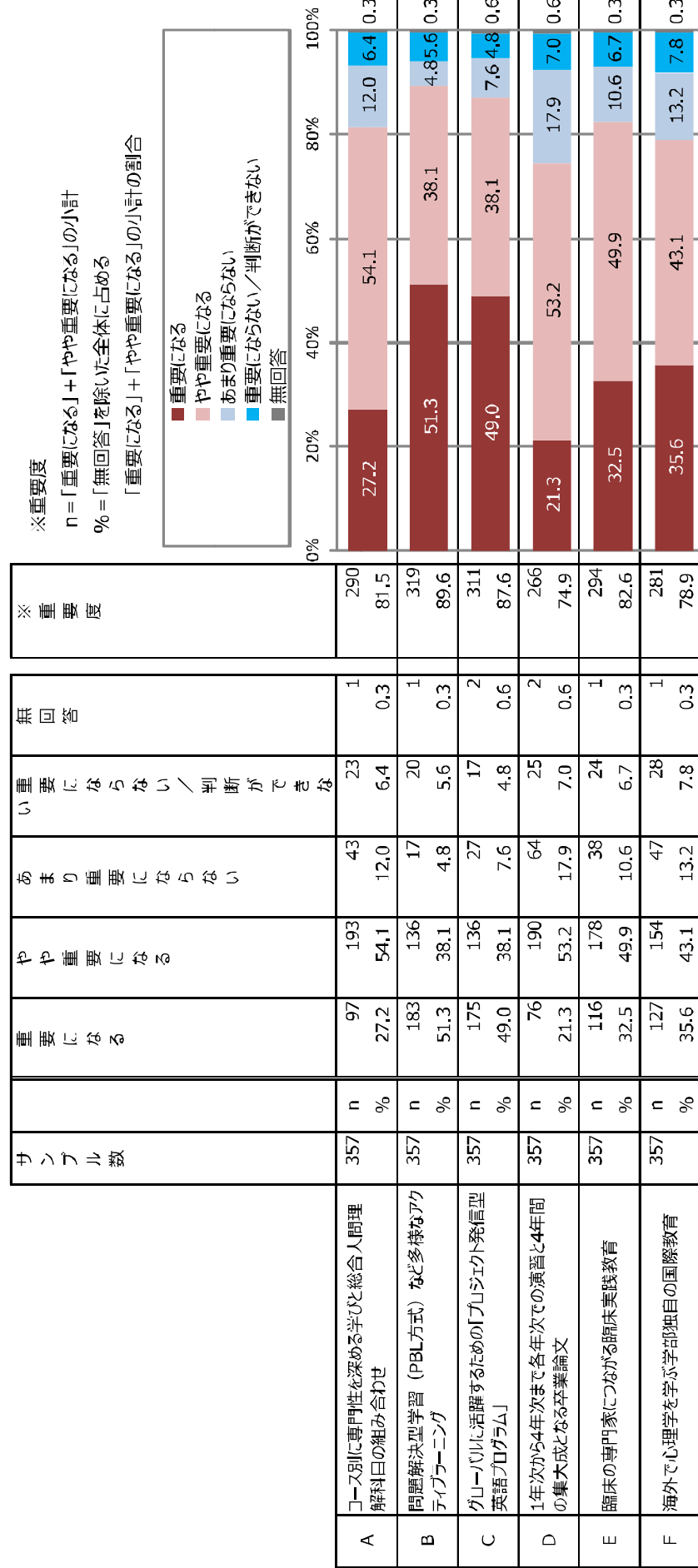
【特色の魅力度】



問4.前問同様、設置構想中の立命館大学「総合心理学部」の特色（A～F）に関する文章をお読みになり、どの程度「魅力を感じるか」について、お答えください。（○はそれぞれ1つだけ）

- A～Fの6つの特色のうち、社会のニーズとして重要になると考えられる特色は【B.問題解決型学習（PBL方式）など多様なアクティブラーニング】（重要度：89.6%）と【C.グローバルに活躍するための「プロジェクト発信型英語プログラム」】（重要度：87.6%）であった。
- 重要度が最も低かった特色は【D.1年次から4年次まで各年次での演習と4年間の集大成となる卒業論文】（重要度：74.9%）となり、「重要になる」と回答した人は、【B】【C】が5割前後だったのに対し、【D】は2割程度にとどまった。

【特色の重要度】



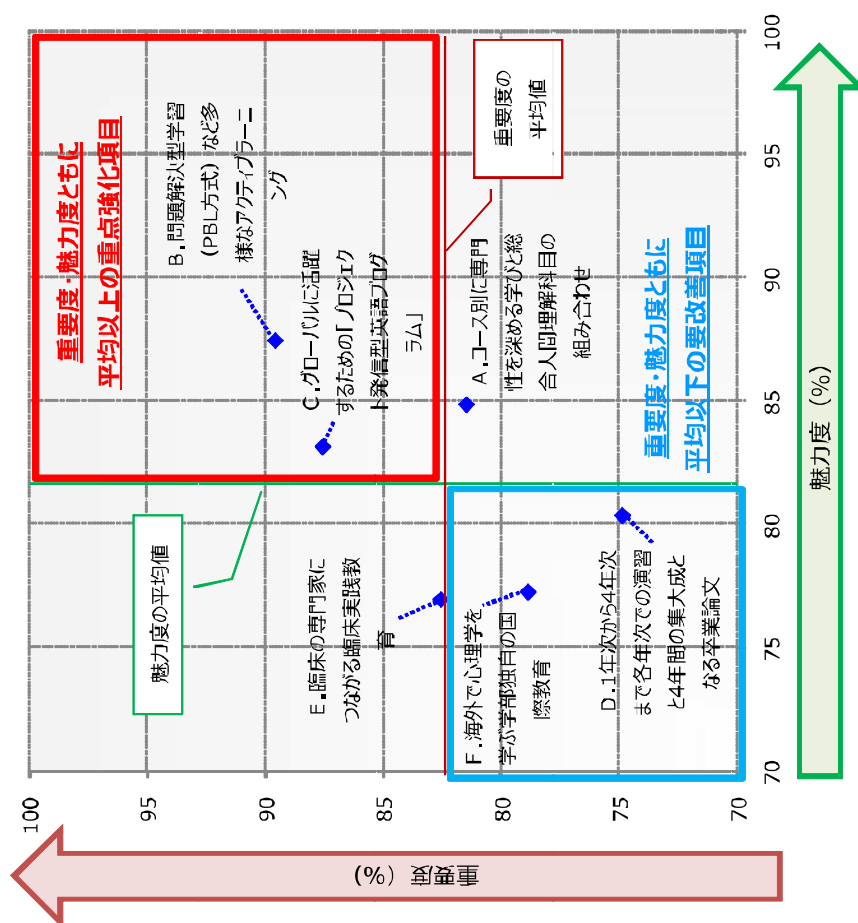
問5.これまでお読みいただいた設置構想中の立命館大学「総合心理学部」の特色（A～F）について、今後、社会のニーズとして、「重要度が増すかどうか」について、あなたのお考えをお答えください。（○はそれぞれ1つだけ）

- A～Fの6つの特色の各指標のスコアをランキング化したところ、「理解度」「魅力度」「重要度」でそれぞれランキングに変動が見られた。「魅力度」「重要度」において【B.問題解決型学習（PBL方式）】など多様なアクティブラーニングと【C.グローバルに活躍するための「プロジェクト発信型英語プログラム」】は上位ではあるが、「理解度」では下位グループに属している。
- 「魅力度」「重要度」において下位だったのは【D.1年次から4年次までの各年次での演習と4年間の集大成となる卒業論文】と【F.海外で心理学を学ぶ学部独自の国際教育】であった。【D】に関しては理解度では1位であるものの、「魅力度」「重要度」の評価につなげることができなかった。一方、【F】は「理解度」も最下位であり、全体的に“伝わっていない”状態がうかがえる。

【「総合心理学部」特色 スコアランキング一覧】

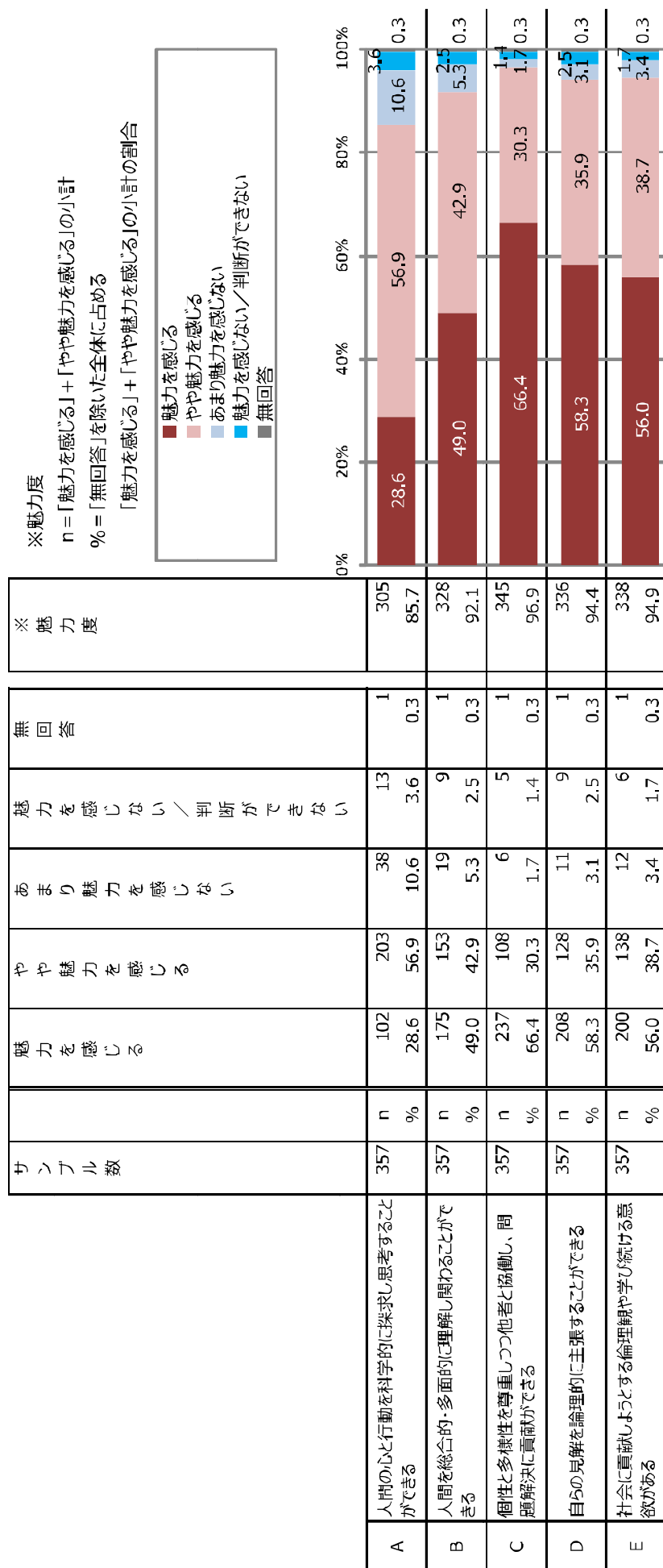
	理解度		魅力度		重要度	
	n	%				
A	コース別に専門性を深める学びと総合人間理解科目の組み合わせ	311	2位	302	2位	290
		87.9		84.8		81.5
B	問題解決型学習（PBL方式）など多様なアクティブラーニング	301	4位	311	1位	319
		85.0		87.4		89.6
C	グローバルに活躍するための「プロジェクト発信型英語プログラム」	289	5位	295	3位	311
		81.9		83.1		87.6
D	1年次から4年次までの各年次での演習と4年間の集大成となる卒業論文	318	1位	285	4位	266
		90.1		80.3		74.9
E	臨床の専門家につながる臨床実践教育	309	3位	273	6位	294
		87.3		76.9		82.6
F	海外で心理学を学ぶ学部独自の国際教育	287	6位	275	5位	281
		81.1		77.2		78.9

【「総合心理学部」魅力度×重要度】



- A～Eの5つの人材像のうち、魅力度が最も高かった項目は【C.個性と多様性を尊重しつつ他者と協働し、問題解決に貢献ができる】（魅力度：96.9%）となり、「魅力を感じる」と評価した人は7割近くに迫った。次いで、【E.社会に貢献しようとする倫理観や学び続ける意欲がある】（魅力度：94.9%）、【D.自らの見解を論理的に主張することができる】（魅力度：94.4%）が僅差で続く。
- 魅力度が低かった特色は【A.人間の心と行動を科学的に探求し思考することができる】（魅力度：85.7%）となった。「魅力を感じる」と評価した人は28.6%と低かった。

【人材像の魅力度】



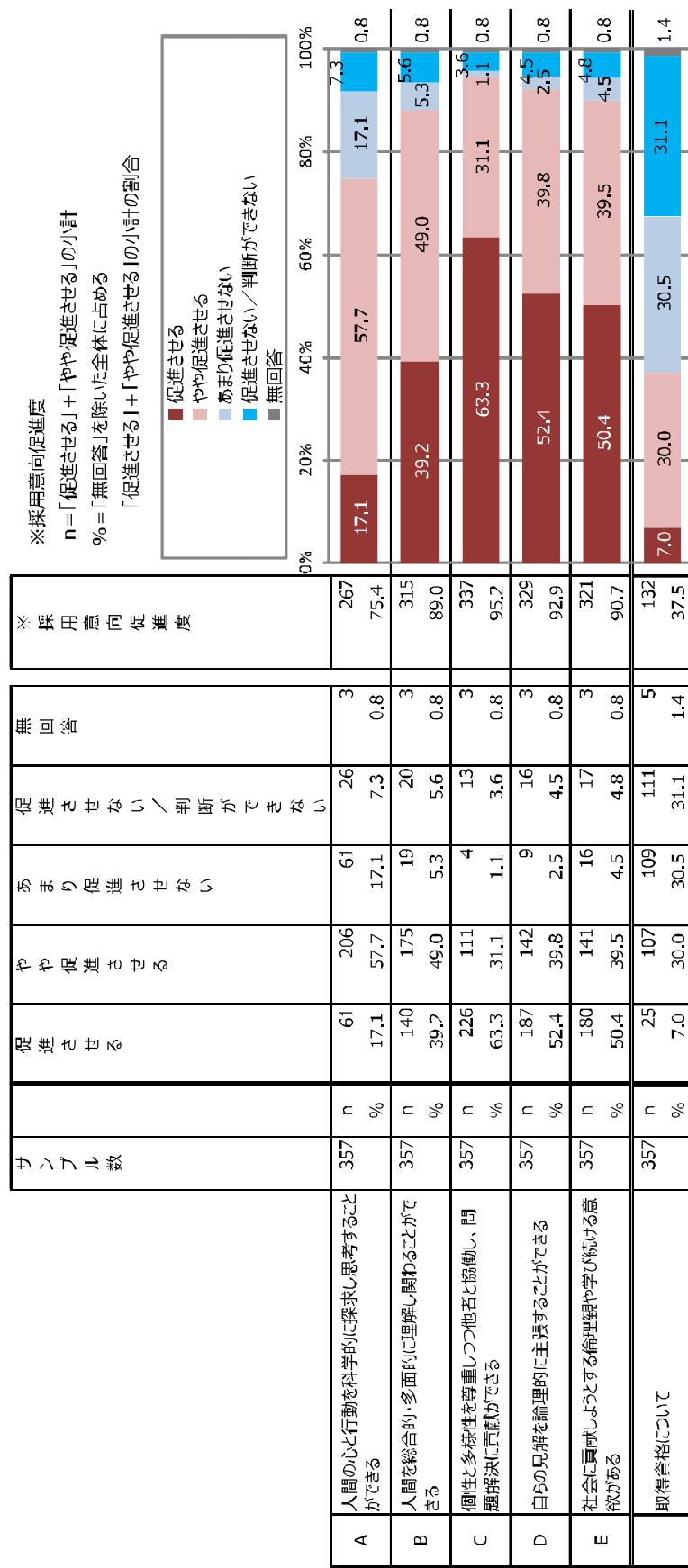
問6.現在、設置構想中の立命館大学「総合心理学部」では、次のような人材(A～E)を養成します。これらの人材像に関する文章をお読みになり、あなたは、どの程度「魅力を感じるか」について、お答えください。(○はそれぞれ1つだけ)

7.「総合心理学部」人材像の採用意向促進度

14

- A～Eの5つの人材像のうち、採用意向を最も促進させる項目は、【C.個性と多様性を尊重しつつ他者と協働し、問題解決に貢献ができる】となり、次いで、【D.自らの見解を論理的に主張することができる】【E.社会に貢献しようとする倫理観や学び続ける意欲がある】が続く。また、最も低かった項目は、【A.人間の心と行動を科学的に探求し思考することができる】となり、前問の魅力度とほぼ同様の傾向を示した。
- 卒業時に資格を取得できることについて、採用意向を「促進させる」は7.0%、採用意向促進度は37.5%にとどまり、A～Eの5つの人材像のスコアに比べて低い結果であった。

【人材の採用意向促進度】



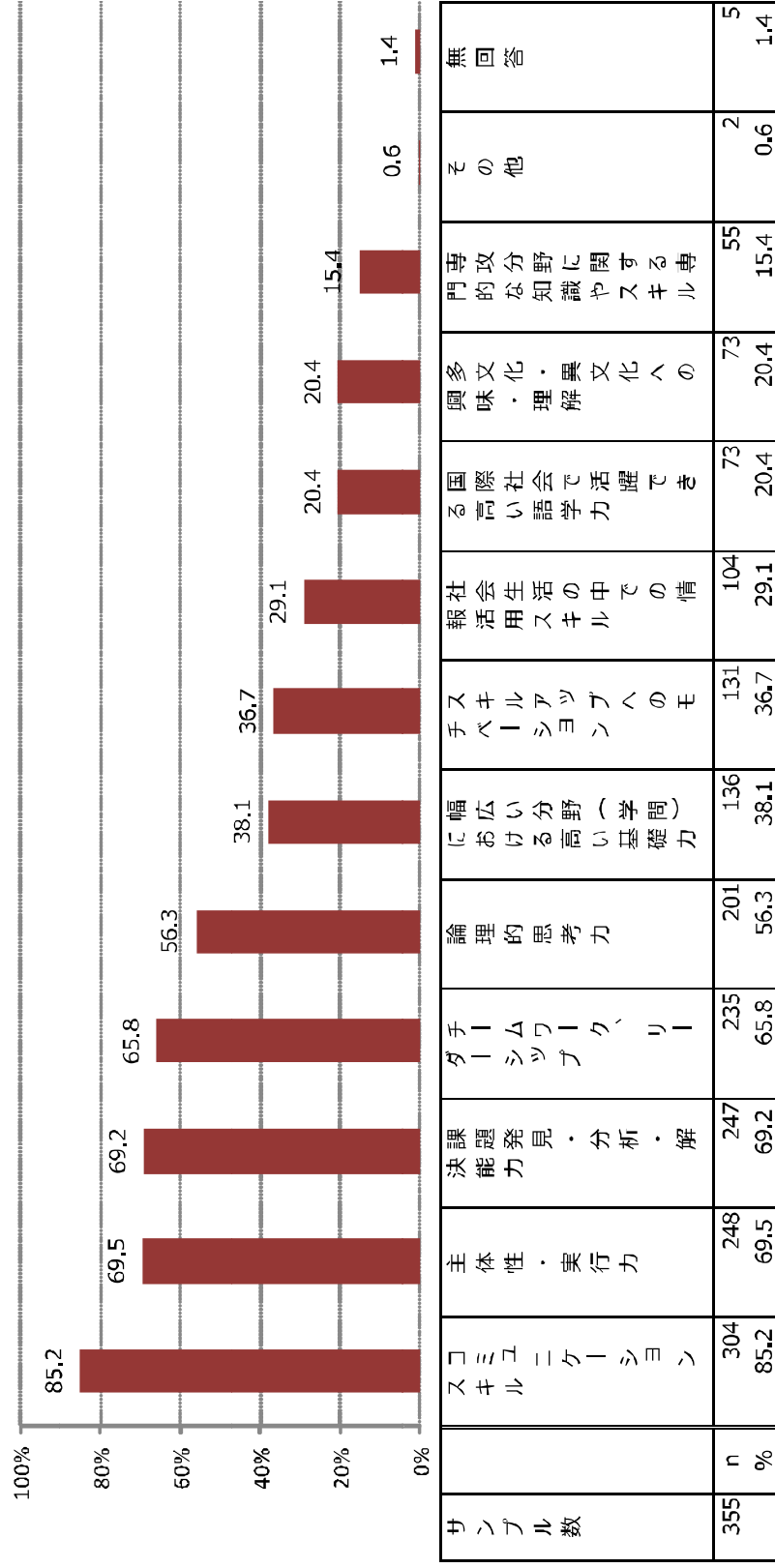
問7.前問同様、設置構想中の立命館大学「総合心理学部」が養成する人材像に関する文章(A～E)をお読みになり、あなたは、またはあなたの会社では、このような人材の採用に関し、『採用意向を促進させるか』について、お答えください。(○はそれぞれ1つだけ)

問8.現在、設置構想中の立命館大学「総合心理学部」では、卒業時に「認定心理士」や「産業カウンセラー」(受験資格)の取得のほか、「公認心理師(仮称)※1」への対応も検討しています。貴社の採用の場において、このことは採用意向を促進させますか。(○は1つだけ)

※1：2014年10月現在、国会において創設の議論がされています。学部・大学院において必要な単位を取得した上で、主務大臣が実施する試験に合格する必要があります。

- 総合心理学部の卒業生に求める資質として最も高かったのは、「コミュニケーションスキル」(85.2%)となった。次点に「主体性・実行力」(69.5%)、「課題発見・分析・解決能力」(69.2%)、「チームワーク・リーダーシップ」(65.8%)が続く。
- スコアが低かった項目としては、「専攻分野に関する専門的な知識やスキル」(15.4%)、「多文化・異文化への興味・理解」(20.4%)、「国際社会で活躍できる高い語学力」(20.4%)が挙げられる。

【卒業生に求める資質】



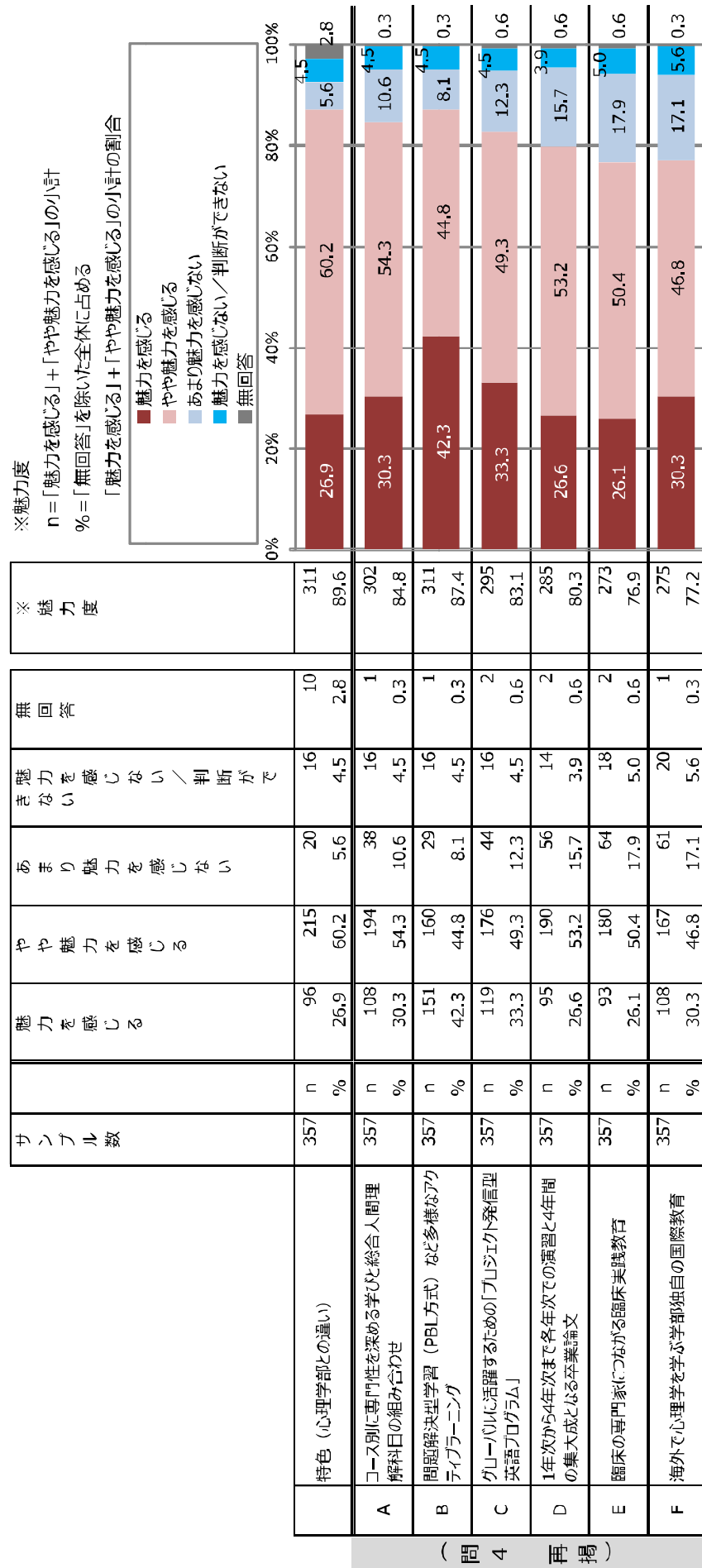
問9.現在、設置構想中の立命館大学「総合心理学部」を卒業した学生に求める、期待する「資質」として、お考えになるものをお選びください。(○はい/つでも)

9.『総合』心理学部「特色（『総合』の説明後）の魅力度

16

- 『総合』心理学部の特色（『総合』の説明後）に対する魅力については、「やや魅力を感じる」（60.2%）が最も高く、魅力度は89.6%であった。
- 問4の特色に比べてやや「魅力を感じる」は低いものの、総合的な魅力度の評価としては最も高かった。

【『総合』心理学部「特色（『総合』の説明後）の魅力度」】

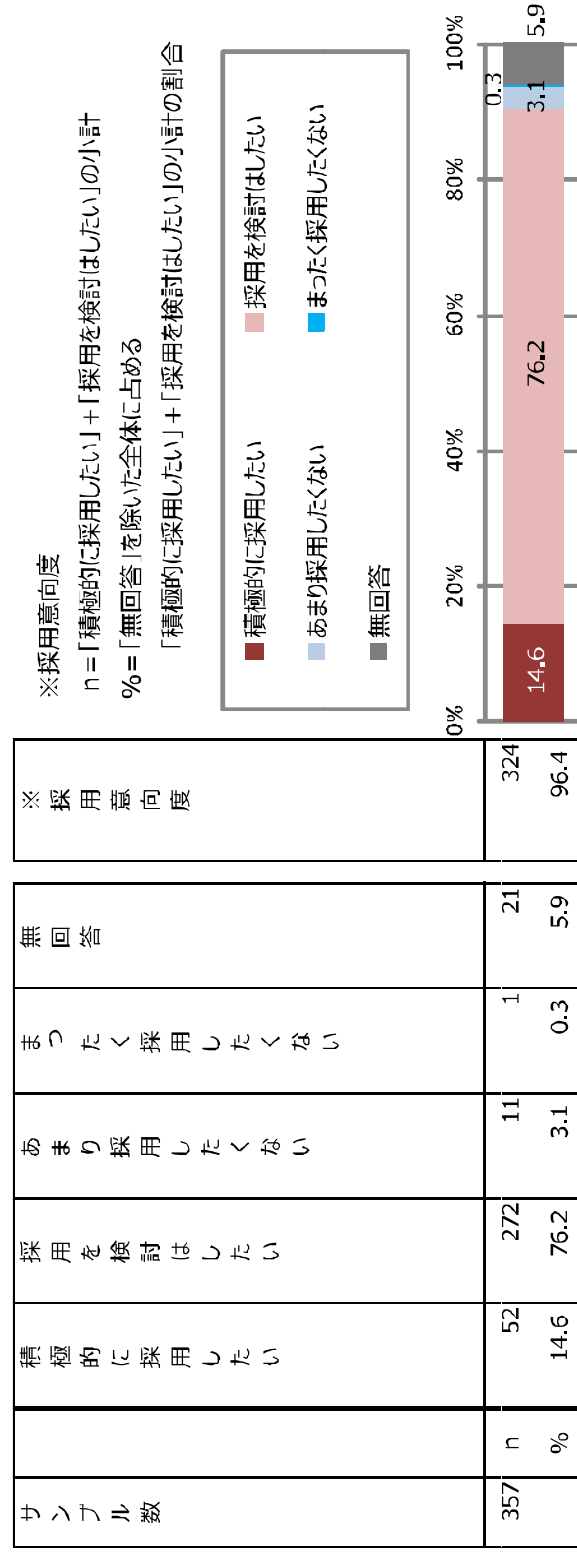


心理学の中には、基礎心理・応用心理・臨床心理といった幅広い分野がありますが、設置構想中の立命館大学「総合心理学部」は、これら心理学の幅広い分野を総合的に学ぶことができます。さらに、心理学と隣接する領域（例：哲学・経済学・経営学）も学べ、総合的で現実的な人間の理解を目指す点が特色です。

問10.あなたは、上述の立命館大学「総合心理学部」の特色を、どの程度「魅力を感じるか」について、お答えください。（○は1つだけ）

- 総合心理学部の卒業生の採用意向としては、「採用を検討はしたい」（76.2％）が最も高く、「積極的に採用したい」（14.6％）を足した人数は324人であった。採用意向度は96.4％と高かった。

【採用意向度】



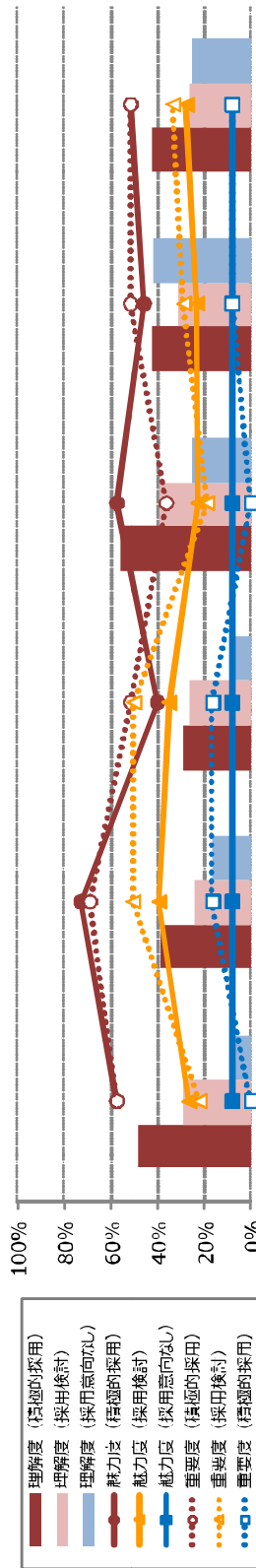
問11.同封のパンフレットをお読みいただき、ありがとうございます。あなたは、設置構想中の立命館大学「総合心理学部」で学んだ学生を、採用したいと思いますか。（○は1つだけ） また、その理由について自由に書きたい。

11. 採用意向度別 TOPBOXスコア一覧（学部の特徴について）

- 学部の特徴について、TOPBOXのスコアを採用意向度別に比較したところ、『積極的に採用したい』と回答した人は、『採用を検討はしたい』に比べて全体的にTOPBOXのスコアが高かった。特に「魅力に感じる」「重要になる」が高かったのは、【B.問題解決型学習（PBL方式）など多様なアクティブラーニング】となった。

※「採用したくない・計」はサンプル数過少のため参考値

【「総合心理学部」特色 TOPBOXスコア一覧】



選択肢1（TOPBOX）を選んだ
人数（n）と全体における割合（%）

理解 できる	積極的に採用したい		採用を検討したい		採用したくない・計	
	n	%	n	%	n	%
魅力 を感じる	52	n	30	57.7	1	8.3
	272	n	73	26.8	1	8.3
	12	n	1	8.3	1	8.3
重要 なる	52	n	30	57.7	1	8.3
	272	n	73	26.8	1	8.3
	12	n	1	8.3	1	8.3

※採用したくない・計＝「あまり採用したくない」＋「まったく採用したくない」の小計

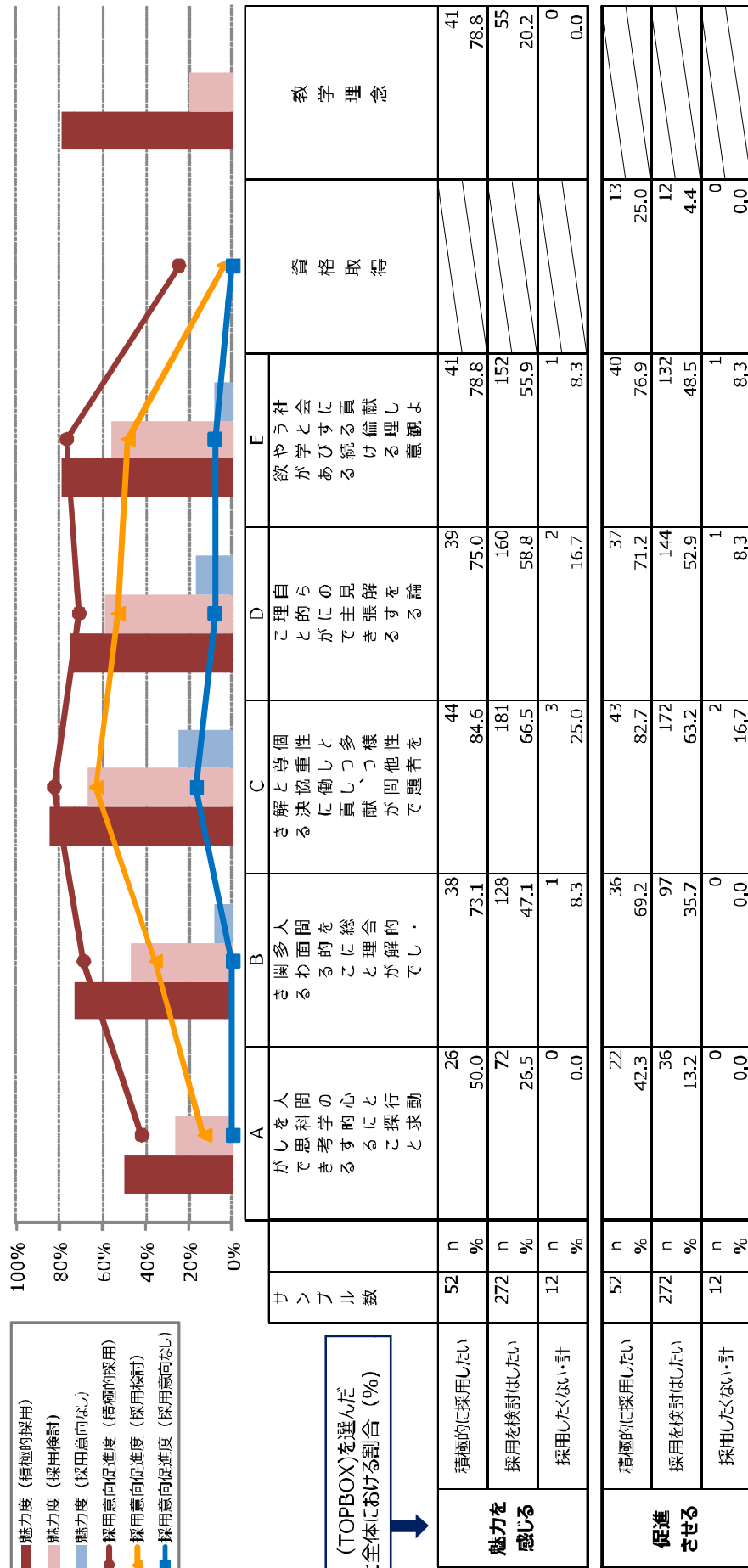
12.採用意向度別 TOPBOXスコア一覧（人材像・資格取得・教学理念について）

19

- 人材像について、TOPBOXのスコアを採用意向度別に比較したところ、『積極的に採用したい』と回答した人は、『採用を検討はしたい』に比べて全体的にTOPBOXのスコアが高く、最もその差が顕著だった項目は【B.人間を総合的・多面的に理解し関わる事ができる】となった。
- 【教学理念】についてはさらにその差が顕著であり、『積極的に採用したい』は78.8%、『採用を検討はしたい』は20.2%であった。

※「採用したくない・計」はサンプル数過少のため参考値

【「総合心理学部」人材像・資格取得・教学理念TOPBOXスコア一覧】



選択肢1 (TOPBOX)を選んだ
人数 (n) と全体における割合 (%)

※ 採用したくない・計 = 「あまり採用したくない」 + 「まったく採用したくない」の小計

<資料8 文学部心理学専攻(2011年度～2014年度)進路就職先>

進路	人数
就職(民間)	394
就職(公務員)	24
就職(教員)	14
進学	102
その他	154
不明	176
合計	864

就職(民間)内訳

業種	人数
卸売業, 小売業	82
製造業	63
金融業, 保険業	60
情報通信業	39
医療・福祉	22
サービス業(他に分類されないもの)	20
教育・学習支援業	20
学術研究, 専門・技術サービス業	18
生活関連サービス業, 娯楽業	18
建設業	16
不動産業, 物品賃貸業	14
運輸業, 郵便業	13
宿泊業, 飲食サービス業	4
複合サービス事業	4
分類不能の産業	1
合計	394

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
一	学長	ヨシダ ミキオ 吉田 美喜夫 ＜平成27年1月＞		博士 (法学)		学校法人立命館総長 立命館大学学長 (平成27年1月)

教 員 の 氏 名 等												
総合心理学部総合心理学科												
調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大 学等の職務に 従 事 する 週当たり平均 日 数
1	専	教授	オカモト(ヨウタ) ナホ 岡本(與久田)直子 ＜平成28年4月＞		博士 (教育学)		リテラシー入門 芸術療法論 臨床心理学概論※ プロジェクト研究Ⅰ プロジェクト研究Ⅱ 心理アセスメント実習Ⅰ 心理アセスメント実習Ⅱ 臨床・実践フィールドワークⅠ 臨床・実践フィールドワークⅡ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 展開演習Ⅰ 展開演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究	1前 3後 2前 3前 3後 2後 3前 3後 4前 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 展開演習Ⅰ 展開演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究	2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	立命館大学 文学部 教授 (平成19年4月)	5日
2	専	教授	カミヤマ(マサキ) ユウコ 神島(眞崎)裕子 ＜平成28年4月＞		博士 (学術)		リテラシー入門 プロジェクト研究Ⅰ プロジェクト研究Ⅱ 人間観の探求 政治と人間 基礎実験実習Ⅰ 基礎実験実習Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 展開演習Ⅰ 展開演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究	1前 3前 3後 1後 2前 1後 2前 1後 2前 2後 3前 3後 4前 4後 4通	2 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	中央大学 商学部 准教授 (平成22年4月)	5日
3	専	教授	カワノ ケンジ 川野 健治 ＜平成28年4月＞		博士 (人間科学)		リテラシー入門 コミュニティ心理学 心理調査法概論 プロジェクト研究Ⅰ プロジェクト研究Ⅱ 基礎実験実習Ⅰ 基礎実験実習Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 展開演習Ⅰ 展開演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究	1前 2前 2前 3前 3後 1後 2前 1前 1後 2前 2後 3前 3後 4前 4後 4通	2 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 自殺予防総合対策センター室長 (平成18年10月)	5日
4	専	教授	キタハタ アキヨシ 北岡 明佳 ＜平成28年4月＞		教育学博士		リテラシー入門 知覚心理学 心理学概論※ プロジェクト研究Ⅰ プロジェクト研究Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 展開演習Ⅰ 展開演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究	1前 2後 1前 3前 3後 1前 1後 2前 2後 3前 3後 4前 4後 4通	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	立命館大学 文学部 教授 (平成13年4月)	5日
5	専	教授	サイトウ セイジ 齋藤 清二 ＜平成28年4月＞		医学博士		臨床心理学概論※ 心理学のための生理学 医学総論	2前 3後 3前	2 2 2	1 1 1	立命館大学 特別招聘教授 (平成27年4月)	4日

教 員 の 氏 名 等													
総合心理学部総合心理学科													
調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大 学等の職務に 従 事 す る 週当たり平均 日 数	
6	専	教授 (学部長)	サトウ タカオ 佐藤 隆夫 ＜平成28年4月＞		Ph. D. in Experi- men- tal Psychology (米国)		リテラシー入門 認知情報論 プロジェクト研究Ⅰ プロジェクト研究Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 展開演習Ⅰ 展開演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究	1前 3前 3前 3後 1前 1後 2前 2後 3前 3後 4前 4後 4通	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	東京大学大学院 人文社会系研究科 教授 (平成7年5月)	5日	
7	専	教授	サトウ タツヤ サトウ タツヤ (佐藤 達哉) ＜平成28年4月＞		博士 (文学)		リテラシー入門 社会の中の心理学 文化心理学 プロジェクト研究Ⅰ プロジェクト研究Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 展開演習Ⅰ 展開演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究 国内フィールドスタディ 国内フィールドスタディ	1前 1後 3前 3前 3後 1前 1後 2前 2後 3前 3後 4前 4後 4通 2・3・4後集中 2・3・4後集中	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 4 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	立命館大学 文学部 教授 (平成13年4月)	5日	
8	専	教授	カハシ キヨシ 高橋 潔 ＜平成29年4月＞		Industrial Relations Ph. D. (米国)		プロジェクト研究Ⅰ プロジェクト研究Ⅱ 組織と人間 組織行動論 展開演習Ⅰ 展開演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究	3前 3後 2後 3前 2前 2後 3前 3後 4前 4後 4通	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	神戸大学大学院 経営学研究科 教授 (平成16年4月)	5日	
9	専	教授	タニ シンジ 谷 晋二 ＜平成28年4月＞		博士 (心身障害 学)		リテラシー入門 応用行動分析学 障がい児（者）心理学 プロジェクト研究Ⅰ プロジェクト研究Ⅱ 心理アセスメント実習Ⅰ 心理アセスメント実習Ⅱ 臨床・実践フィールドワークⅠ 臨床・実践フィールドワークⅡ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 展開演習Ⅰ 展開演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究 海外フィールドスタディ 海外フィールドスタディ	1前 2後 3前 3前 3後 2後 3前 3後 4前 1前 1後 2前 2後 3前 3後 4前 4後 4通 2・3・4後集中 2・3・4後集中	2 2 2 2 2 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 4 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	立命館大学 文学部 教授 (平成22年10月)	5日	

教 員 の 氏 名 等												
総合心理学部総合心理学科												
調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大 学等の職務に 従 事 する 週当たり平均 日 数
10	専	教授	ツチガ° リアキ 土田 宣明 ＜平成28年4月＞		博士 (人間科 学)		リテラシー入門 発達心理学概論 中高年心理学 発達・支援特殊講義 プロジェクト研究Ⅰ プロジェクト研究Ⅱ 基礎実験実習Ⅰ 基礎実験実習Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 展開演習Ⅰ 展開演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究	1前 1後 2後 3・4後 3前 3後 1後 2前 1前 1後 2前 2後 3前 3後 4前 4後 4通	2 2 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	立命館大学 文学部 教授 (平成元年5月)	5日
11	専	教授	ナカ マキコ 仲 真紀子 ＜平成29年4月＞		学術博士		児童心理学 言語発達論 総合心理学入門※ プロジェクト研究Ⅰ プロジェクト研究Ⅱ 基礎実験実習Ⅰ 展開演習Ⅰ 展開演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究	2後 3前 1前 3前 3後 2前 2前 2後 3前 3後 4前 4後 4通	2 2 2 2 2 1 2 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	北海道大学大学院 文学研究科 教授 (平成15年10月)	5日
12	専	教授	ナガイ マサヨシ 永井 聖剛 ＜平成28年4月＞		博士 (心理学)		リテラシー入門 生理心理学 応用認知心理学 プロジェクト研究Ⅰ プロジェクト研究Ⅱ 基礎実験実習Ⅰ 基礎実験実習Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 展開演習Ⅰ 展開演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究	1前 2前 3前 3前 3後 1後 2前 1前 1後 2前 2後 3前 3後 4前 4後 4通	2 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	愛知淑徳大学 人間情報学部 准教授 (平成26年4月)	5日
13	専	教授	ハツトリ マサシ 服部 雅史 ＜平成28年4月＞		博士 (文学)		リテラシー入門 認知心理学概論 思考心理学 プロジェクト研究Ⅰ プロジェクト研究Ⅱ 基礎実験実習Ⅰ 基礎実験実習Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 展開演習Ⅰ 展開演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究	1前 1後 2前 3前 3後 1後 2前 1前 1後 2前 2後 3前 3後 4前 4後 4通	2 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	立命館大学 文学部 教授 (平成9年4月)	5日

教 員 の 氏 名 等													
総合心理学部総合心理学科													
調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大 学等の職務に 従 事 す る 週 当 た り 平 均 日 数	
14	専	教授	ヒロイ リョウイチ 廣井 亮一 ＜平成28年4月＞		博士 (学術)		リテラシー入門 発達臨床心理学 家族療法論 プロジェクト研究Ⅰ プロジェクト研究Ⅱ 心理アセスメント実習Ⅰ 心理アセスメント実習Ⅱ 臨床・実践フィールドワークⅠ 臨床・実践フィールドワークⅡ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 展開演習Ⅰ 展開演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究	1前 2後 3前 3前 3後 2後 3前 3後 4前 1前 1後 2前 2後 3前 3後 4前 4後 4通	2 2 2 2 2 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	立命館大学 文学部 教授 (平成20年4月)	5日	
15	専	教授	ホシノ ユウジ 星野 祐司 ＜平成28年4月＞		博士 (心理学)		リテラシー入門 プログラミング入門 学習・記憶心理学 心理学統計法 心理学研究法Ⅰ プロジェクト研究Ⅰ プロジェクト研究Ⅱ 基礎実験実習Ⅰ 基礎実験実習Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 展開演習Ⅰ 展開演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究	1前 2・3・4前 2後 1後 2前 3前 3後 1後 2前 1前 1後 2前 2後 3前 3後 4前 4後 4通	2 2 2 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	立命館大学 文学部 教授 (平成7年4月)	5日	
16	専	教授	モリカワ マサヨシ 森岡 正芳 ＜平成28年4月＞		博士 (教育学)		リテラシー入門 発達心理学概論 学校カウンセリング論 ナラティブ療法論 総合心理学入門※ プロジェクト研究Ⅰ プロジェクト研究Ⅱ 基礎実験実習Ⅰ 基礎実験実習Ⅱ 心理アセスメント実習Ⅰ 心理アセスメント実習Ⅱ 臨床・実践フィールドワークⅠ 臨床・実践フィールドワークⅡ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 展開演習Ⅰ 展開演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究	1前 1後 3後 3前 1前 3前 3後 1後 2前 2後 3前 3後 4前 1前 1後 2前 2後 3前 3後 4前 4後 4通	2 2 2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	神戸大学大学院 人間発達環境学 研究科 教授 (平成19年4月)	5日	
17	専	教授	ヤシノ 保樹 八木 保樹 ＜平成28年4月＞		博士 (心理学)		リテラシー入門 実験社会心理学 パーソナリティ心理学 プロジェクト研究Ⅰ プロジェクト研究Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 展開演習Ⅰ 展開演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究	1前 2前 3前 3前 3後 1前 1後 2前 2後 3前 3後 4前 4後 4通	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	立命館大学 文学部 教授 (平成4年4月)	5日	

教 員 の 氏 名 等												
総合心理学部総合心理学科												
調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大 学等の職務に 従 事 す る 週 当 た り 平 均 日 数
18	専	教授	ヤマモト ヒロキ 山本 博樹 ＜平成28年4月＞		博士 (学術)		リテラシー入門 発達心理学概論 教育実践心理学 発達・支援特殊講義 プロジェクト研究Ⅰ プロジェクト研究Ⅱ 基礎実験実習Ⅰ 基礎実験実習Ⅱ 基礎実習Ⅰ 基礎実習Ⅱ 展開演習Ⅰ 展開演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究	1前 1後 2前 3・4後 3前 3後 1後 2前 1前 1後 2前 2後 3前 3後 4前 4後 4通	2 2 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	立命館大学 文学部 教授 (平成22年4月)	5日
19	専	准教授	ウツノミヤ ヒロシ 宇都宮 博 ＜平成28年4月＞		博士 (教育学)		リテラシー入門 青年心理学 心理学研究法Ⅱ プロジェクト研究Ⅰ プロジェクト研究Ⅱ 基礎実験実習Ⅰ 基礎実験実習Ⅱ 基礎実習Ⅰ 基礎実習Ⅱ 展開演習Ⅰ 展開演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究	1前 2前 2後 3前 3後 1後 2前 1前 1後 2前 2後 3前 3後 4前 4後 4通	2 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	立命館大学 文学部 准教授 (平成18年4月)	5日
20	専	准教授	オオイシ ヒロアキ 大石 衡聡 ＜平成28年4月＞		博士 (文学)		英語P1 英語P2 英語P3 英語P4 英語S1 英語S2 英語S3 英語S4 専門英語（心理学）Ⅰ 専門英語（心理学）Ⅱ	1前 1後 2前 2後 1前 1後 2前 2後 3前 3後	1 1 1 1 1 1 1 1 2 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	立命館大学 スポーツ健康科学部 准教授 (平成26年4月)	5日
21	専	准教授	サワノ ミチコ 澤野 美智子 ＜平成29年4月＞		博士 (学術)		プロジェクト研究Ⅰ プロジェクト研究Ⅱ 家族と人間 現代家族論 展開演習Ⅰ 展開演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究	3前 3後 2後 3前 2前 2後 3前 3後 4前 4後 4通	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	国立民族学博物館 外来研究員 (平成26年6月)	5日
22	専	准教授	タカマツ リエ 高松 里江 ＜平成28年4月＞		博士 (人間科学)		リテラシー入門 ジェンダー心理学 キャリア形成論 心理学データ解析法 プロジェクト研究Ⅰ プロジェクト研究Ⅱ 基礎実験実習Ⅰ 基礎実験実習Ⅱ 基礎実習Ⅰ 基礎実習Ⅱ 展開演習Ⅰ 展開演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究	1前 3前 3後 3前 3前 3後 1後 2前 1前 1後 2前 2後 3前 3後 4前 4後 4通	2 2 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	大阪大学大学院 人間科学研究科 助教 (平成25年4月)	5日

教 員 の 氏 名 等												
総合心理学部総合心理学科												
調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大 学等の職務に 従 事 す る 週 当 た り 平 均 日 数
23	専	准教授	トリキ 寶 雪 ＜平成28年4月＞		Ph. D. in Mass Communica- tions (米国)		リテラシー入門 メディア心理学 コミュニケーション心理学 総合心理学入門※ プロジェクト研究Ⅰ プロジェクト研究Ⅱ 基礎実験実習Ⅰ 基礎実験実習Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 展開演習Ⅰ 展開演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究	1前 2後 3後 2前 3前 3後 2前 1後 2前 2後 2前 2後 3前 3後 4前 4後 4通	2 2 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	慶應義塾大学 メディア・コミュニケーション 研究所 講師 (平成25年4月)	5日
24	専	准教授	ナカシカ ナカキ 中鹿 直樹 ＜平成28年4月＞		修士 (文学) ※		リテラシー入門 プログラミング入門 行動分析学 認知・行動特殊講義 心理学統計法 プロジェクト研究Ⅰ プロジェクト研究Ⅱ 基礎実験実習Ⅰ 基礎実験実習Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 展開演習Ⅰ 展開演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究	1前 2・3・4前 2前 3・4後 1後 3前 3後 1後 2前 1前 1後 2前 2後 3前 3後 4前 4後 4通	2 2 2 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	立命館大学 文学部 准教授 (平成26年4月)	5日
25	専	准教授	ハヤシ ユウゴ 林 勇吾 ＜平成28年4月＞		博士 (情報科学)		リテラシー入門 プログラミング入門 認知科学 総合心理学入門※ プロジェクト研究Ⅰ プロジェクト研究Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 展開演習Ⅰ 展開演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究	1前 2・3・4前 2後 1前 3前 3後 1前 1後 2前 2後 3前 3後 4前 4後 4通	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	立命館大学 文学部 准教授 (平成26年4月)	5日
26	専	准教授	ミヤマ タシ 三田村 仰 ＜平成28年4月＞		博士 (心理学)		リテラシー入門 認知行動療法論 認知・行動特殊講義 プロジェクト研究Ⅰ プロジェクト研究Ⅱ 基礎実験実習Ⅰ 基礎実験実習Ⅱ 心理アセスメント実習Ⅰ 心理アセスメント実習Ⅱ 臨床・実践フィールドワークⅠ 臨床・実践フィールドワークⅡ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 展開演習Ⅰ 展開演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究	1前 3後 3・4後 3前 3後 1後 2前 2後 3前 3後 4前 1前 1後 2前 2後 3前 3後 4前 4後 4通	2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	関西福祉科学大学 社会福祉学部 講師 (平成26年4月)	5日

教 員 の 氏 名 等												
総合心理学部総合心理学科												
調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大 学等の職務に 従 事 する 週当たり平均 日 数
27	専	准教授	モリ トモハル 森 知晴 ＜平成29年4月＞		博士 (経済学)		プロジェクト研究Ⅰ プロジェクト研究Ⅱ 経済と人間 行動経済論 展開演習Ⅰ 展開演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究	3前 3後 2前 3後 2前 2後 3前 3後 4前 4後 4通	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	関西大学 ソシオネットワーク 戦略研究機構 研究員 (平成26年10月)	5日
28	専	准教授	ヤスタ ユウコ 安田 裕子 ＜平成28年4月＞		博士 (教育学)		リテラシー入門 臨床社会心理学 健康心理学 心理学研究法Ⅲ プロジェクト研究Ⅰ プロジェクト研究Ⅱ 心理アセスメント実習Ⅰ 心理アセスメント実習Ⅱ 臨床・実践フィールドワークⅠ 臨床・実践フィールドワークⅡ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 展開演習Ⅰ 展開演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究	1前 2前 3前 2後 3前 3後 2後 3前 3後 4前 1前 1後 2前 2後 3前 3後 4前 4後 4通	2 2 2 2 2 2 1 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	立命館大学 文学部 准教授 (平成26年4月)	5日
29	専	准教授	ヤタ ユウコ 矢藤 優子 ＜平成28年4月＞		博士 (人間科 学)		リテラシー入門 乳幼児心理学 心理学概論※ プロジェクト研究Ⅰ プロジェクト研究Ⅱ 基礎実験実習Ⅰ 基礎実験実習Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 展開演習Ⅰ 展開演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究	1前 2前 1前 3前 3後 1後 2前 1前 1後 2前 2後 3前 3後 4前 4後 4通	2 2 1 2 2 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	立命館大学 文学部 准教授 (平成19年4月)	5日
30	専	准教授	カハバヤシ コウスケ 若林 宏輔 ＜平成28年4月＞		博士 (文学)		リテラシー入門 社会心理学概論 法心理学 心理学研究法Ⅲ 心理学史 プロジェクト研究Ⅰ プロジェクト研究Ⅱ 基礎実験実習Ⅰ 基礎実験実習Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 展開演習Ⅰ 展開演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ 卒業研究	1前 1後 2後 2後 2後 3前 3後 1後 2前 1前 1後 2前 2後 3前 3後 4前 4後 4通	2 2 2 2 2 2 2 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 4	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	立命館大学 文学部 准教授 (平成26年4月)	5日
31	兼任	教授	アカイ ショウジ 赤井 正二 ＜平成28年4月＞		社会学修士 ※		現代人間論	1前	2	1	立命館大学 産業社会学部 教授 (昭和62年4月)	

教 員 の 氏 名 等												
総合心理学部総合心理学科												
調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大 学等の職務に 従 事 す る 週当たり平均 日 数
32	兼任	教授	アキハ タケシ 秋葉 武 ＜平成28年4月＞		修士 (経済学)		社会と福祉	1・2・3・4後	2	1	立命館大学 産業社会学部 教授 (平成13年4月)	
33	兼任	教授	イクタ マサト 生田 真人 ＜平成28年4月＞		博士 (文学)		エリアスタディ入門	1・2・3・4後	2	1	立命館大学 文学部 教授 (平成8年4月)	
34	兼任	教授	イサカ タダオ 伊坂 忠夫 ＜平成28年4月＞		博士 (工学)		スポーツ方法実習Ⅰ スポーツ方法実習Ⅱ	1・2・3・4前 1・2・3・4後	1 1	1 1	立命館大学 スポーツ健康科学部 教授 (平成4年4月)	
35	兼任	教授	イセ トシヒコ 伊勢 俊彦 ＜平成28年4月＞		文学修士※		論理と思考	1・2・3・4前	2	1	立命館大学 文学部 教授 (平成元年4月)	
36	兼任	教授	イチイ ヨシヲ 市井 吉興 ＜平成28年4月＞		博士 (社会学)		スポーツの歴史と発展	1・2・3・4前	2	1	立命館大学 産業社会学部 教授 (平成23年4月)	
37	兼任	教授	ウエタケ タカヒロ 上田 高弘 ＜平成28年4月＞		芸術学修士 ※		美と芸術の論理	1・2・3・4前	2	1	立命館大学 文学部 教授 (平成10年4月)	
38	兼任	教授	ウエマツ ケンイチ 植松 健一 ＜平成28年4月＞		修士 (法学)		日本国憲法	1・2・3・4前	2	1	立命館大学 法学部 教授 (平成24年4月)	
39	兼任	教授	エンドウ シノブキ 遠藤 英樹 ＜平成30年4月＞		社会学修士 ※		観光学	3・4後	2	1	立命館大学 文学部 教授 (平成26年4月)	
40	兼任	教授	オオサカ ヒロユキ 大坂 博幸 ＜平成28年4月＞		博士 (理学)		数理の世界 情報の数理	1・2・3・4前 1・2・3・4前	2 2	1 1	立命館大学 理工学部 教授 (平成10年4月)	
41	兼任	教授	オカダ ユカ 岡田 豊 ＜平成28年4月＞		工学博士		生命科学（生物と生態系）	1・2・3・4前	2	1	立命館大学 生命科学部 教授 (昭和57年4月)	
42	兼任	教授	オダウチ タカシ 小田内 隆 ＜平成28年4月＞		文学修士※		ヨーロッパの歴史	1・2・3・4後	2	1	立命館大学 文学部 教授 (昭和58年4月)	
43	兼任	教授	カネマル ユウイチ 金丸 裕一 ＜平成28年4月＞		文学修士※		戦争の歴史と現在	1・2・3・4前	2	1	立命館大学 経済学部 教授 (平成7年4月)	

別記様式第3号（その2の1）

(用紙 日本工業規格A4縦型)

[illegible]

教 員 の 氏 名 等													
総合心理学部総合心理学科													
調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大 学等の職務に 従 事 す る 週 当 た り 平 均 日 数	
50	兼任	教授	シゲモリ タミロ 重森 臣広 ＜平成28年4月＞		法学修士※		社会思想史	1・2・3・4後	2	1	立命館大学 政策科学部 教授 (平成6年4月)		
51	兼任	教授	シマダ ノブタカ 島田 伸敬 ＜平成28年4月＞		博士 (工学)		(留) 日本の自然・科学技術	1・2・3・4後	2	1	立命館大学 情報理工学部 教授 (平成16年4月)		
52	兼任	教授	シモンヨウ マサズミ 下條 正純 ＜平成28年4月＞		Master of Arts in Linguistics (米国)		日本語Ⅶ (文章表現a) 日本語Ⅶ (文章表現b) 日本語Ⅶ (読解a) 日本語Ⅶ (読解b) (留) 日本語学	1前 1後 1前 1後 1・2・3・4後	1 1 1 1 2	1 1 1 1 1	立命館大学 産業社会学部 教授 (平成23年4月)		
53	兼任	教授	スズキ コウタ 末近 浩太 ＜平成28年4月＞		博士 (地域研 究)		イスラーム世界の多様性	1・2・3・4後	2	1	立命館大学 国際関学部 教授 (平成18年4月)		
54	兼任	教授	ソウ スズエイン 曹 瑞林 ＜平成28年4月＞		博士 (経済学)		国際平和交流セミナー	1・2・3・4後	2	1	立命館大学 国際教育推進機構 教授 (平成22年4月)		
55	兼任	教授	タキモト カズナリ 瀧本 和成 ＜平成28年4月＞		文学修士※		文学と社会	1・2・3・4後	2	1	立命館大学 文学部 教授 (平成8年4月)		
56	兼任	教授	タナカ ツトム 田中 力 ＜平成28年4月＞		農学修士※		教養ゼミナール	1・2・3・4前	2	1	立命館大学 経営学部 教授 (平成2年4月)		
57	兼任	教授	チョン アヨン 鄭 雅英 ＜平成28年4月＞		博士 (経済学)		国際平和交流セミナー	1・2・3・4後	2	1	立命館大学 経営学部 教授 (平成18年4月)		
58	兼任	教授	トリイ トモコ 鳥居 朋子 ＜平成28年4月＞		博士 (教育学)		現代の教育 ピア・サポート論 特殊講義 (総合)	1・2・3・4前 2・3・4後 1・2・3・4	2 2 2	1 1 1	立命館大学 教育開発推進機構 教授 (平成21年4月)		
59	兼任	教授	ナカガワ ヨウコ 中川 洋子 ＜平成28年4月＞		博士 (マネジメ ント)		全学インターンシップ 学びとキャリア 仕事とキャリア コーオプ演習 社会とキャリア	2・3・4後 1・2・3・4前 2・3・4前 3・4後 3・4後	2 2 2 2 2	1 1 1 1 1	立命館大学 共通教育推進機構 教授 (平成25年4月)		
60	兼任	教授	ナカマ ユウコ 仲間 裕子 ＜平成28年4月＞		博士 (文学)		(留) 日本の文化・地理・歴史	1・2・3・4前	2	1	立命館大学 産業社会学部 教授 (平成6年4月)		
61	兼任	教授	ナカムラ タカシ 中村 正 ＜平成30年4月＞		社会学修士 ※		総合人間理解特殊講義	3・4後	2	1	立命館大学 産業社会学部 教授 (平成元年4月)		
62	兼任	教授	ハットリ フミオ 服部 文夫 ＜平成28年4月＞		博士 (情報学)		情報技術と社会	1・2・3・4後	2	1	立命館大学 情報理工学部 教授 (平成16年4月)		
63	兼任	教授	ハヤカワ タカシ 早川 貴 ＜平成28年4月＞		修士 (商学) ※		(留) 日本の社会・政治 (留) 日本の経済・経営	1・2・3・4前 1・2・3・4後	2 2	1 1	立命館大学 政策科学部 教授 (平成23年4月)		
64	兼任	教授	ハラジマ ヒロキ 原尻 英樹 ＜平成28年4月＞		博士 (教育学)		文化人類学入門	1・2・3・4前	2	1	立命館大学 産業社会学部 教授 (平成19年4月)		

教 員 の 氏 名 等												
総合心理学部総合心理学科												
調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大 学等の職務に 従事する 週当たり平均 日 数
65	兼任	教授	フクマ ヨシアキ 福岡 良明 ＜平成28年4月＞		博士 (人間・環 境学)		メディアと現代文化	1・2・3・4前	2	1	立命館大学 産業社会学部 教授 (平成20年4月)	
66	兼任	教授	フジタ トモヒロ 藤田 智弘 ＜平成28年4月＞		博士 (情報学)		科学的な見方・考え方 現代の科学技術	1・2・3・4前 1・2・3・4後	2 2	1 1	立命館大学 理工学部 教授 (平成13年4月)	
67	兼任	教授	ホリ マサハル 堀 雅晴 ＜平成28年4月＞		法学修士※		現代日本の政治	1・2・3・4前	2	1	立命館大学 法学部 教授 (平成6年4月)	
68	兼任	教授	ホンダ ミノル 本田 稔 ＜平成28年4月＞		博士 (法学)		現代の人権	1・2・3・4前	2	1	立命館大学 法学部 教授 (平成15年4月)	
69	兼任	教授	マツノ シュウジ 松野 周治 ＜平成28年4月＞		経済学修士 ※		日本の近現代と立命館	1・2後	2	1	立命館大学 経済学部 教授 (昭和61年4月)	
70	兼任	教授	マツハラ ヨウコ 松原 洋子 ＜平成28年4月＞		博士 (学術)		生命科学と倫理	1・2・3・4前	2	1	立命館大学大学院 先端総合学術研究科 教授 (平成14年4月)	
71	兼任	教授	ミナミ ヤスヨシ 南野 泰義 ＜平成28年4月＞		法学修士※		現代の国際関係と日本	1・2・3・4前	2	1	立命館大学 国際関係学部 教授 (平成6年4月)	
72	兼任	教授	ムラカミ ヒロシ 村上 弘 ＜平成28年4月＞		博士 (法学)		市民と政治	1・2・3・4前	2	1	立命館大学 法学部 教授 (昭和61年4月)	
73	兼任	教授	ムン キョンス 文 京洙 ＜平成28年4月＞		博士 (地域政策 学)		東アジアと朝鮮半島	1・2・3・4後	2	1	立命館大学 国際関係学部 教授 (平成9年4月)	
74	兼任	教授	ヤクシジ キミオ 薬師寺 公夫 ＜平成28年4月＞		法学修士※		国際化と法	1・2・3・4後	2	1	立命館大学大学院 法務研究科 教授 (平成23年4月)	
75	兼任	教授	ヤマザキ ユウコウ 山崎 有恒 ＜平成28年4月＞		文学修士※		歴史観の形成 新しい日本史像	1・2・3・4前 1・2・3・4前	2 2	1 1	立命館大学 文学部 教授 (平成7年4月)	
76	兼任	教授	ヤマシ アキラ 山路 顕 ＜平成30年4月＞		Master in Business Administrat ion in Aviation Management (米国)		コーオプ教育概論	3・4前集中	2	1	立命館大学 共通教育推進機構 教授 (平成25年4月)	
77	兼任	教授	ヨシタ カネ 吉田 要 ＜平成28年4月＞		工学博士		情報科学	1・2・3・4後	2	1	立命館大学 経営学部 教授 (昭和59年10月)	
	兼任	講師	ヨシタ カネ 吉田 要 ＜平成30年4月＞		工学博士		情報科学	1・2・3・4後	2	1		
78	兼任	教授	ヨシタ トモヒコ 吉田 友彦 ＜平成28年4月＞		博士 (工学)		災害と安全	1・2・3・4後	2	1	立命館大学 政策科学部 教授 (平成20年4月)	

教 員 の 氏 名 等												
総合心理学部総合心理学科												
調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大 学等の職務に 従事する 週当たり平均 日 数
79	兼任	准教授	イシカワ(コダマ) リョウコ 石川(児玉) 涼子 ＜平成28年4月＞		修士 (政治学)		英語UBC・JP作文 カナダ研究 (海外留学プログラム) 異文化間コミュニケーション (海外留 学プログラム) 環太平洋研究 (海外留学プログラム)	1・2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4前	2 4 4 4	1 1 1 1	立命館大学 国際教育推進機構 准教授 (平成25年4月)	
80	兼任	准教授	イノエ ミツキ 井上 充幸 ＜平成28年4月＞		博士 (文学)		中国の国家と社会	1・2・3・4前	2	1	立命館大学 文学部 准教授 (平成23年4月)	
81	兼任	准教授	オホヰ(タイ) マコ 小川(平) 真和子 ＜平成28年4月＞		Ph. D. in American Studies (米国)		アメリカの歴史	1・2・3・4前	2	1	立命館大学 文学部 准教授 (平成24年4月)	
82	兼任	准教授	オホミヤコ 小田 美佐子 ＜平成28年4月＞		博士 (法学)		現代社会と法	1・2・3・4後	2	1	立命館大学 法学部 准教授 (平成16年4月)	
83	兼任	准教授	カメイ タイスカ 亀井 大輔 ＜平成28年4月＞		博士 (文学)		人間性と倫理	1・2・3・4後	2	1	立命館大学 文学部 准教授 (平成22年4月)	
84	兼任	准教授	カワナベ タカシ 川那部 隆司 ＜平成28年4月＞		博士 (文学)		特殊講義 (大学アスリート) アスリー トのためのアカデミック・スキルズ	1前	2	1	立命館大学 教育開発推進機構 准教授 (平成25年4月)	
85	兼任	准教授	クワン ハウジ ユン 権 学俊 ＜平成28年4月＞		博士 (学術)		スポーツと現代社会	1・2・3・4前	2	1	立命館大学 産業社会学部 准教授 (平成20年4月)	
86	兼任	准教授	クワナ(ミヤシタ) メグミ 桑名(宮下) 恵 ＜平成28年4月＞		博士 (人間科 学)		地域参加学習入門 シチズンシップ・スタディーズⅠ シチズンシップ・スタディーズⅡ 現代社会のフィールドワーク ソーシャル・コラボレーション演習	1・2・3・4前 1・2・3・4通 2・3・4前 1・2・3・4後 2・3・4後	2 2 2 2 2	1 1 1 1 1	立命館大学 共通教育推進機構 准教授 (平成25年4月)	
87	兼任	准教授	ゴトウ カズシゲ 後藤 一成 ＜平成28年4月＞		博士 (体育科 学)		スポーツのサイエンス	1・2・3・4後	2	1	立命館大学 スポーツ健康科学部 准教授 (平成22年4月)	
88	兼任	准教授	シバタ ハルカ 柴田 悠 ＜平成28年4月＞		博士 (人間・環 境学)		社会学入門	1・2・3・4前	2	1	立命館大学 産業社会学部 准教授 (平成26年4月)	
89	兼任	准教授	スキモト ヲユリ 杉本 通百則 ＜平成28年4月＞		博士 (商学)		現代環境論	1・2・3・4後	2	1	立命館大学 産業社会学部 准教授 (平成19年4月)	
90	兼任	准教授	スズキ タカミ 鈴木 岳海 ＜平成28年4月＞		博士 (社会学)		映像と表現	1・2・3・4前	2	1	立命館大学 映像学部 准教授 (平成19年4月)	
91	兼任	准教授	ナカハマ アキコ 永浜 明子 ＜平成28年4月＞		修士 (健康科 学) ※		現代人とヘルスケア	1・2・3・4後	2	1	立命館大学 スポーツ健康科学部 准教授 (平成25年4月)	

教 員 の 氏 名 等												
総合心理学部総合心理学科												
調書 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大 学等の職務に 従 事 す る 週当たり平均 日 数
92	兼任	准教授	ハガ イ サチ 羽谷 沙織 ＜平成28年4月＞		修士 (教育学) ※		Cross-cultural Encounters Basic Communication Skills Advanced Seminar Basic Academic Skills Intermediate Academic Skills Intermediate Seminar	1・2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4前 1・2・3・4前	2 2 2 2 2 2	1 1 1 1 1 1	立命館大学 国際教育推進機構 准教授 (平成22年1月)	
93	兼任	准教授	ハヤシ ヨシノリ 林 芳紀 ＜平成28年4月＞		博士 (文学)		科学技術と倫理	1・2・3・4前	2	1	立命館大学 文学部 准教授 (平成24年4月)	
94	兼任	准教授	フジワラ チェミ 藤原 智栄美 ＜平成28年4月＞		博士 (言語文化 学)		日本語Ⅶ (聴解口頭a) 日本語Ⅶ (聴解口頭b) 日本語Ⅷ (アカデミック日本語a) 日本語Ⅷ (アカデミック日本語b) 日本語Ⅷ (キャリア日本語a) 日本語Ⅷ (キャリア日本語b) 異文化間テーマ演習	1前 1後 2前 2後 2前 2後 1・2・3・4前	1 1 1 1 1 1 2	1 1 1 1 1 1 1	立命館大学 政策科学部 准教授 (平成26年4月)	
95	兼任	准教授	マルヤマ サトミ 丸山 里美 ＜平成28年4月＞		博士 (文学)		ジェンダー論	1・2・3・4前	2	1	立命館大学 産業社会学部 准教授 (平成22年4月)	
96	兼任	准教授	ムラカミ コウ 村上 剛 ＜平成28年4月＞		博士 (政治科 学) (カナダ)		Theme Study	1・2・3・4前	2	1	立命館大学 法学部 准教授 (平成26年4月)	
97	兼任	准教授	ヤマザキ フミノリ 山崎 文徳 ＜平成28年4月＞		博士 (商学)		科学と技術の歴史	1・2・3・4前	2	1	立命館大学 経営学部 准教授 (平成24年4月)	
98	兼任	講師	タマイ マサト 玉井 雅人 ＜平成28年4月＞		博士 (理学)		地球科学	1・2・3・4後	2	1	立命館大学 理工学部 講師 (平成22年4月)	
99	兼任	助教	ヒガキ ショウゴ 榎垣 彰吾 ＜平成28年4月＞		博士 (獣医学)		生命科学 (分子と生命)	1・2・3・4前	2	1	立命館大学 グローバルイノベーション機構 助教 (平成25年10月)	
100	兼任	講師	ウラ ミツヒロ 浦 光博 ＜平成30年9月＞		博士 (社会学)		社会・共生特殊講義	3・4後	2	1	追手門学院大学 心理学部 教授 (平成25年10月)	
101	兼任	講師	キト アサエ 木戸 彩恵 ＜平成29年9月＞		博士 (教育学)		衣食美心理学	2後	2	1	立命館大学 立命館グローバルイノベーション研究機構 専門研究員 (平成25年4月)	
102	兼任	講師	マツタテ ヒロコ 松田 博子 ＜平成30年9月＞		修士 (人間科 学)		色彩論	3後	2	1	カラーコンサルタン トスタジオ 主宰 (平成2年3月)	
103	兼任	講師	マツザキ リ テツロウ 松沢 哲郎 ＜平成29年9月＞		理学博士		進化心理学	2後集中	2	1	京都大学 霊長類研究所 教授 (昭和51年12月)	

(注)
1 教員の数に応じ、適宜枠を増やして記入すること。
2 私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合又は大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合は、この書類を作成する必要はない。
3 「申請に係る学部等に従事する週当たりの平均日数」の欄は、専任教員のみ記載すること。

専任教員の年齢構成・学位保有状況										
職 位	学 位	29 歳 以 下	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 64 歳	65 ～ 69 歳	70 歳 以 上	合 計	備 考
教 授	博 士	人	人	3 人	7 人	5 人	3 人	人	18 人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短 期 学 大 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	
准 教 授	博 士	人	6 人	5 人	人	人	人	人	11 人	
	修 士	人	人	人	1 人	人	人	人	1 人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短 期 学 大 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	
講 師	博 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短 期 学 大 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	
助 教	博 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短 期 学 大 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	
合 計	博 士	人	6 人	8 人	7 人	5 人	3 人	人	29 人	
	修 士	人	人	人	1 人	人	人	人	1 人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短 期 学 大 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	

（注）

- この書類は、申請又は届出に係る学部等ごとに作成すること。
- この書類は、専任教員についてのみ、作成すること。
- この書類は、申請又は届出に係る学部等の開設後、当該学部等の修業年限に相当する期間が満了する年度（以下「完成年度」という。）における状況を記載すること。
- 専門職大学院の課程を修了した者に対し授与された学位については、「その他」の欄にその数を記載し、「備考」の欄に、具体的な学位名称を付記すること。

(総合心理学部総合心理学科)

調書 番号	専任等 区 分	職位	フリガナ 氏 名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	採 用 根 拠 等
5	専	教授	サイトウ セイジ 齋藤 清二 ＜平成28年4月＞		立命館大学特別招聘教員規程 大学協議会（平成26年10月10日）にて承認
6	専	教授 (学部長)	サトウ タカオ 佐藤 隆夫 ＜平成28年4月＞		総合心理学部設置に伴い、定年の特例措置が必要となる 大学教員の処遇について 常任理事会（平成26年7月2日）にて承認
16	専	教授	モリカ マサヨシ 森岡 正芳 ＜平成28年4月＞		総合心理学部設置に伴い、定年の特例措置が必要となる 大学教員の処遇について 常任理事会（平成26年7月2日）にて承認
31	兼任	教授	アカイ ショウジ 赤井 正二 ＜平成28年4月＞		立命館大学特別任用教員規程
33	兼任	教授	イタタ マサト 生田 真人 ＜平成28年4月＞		立命館大学特別任用教員規程
42	兼任	教授	オダウチ タカシ 小田内 隆 ＜平成28年4月＞		立命館大学特別任用教員規程
48	兼任	教授	サハベ アキラ 雀部 晶 ＜平成28年4月＞		立命館大学特別任用教員規程
60	兼任	教授	ナカマ ユウコ 仲間 裕子 ＜平成28年4月＞		立命館大学特別任用教員規程
62	兼任	教授	ハットリ フミオ 服部 文夫 ＜平成28年4月＞		立命館大学特別任用教員規程
69	兼任	教授	マツノ シュウジ 松野 周治 ＜平成28年4月＞		立命館大学特別任用教員規程
73	兼任	教授	ムシキョンス 文 京洙 ＜平成28年4月＞		立命館大学特別任用教員規程
74	兼任	教授	ヤクシジ キミオ 薬師寺 公夫 ＜平成28年4月＞		立命館大学特別任用教員規程
76	兼任	教授	ヤマジ アキラ 山路 顕 ＜平成30年4月＞		立命館大学特別任用教員規程
77	兼任	教授	ヨシダ カメ 吉田 要 ＜平成28年4月＞		立命館大学特別任用教員規程
	兼任	講師	ヨシダ カメ 吉田 要 ＜平成30年4月＞		立命館大学非常勤講師就業規則 立命館大学非常勤講師給与規程